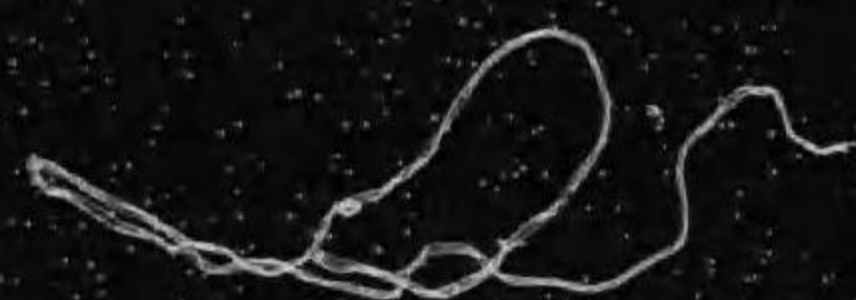


519

28



始



IT x 63

579-28

本



五名郡誌

大正
12.4.18
内交

序

郡制布かれて三十有餘年、其間我が郡自治の精神は日に月に正美なる發達を遂げ、教育、産業、土木、其他百般の事業勃然として興り、以て郡民の福利を増進し今日に至れり。

然るに時勢の進展上茲に郡制の廢止となりたれば、郡は玉名高等女學校に約參萬餘圓を、荒尾、三川外二線に八萬餘圓を投じ最終の記念事業とし、今や其工の完成を期せり。此の外圖書館、公會堂、産業奨励事業等皆それ〴〵縣又は町村及其他の團體に移管或は繼承の手續を了せんごす。豈感慨の禁ずる能はざるものなかるべけんや。

惟ふに郡の將來は斯く使命を完うせる自治の業績と山川自ら美なる自然の情勢と、名實伴ふ玉杵名の歴史と相俟ち必ずや郡民所期の文化を建設せんご明なり。

されば今は只郡制廢止の記念として、我が郡制史の大要を録し、加ふるに郷土の現在過去を記し之を「玉名郡誌」と名づけて上梓せんごす。

昔唐の太宗は「銅を以て鏡と爲さば衣冠を正しくすべし古を以て鏡と爲さば興替を見る可し人を以て鏡と爲さば得失を知るべし」と言へり此の玉名郡誌は正しく郡治の鏡なり。故に郡の將來を卜するも將た又過去を偲ぶも一に之を措きて他に求可らず。本書成るを喜び一言以て卷頭に序す。

大正十二年三月二十五日

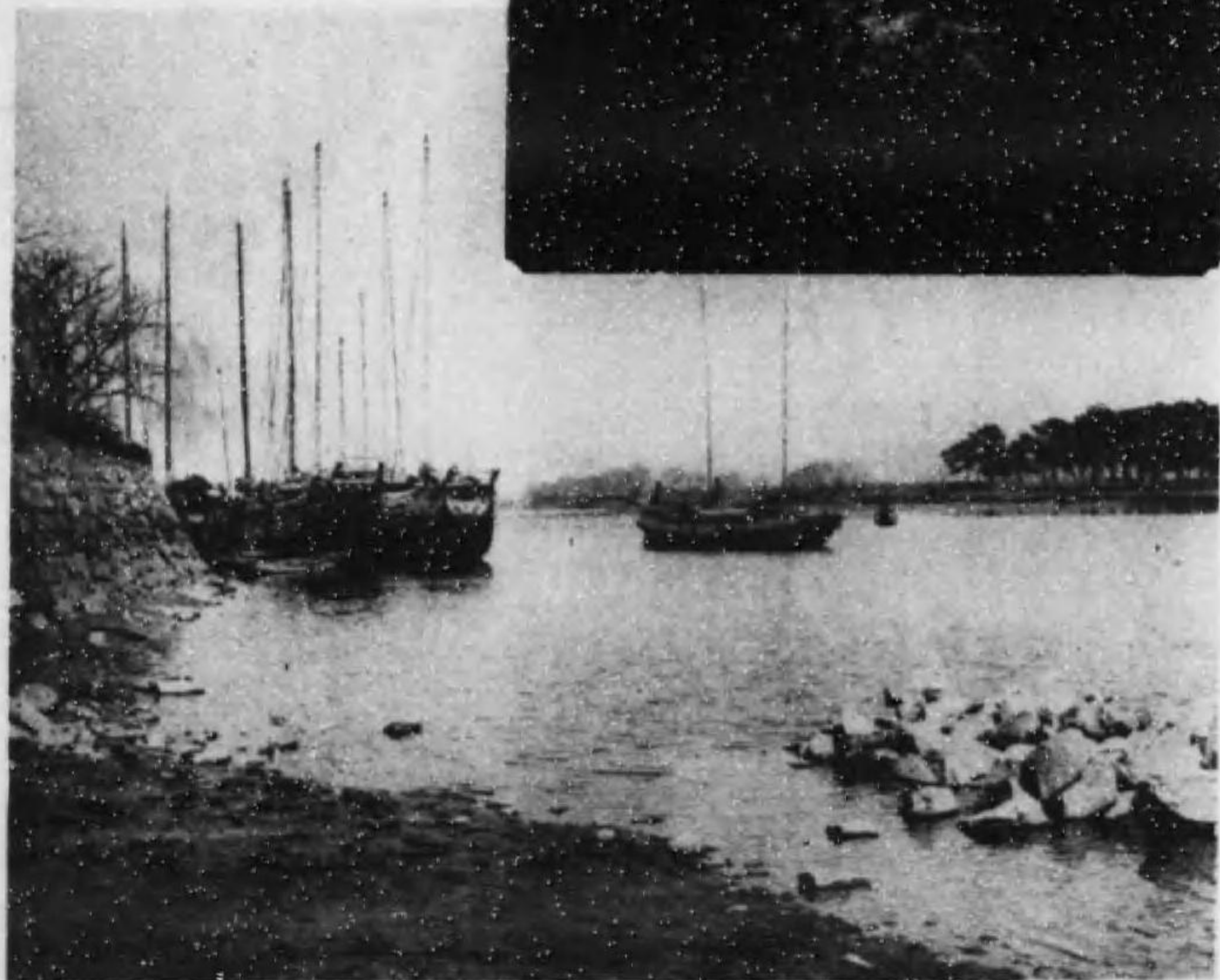
玉名郡長 桐野森吉



小代山全景
(彌富村崎ヲ望ム)

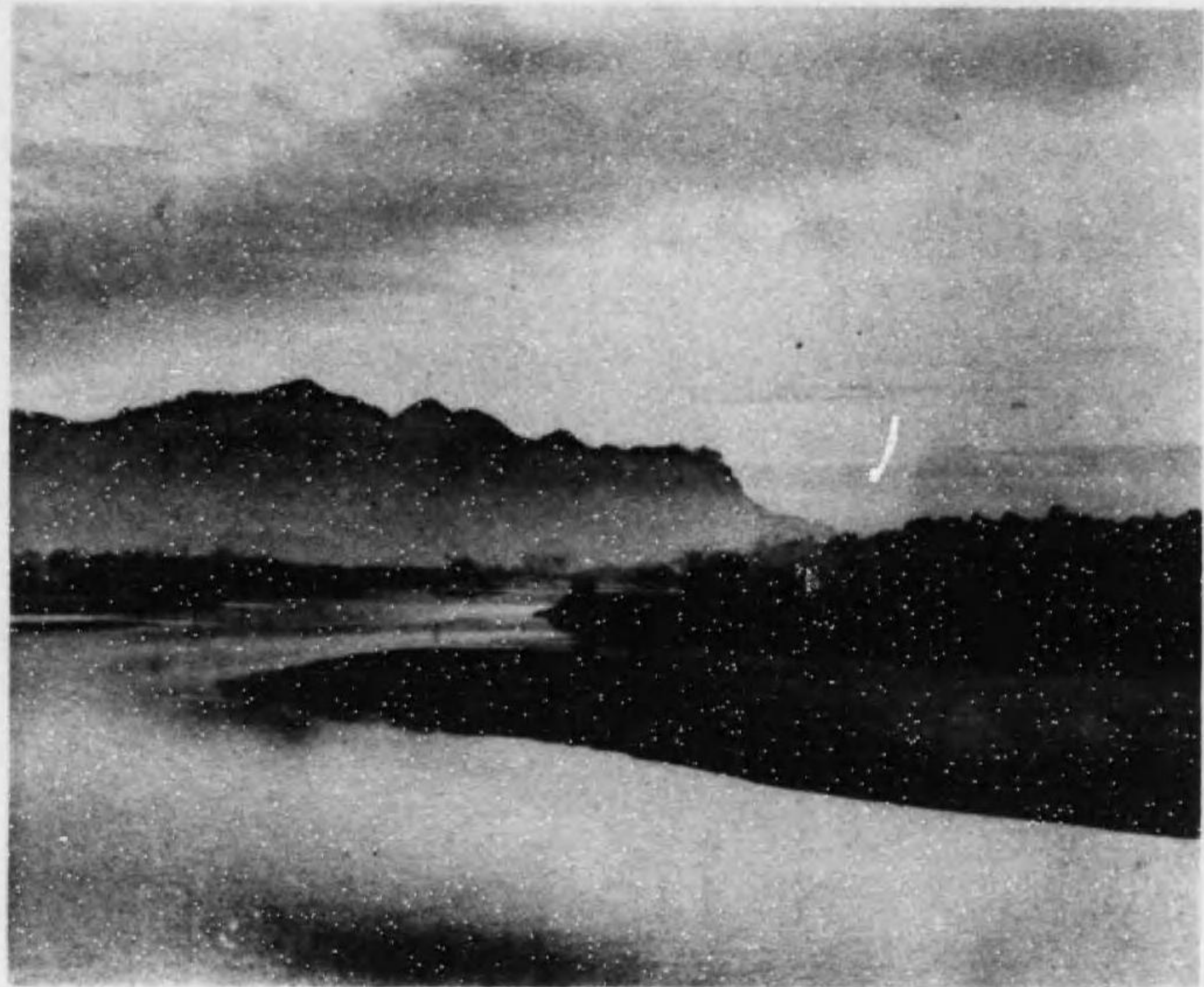


高瀬川上流ノ森林(春富校記念林)

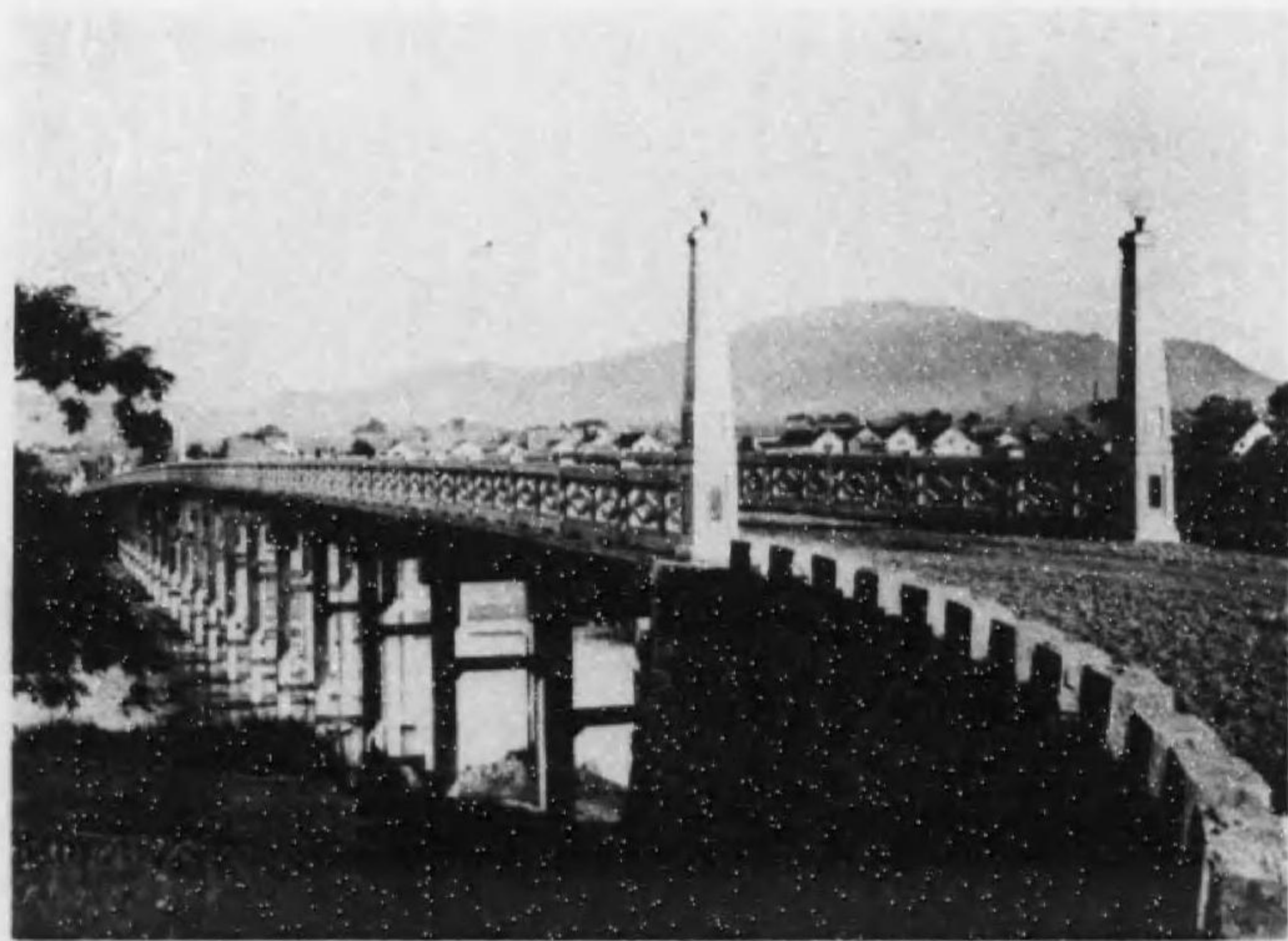


高瀬川河口(滑石村酒) (ヨ)

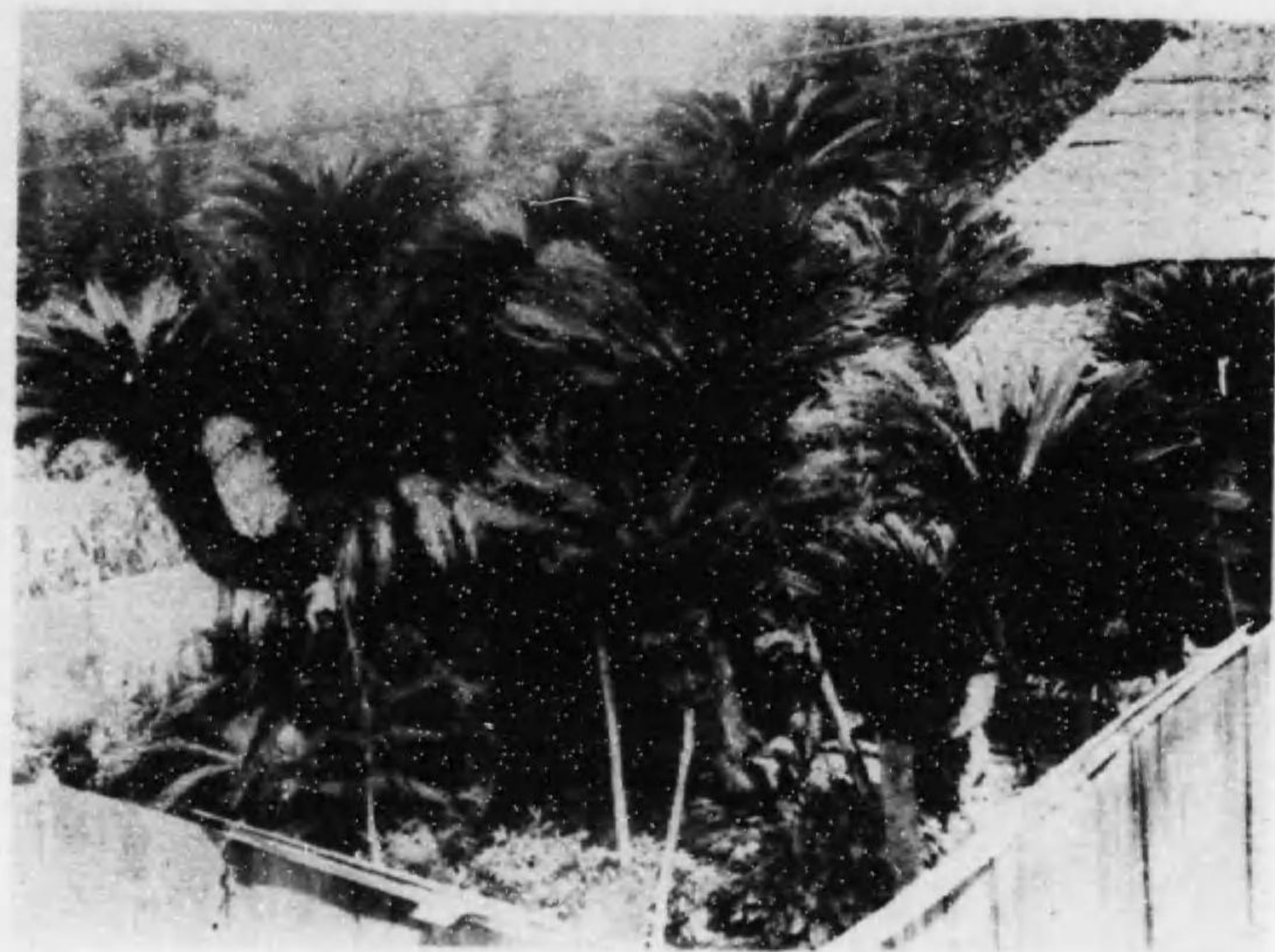




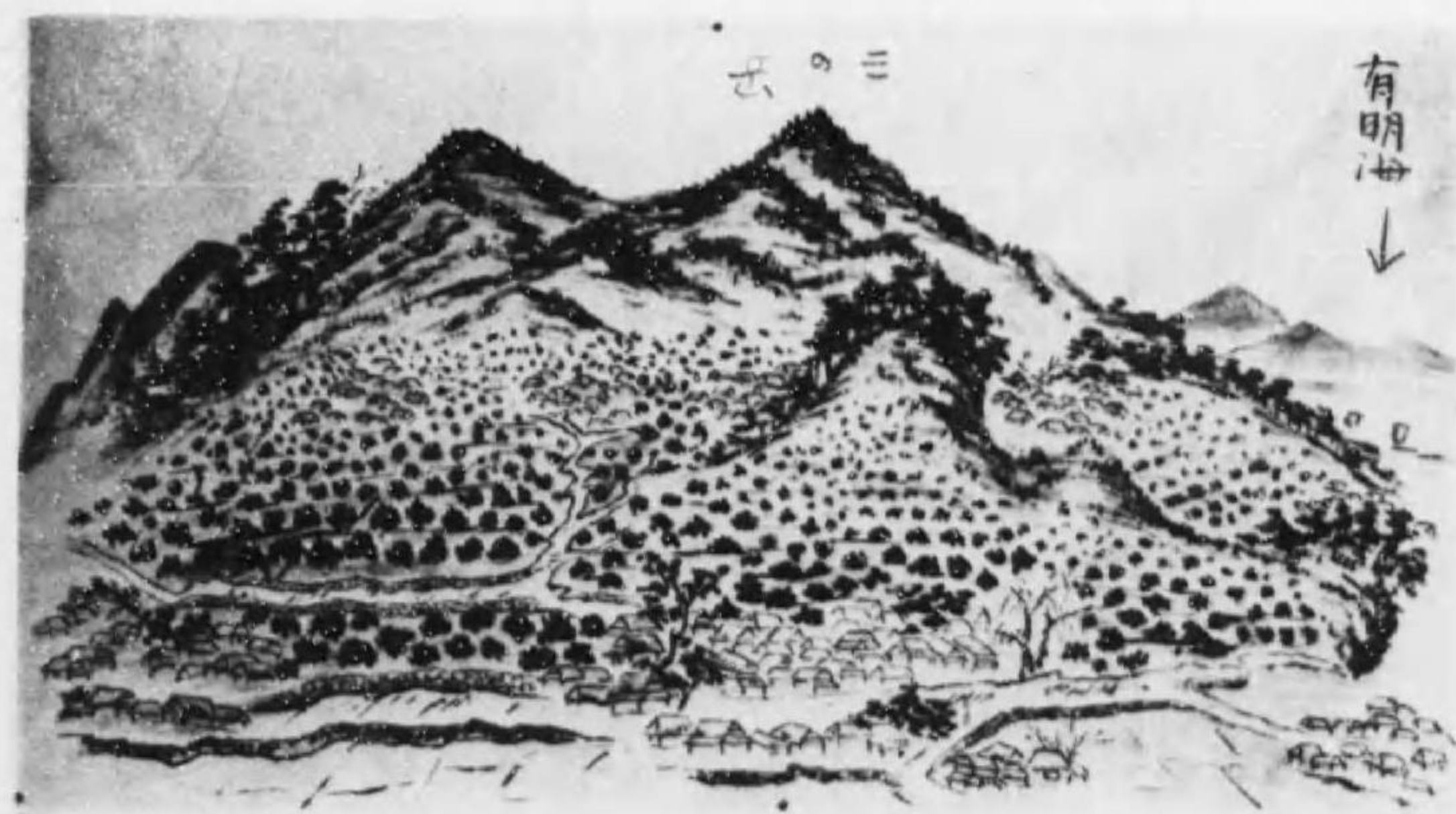
(リヨ崎川村富彌) 山葉木と川瀬高



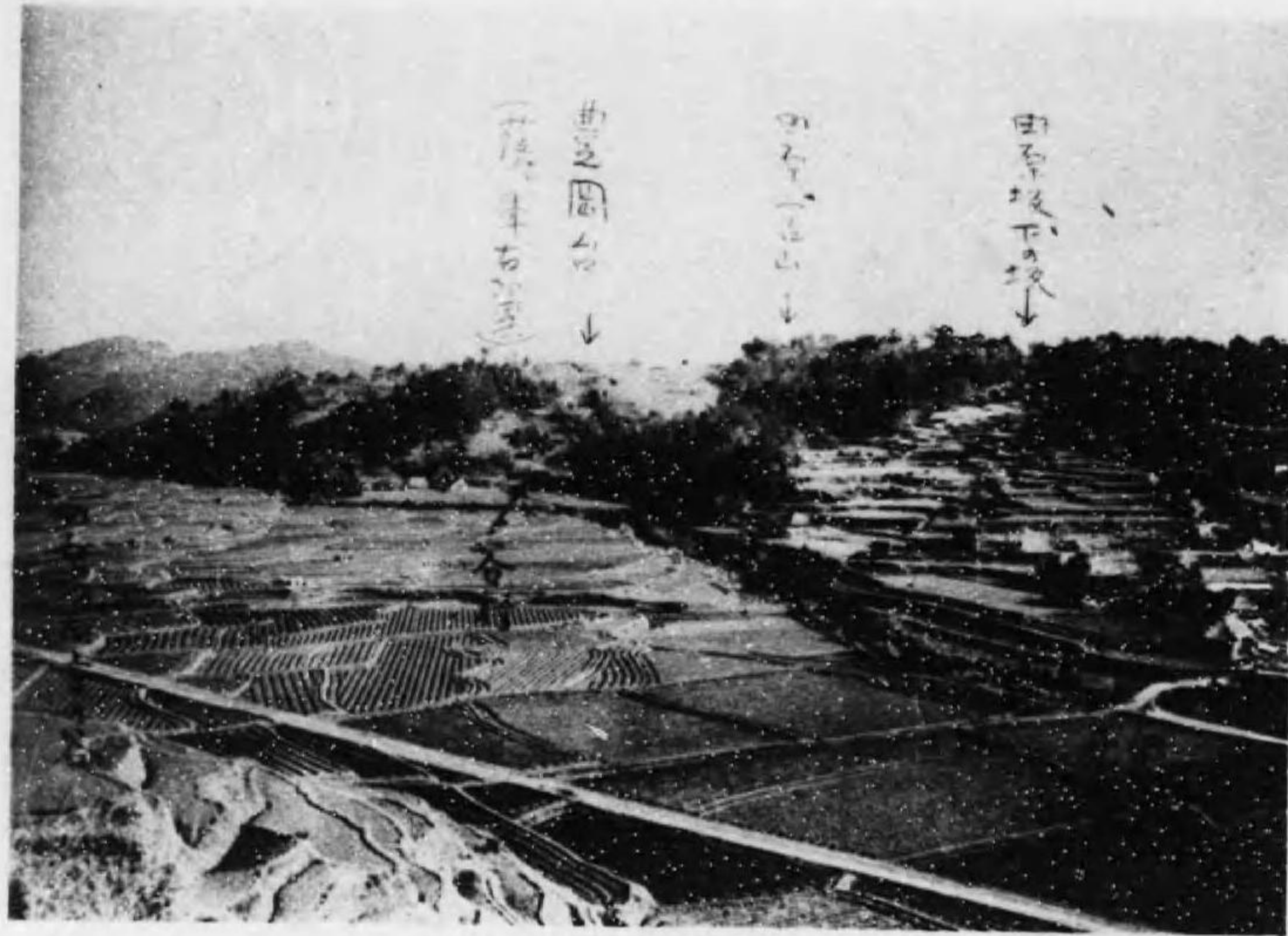
(リヨ村嘉八) 橋大瀬高



(村野大) 鐵蘇ノ村下



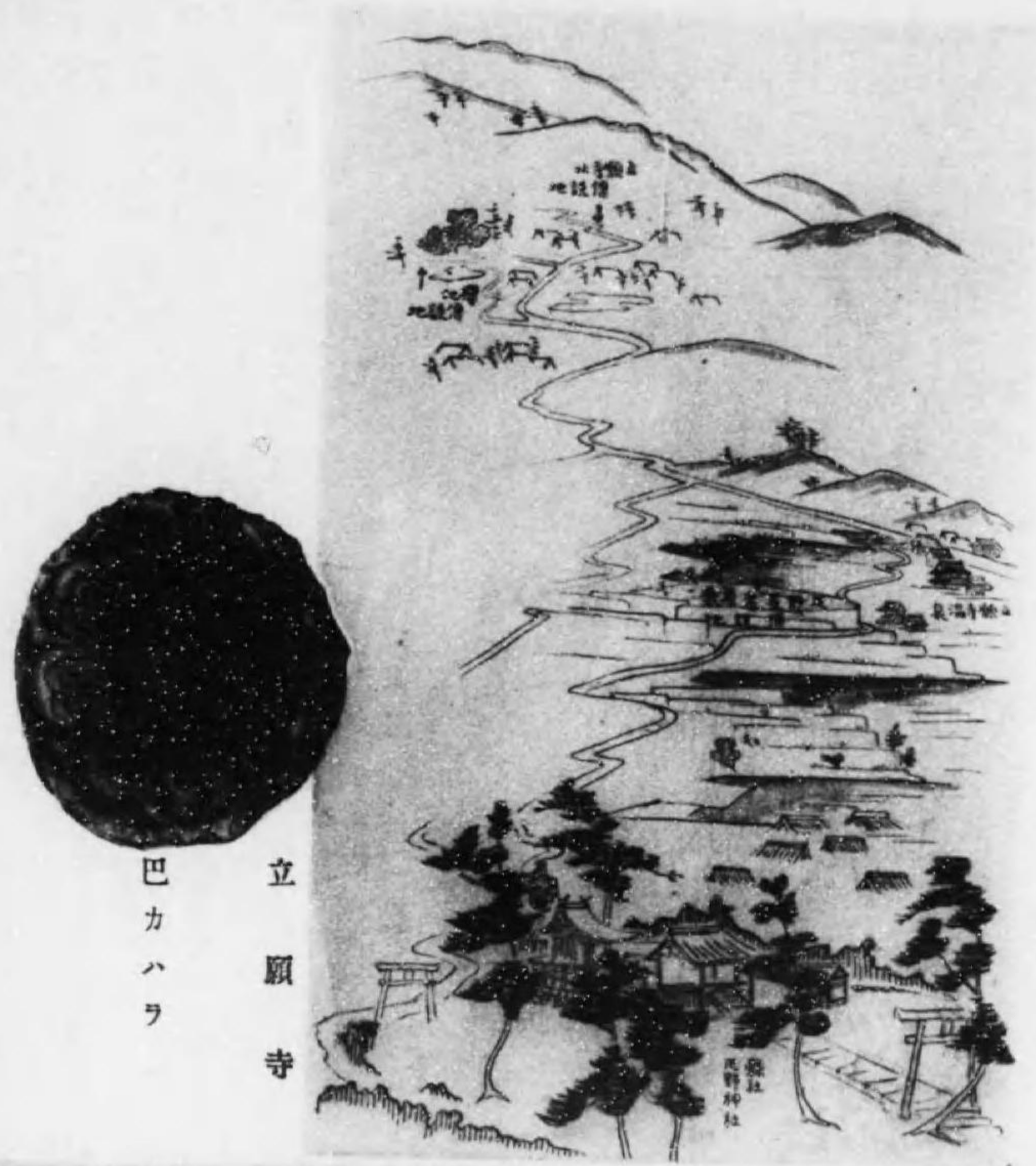
(村天小) 山柑密天小



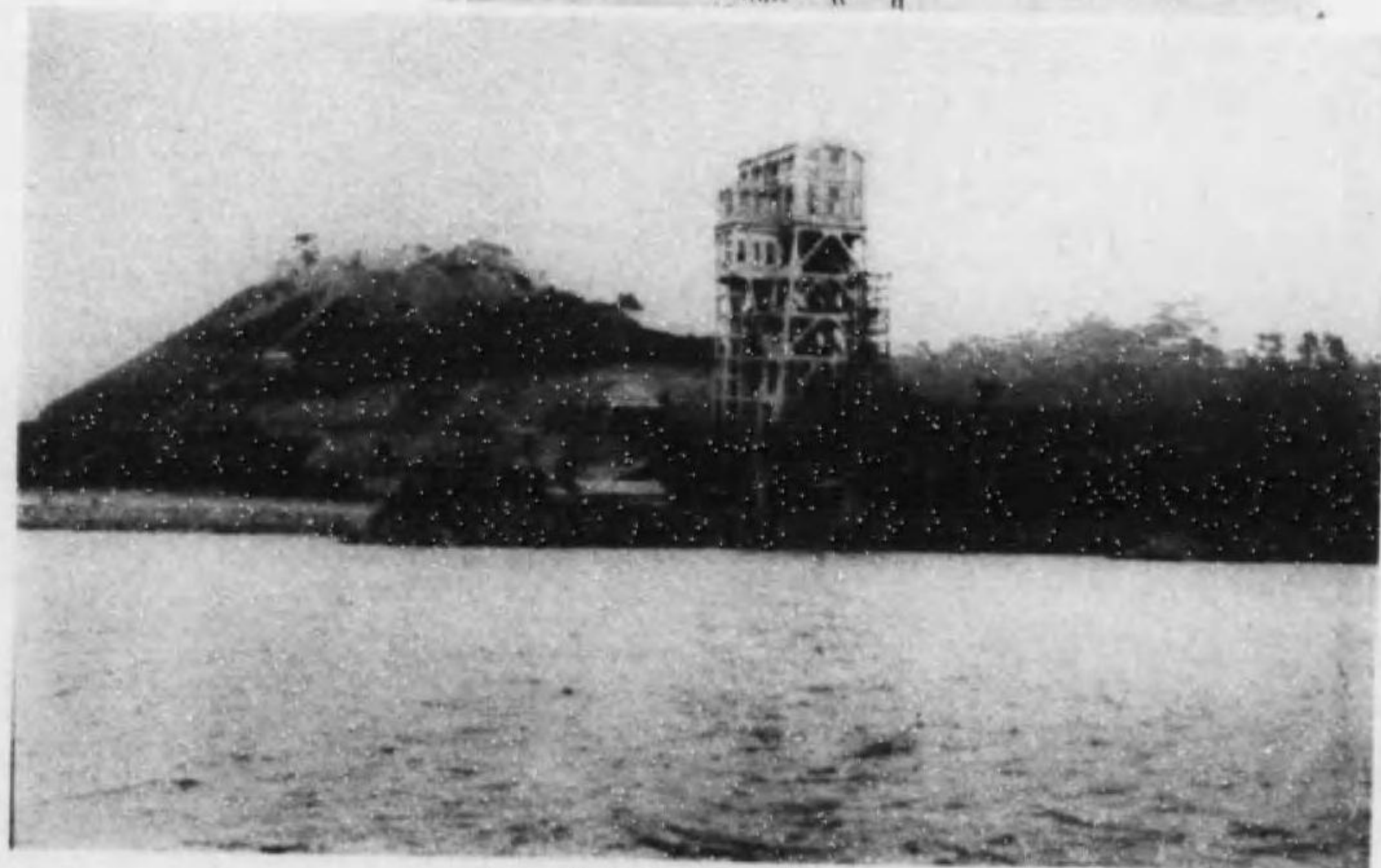
方左テツ向及面正坂原田



(面方線九) 方右テツ向及面正上全



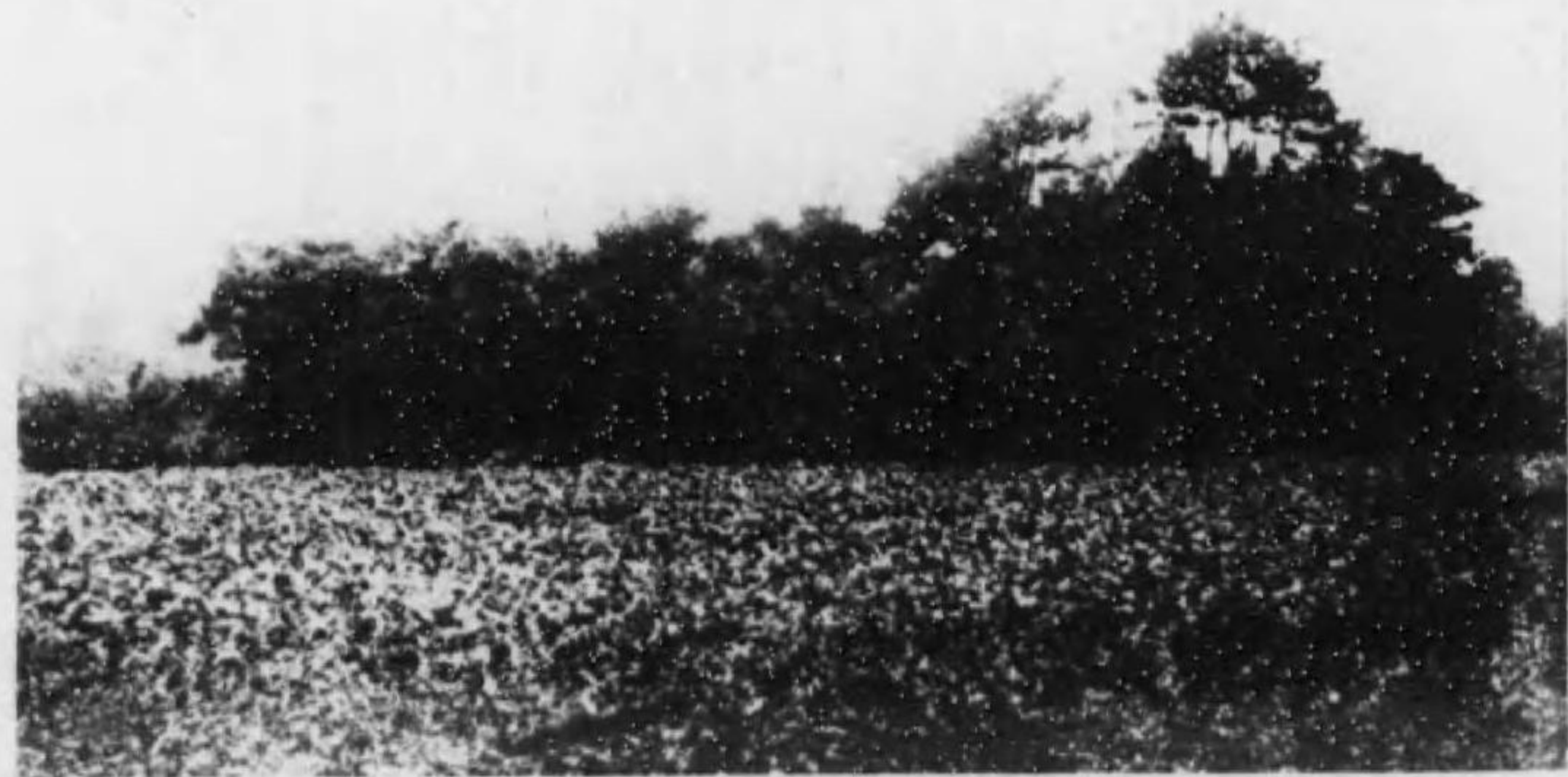
立願寺
巴カハラ



(町尾荒) 坑炭田万



鏡 漢



景全墳古山船田江





人 石



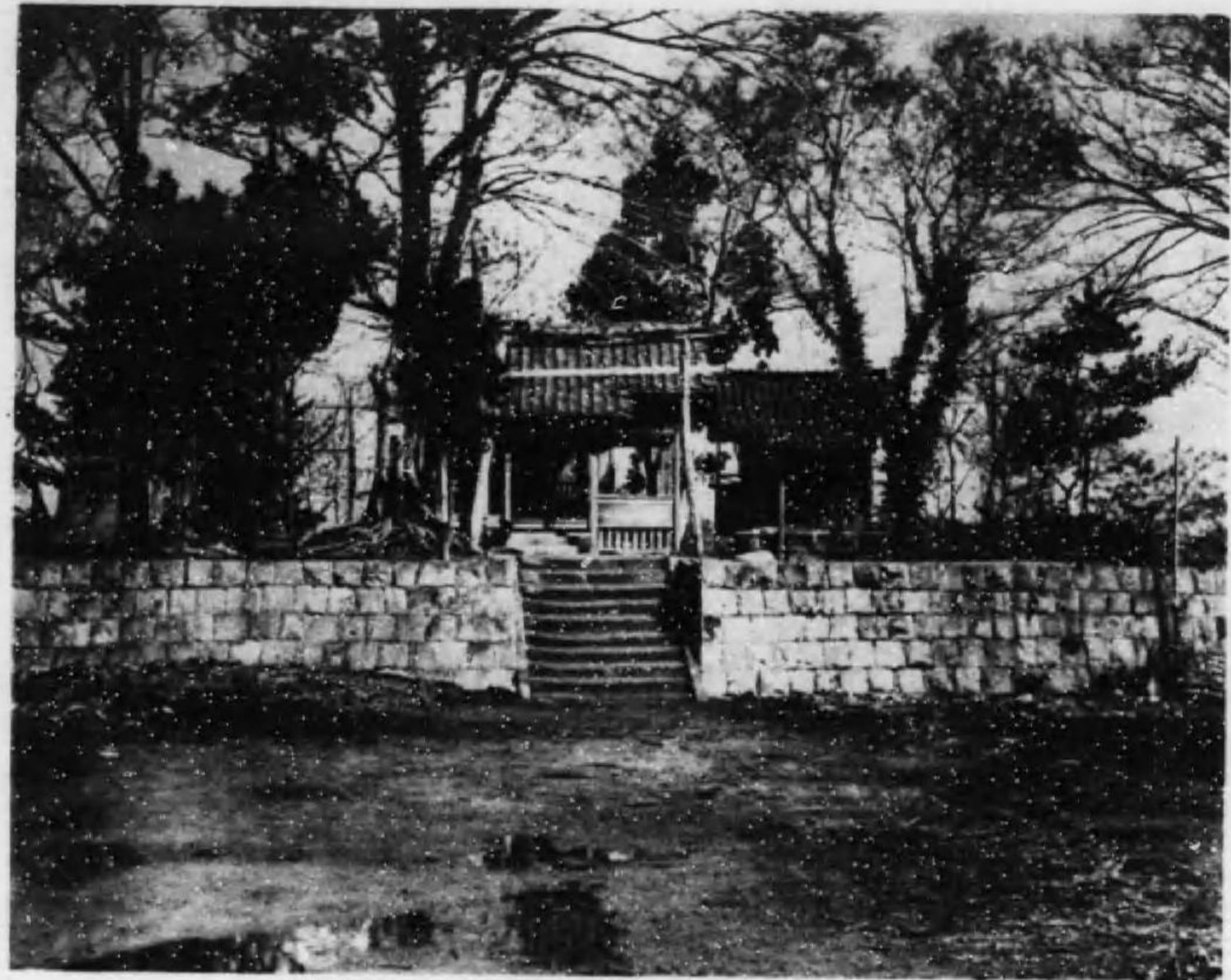
墳古山左傳



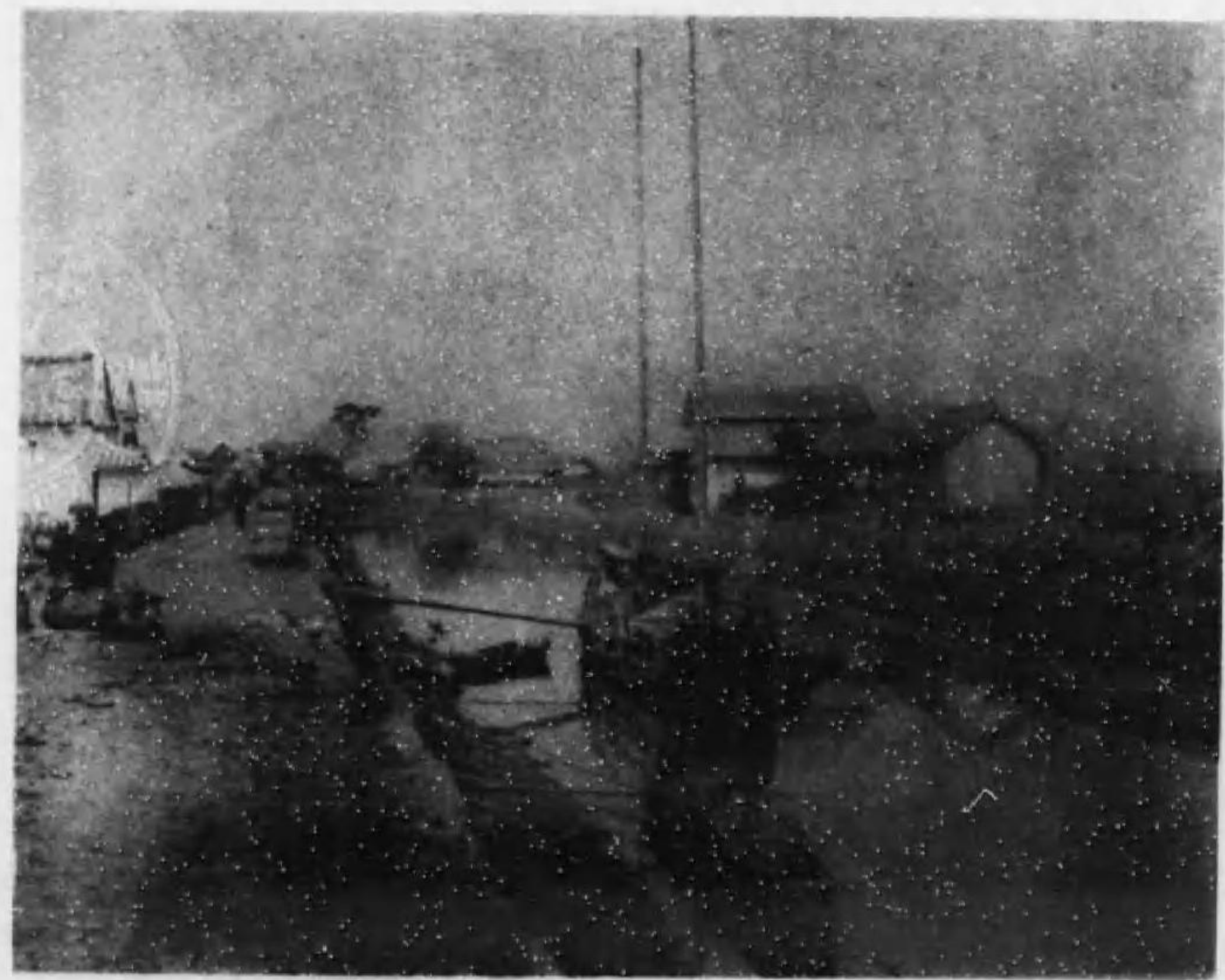
(浦ノ姫村赤腹) 社 神 石 名



(寺願立村富瀬) 社 神 野 疋



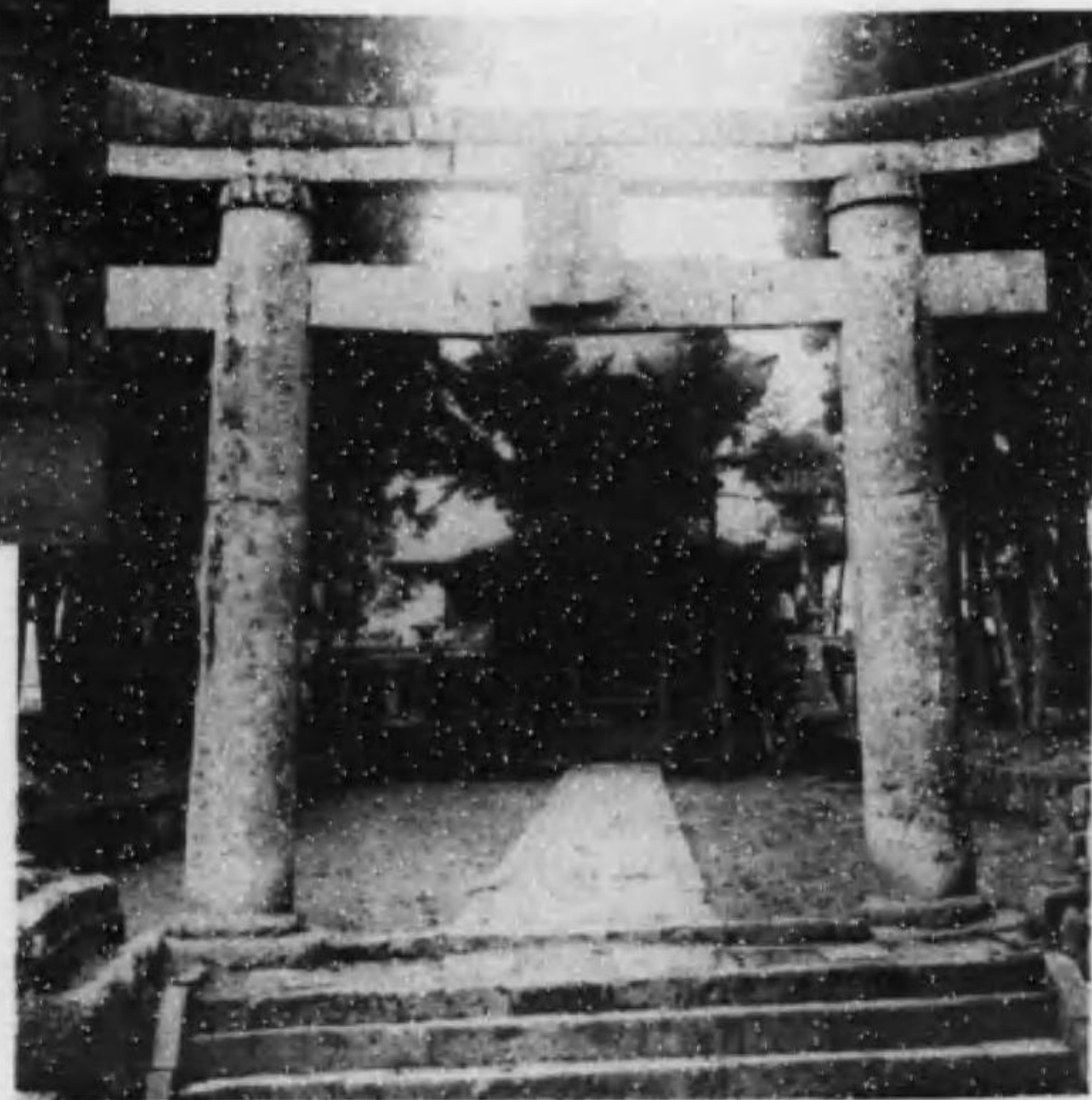
(社神木田保町瀬高) 城 木 田 保



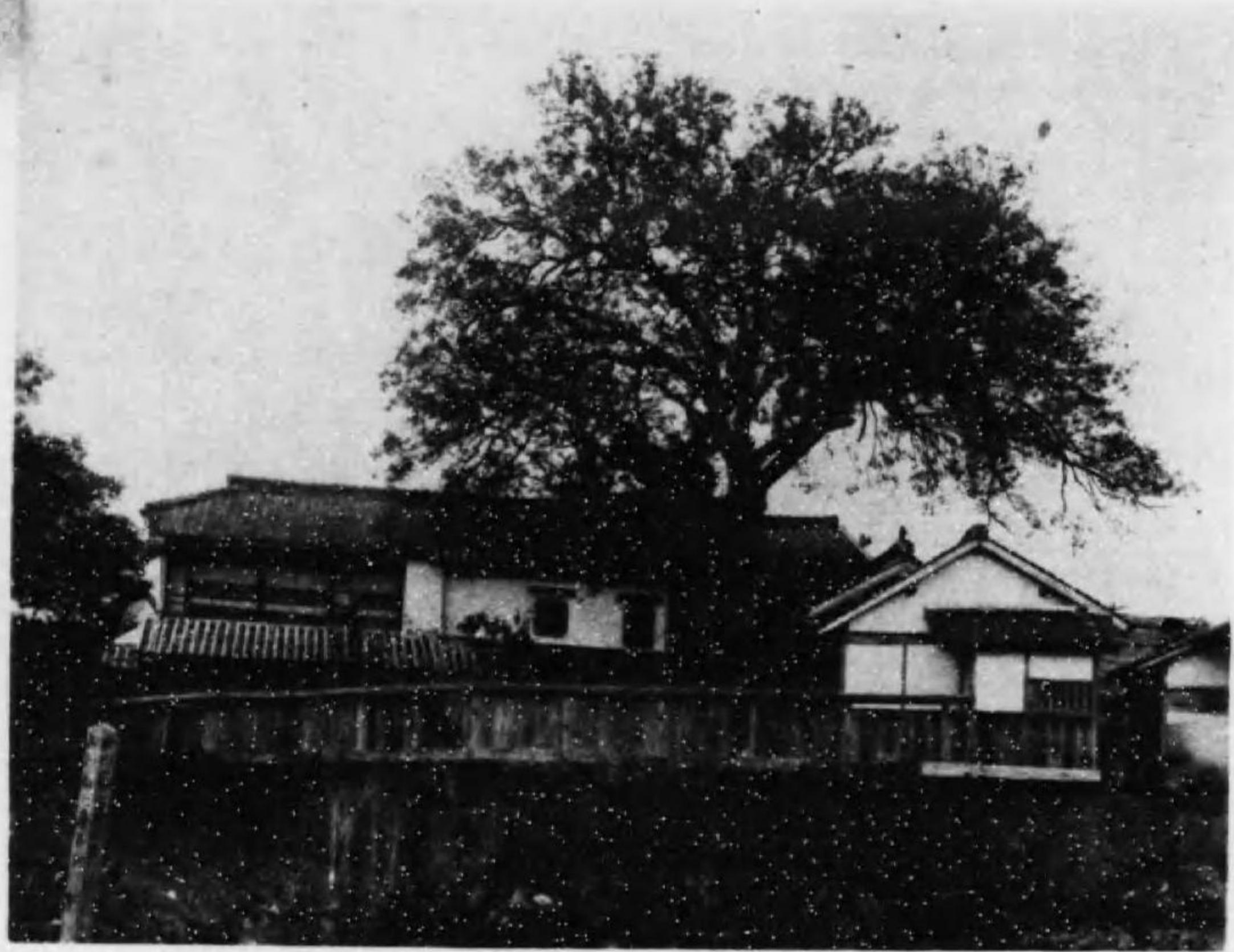
(塘石村島横) 川 人 唐



(町倉伊) 樹孫公繁船代時川人唐

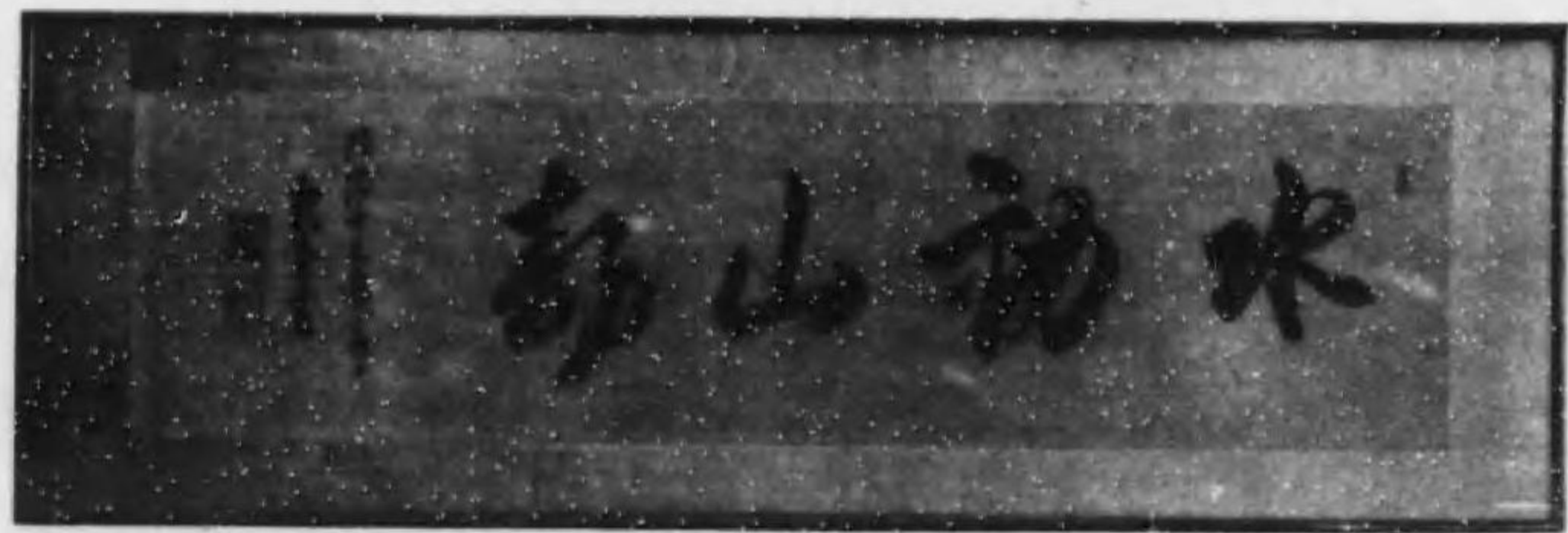


伊倉兩八幡宮
右北社
左南社



(町瀬高) 跡營本役戰年十治明

有
栖川宮御筆
(上ノ楓ニ因ミ
鳳樹樓ノ御命名)



筆御宮川栖有



(町瀬高) 幡八木根繁



(町關南) 社神山津大



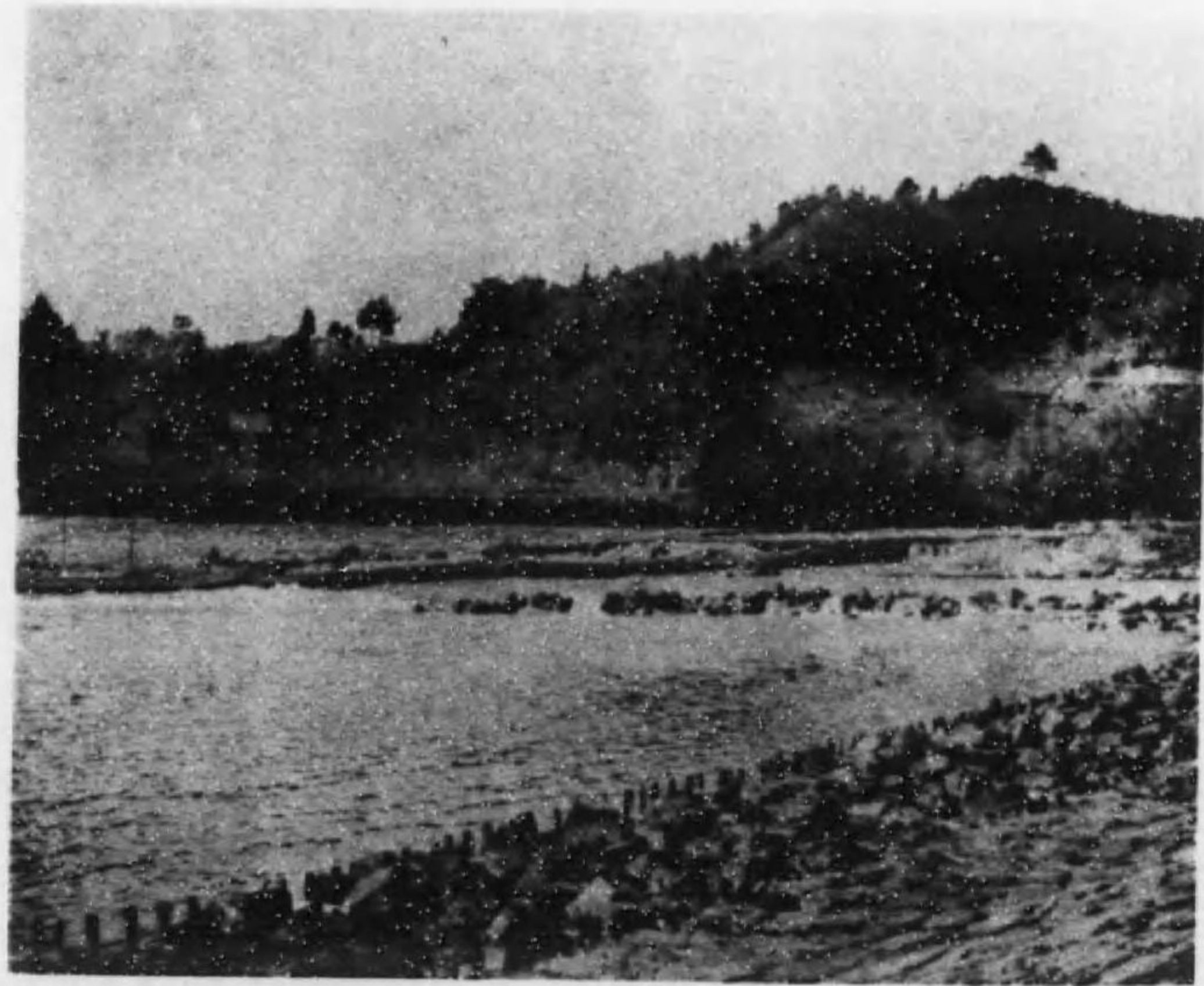
(村葉木) 社 神 宮 都 宇



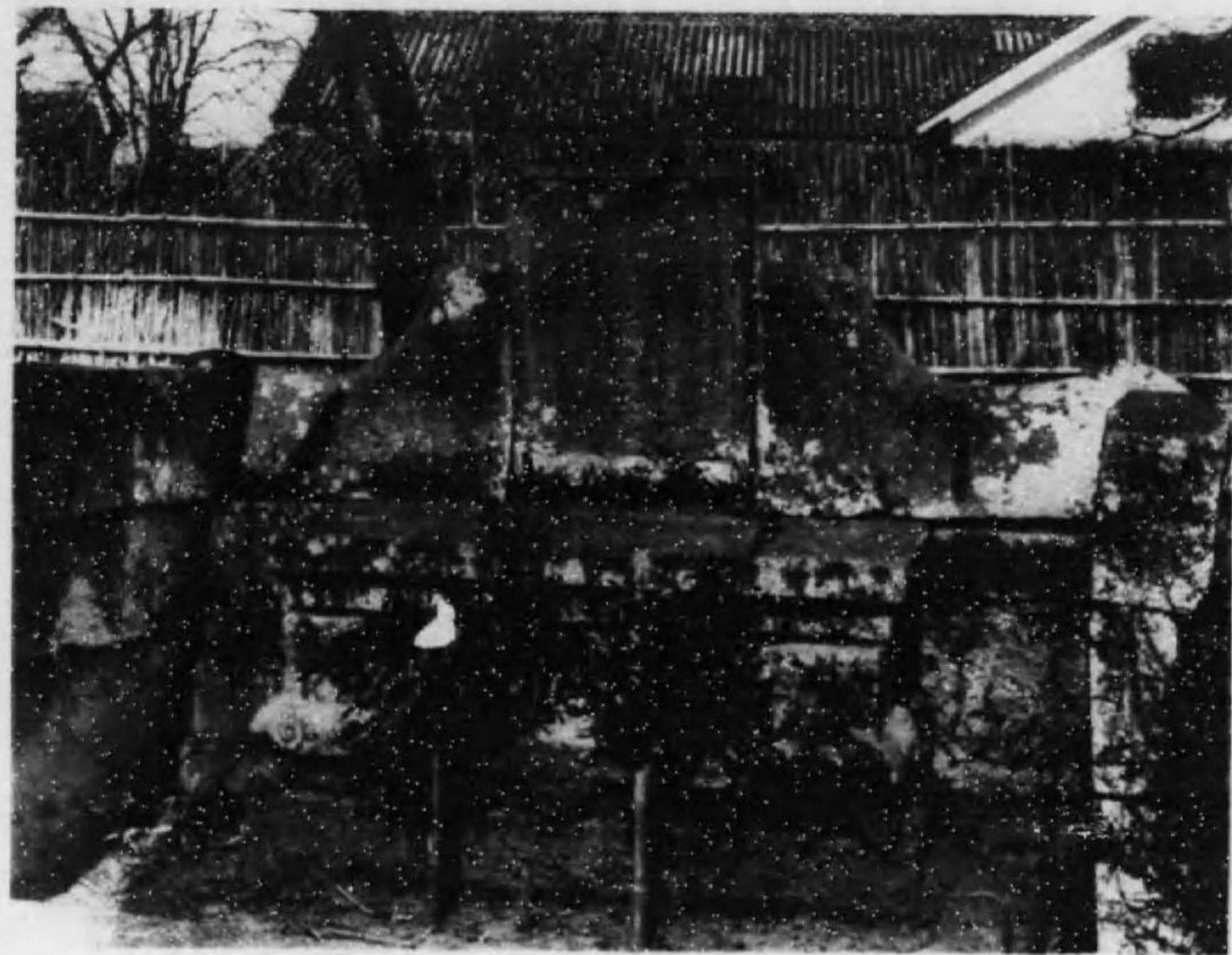
(村貫石) 寺 福 廣



(筆重武池菊) 書文古寺福廣



(村瀬月村田江) 堰ノ石白



(町倉伊) 墓公郭人明



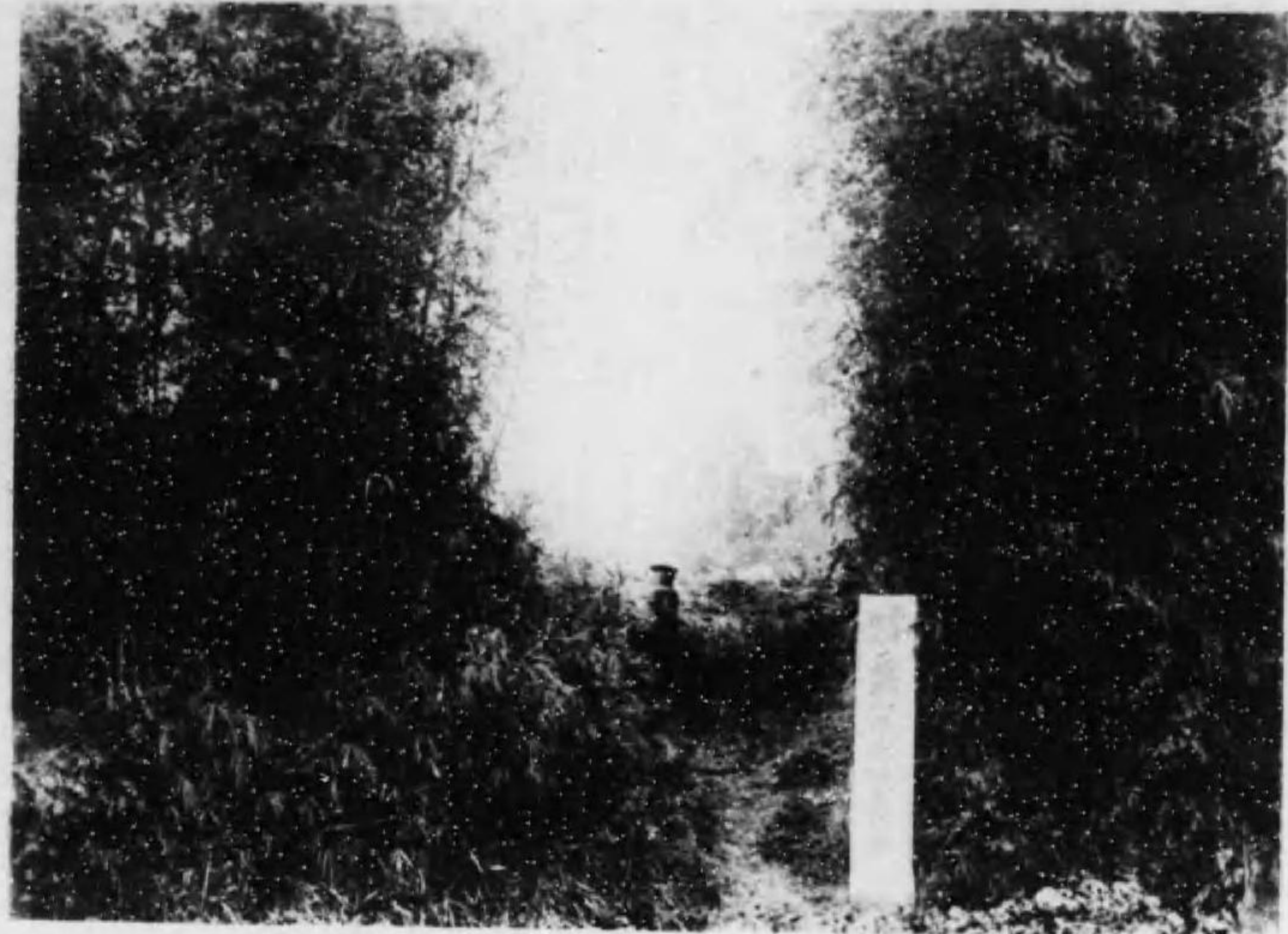
(村山築) 岳日及地說傳在行帝行景



(納献人明) 爐香ノ幡八北倉伊



(祖ノ氏真相村北山) 塔古ノ寺安西



(寺徳永町瀬高) 地ノ死戦衛兵小郷西



所 役 郡 名 玉



石貫村
穴観音

観音堂

開元の石像（平安朝初）

安置像
（平安朝中）

石貫穴観音

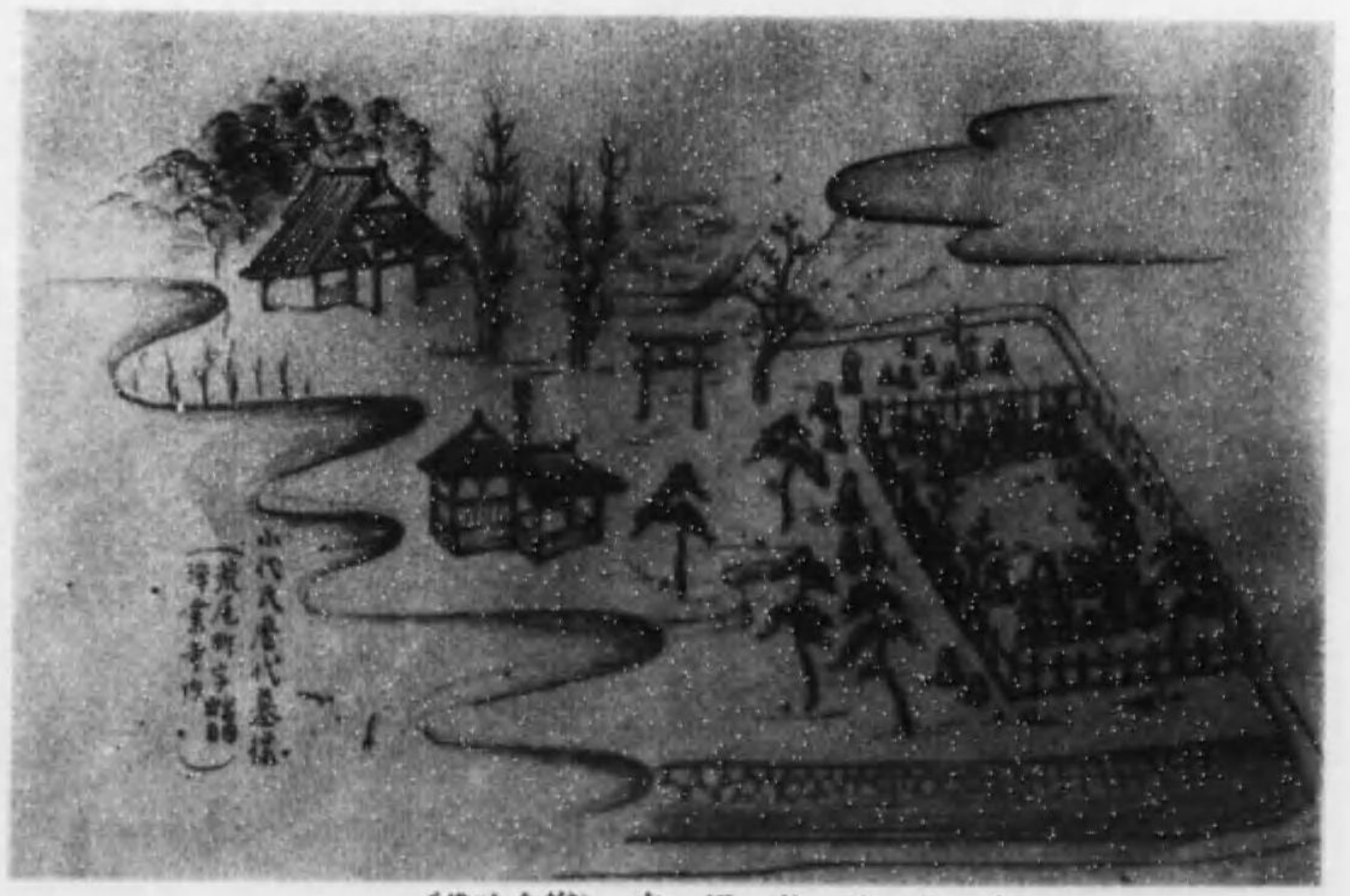
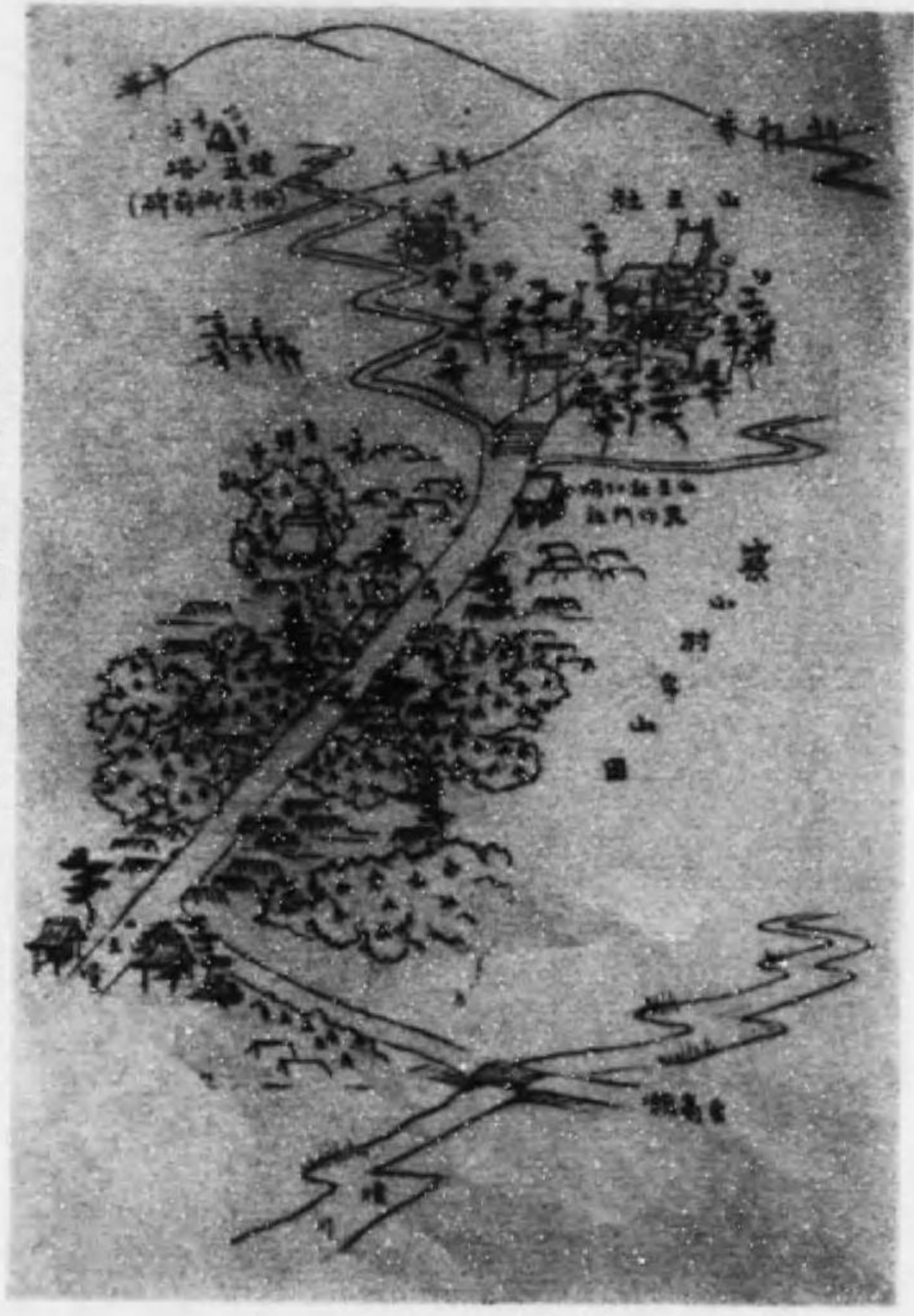


塔院匯寶ノ潮豪



碑支渡

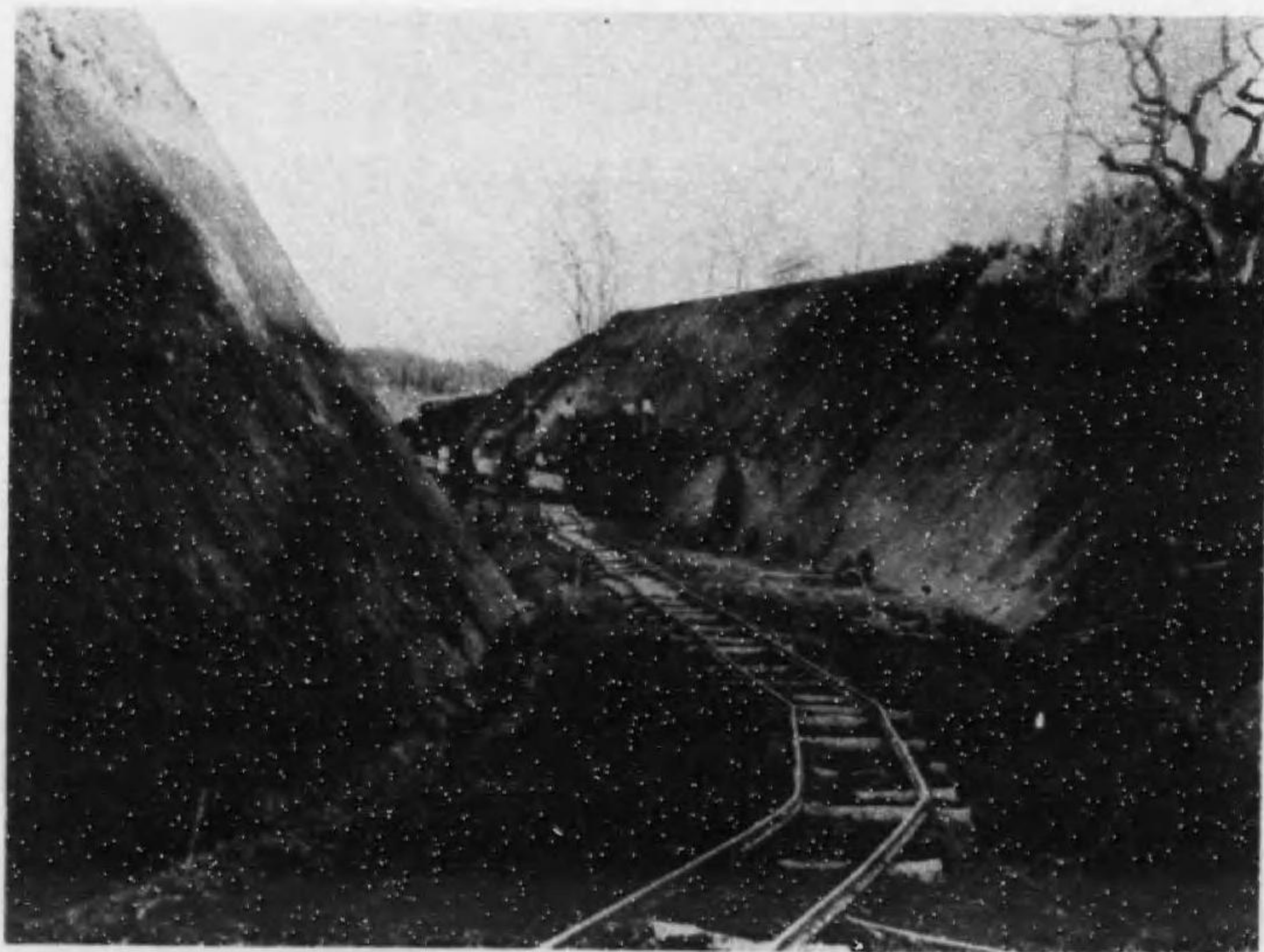
山王寺、吉祥寺、建長ノ塔
(鎌倉時代)



小代氏菩提寺 (鎌倉時代)



(町尾荒) 線川三尾荒道郡



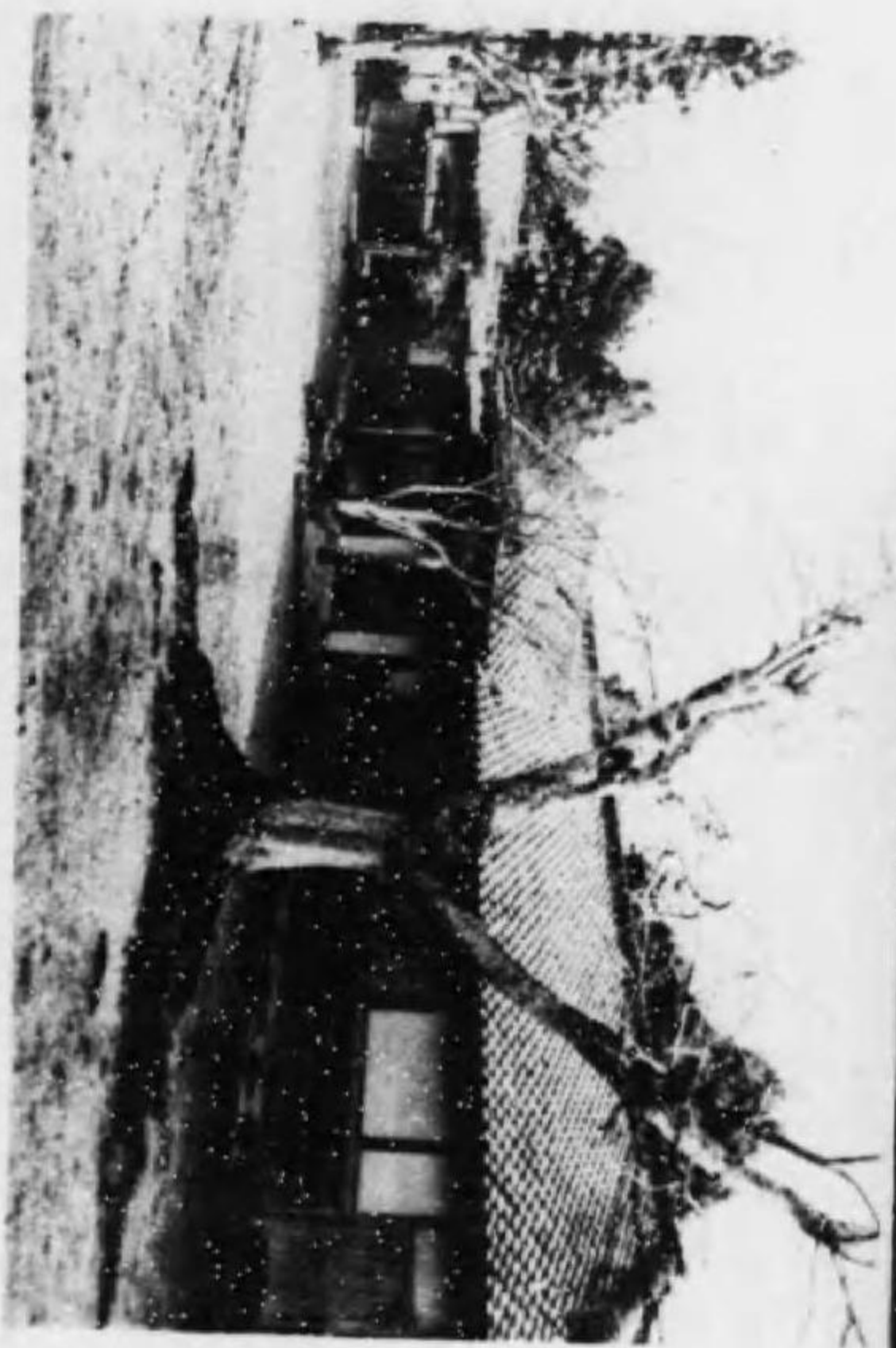
(谷相村原大) 事工線尾神原大道郡



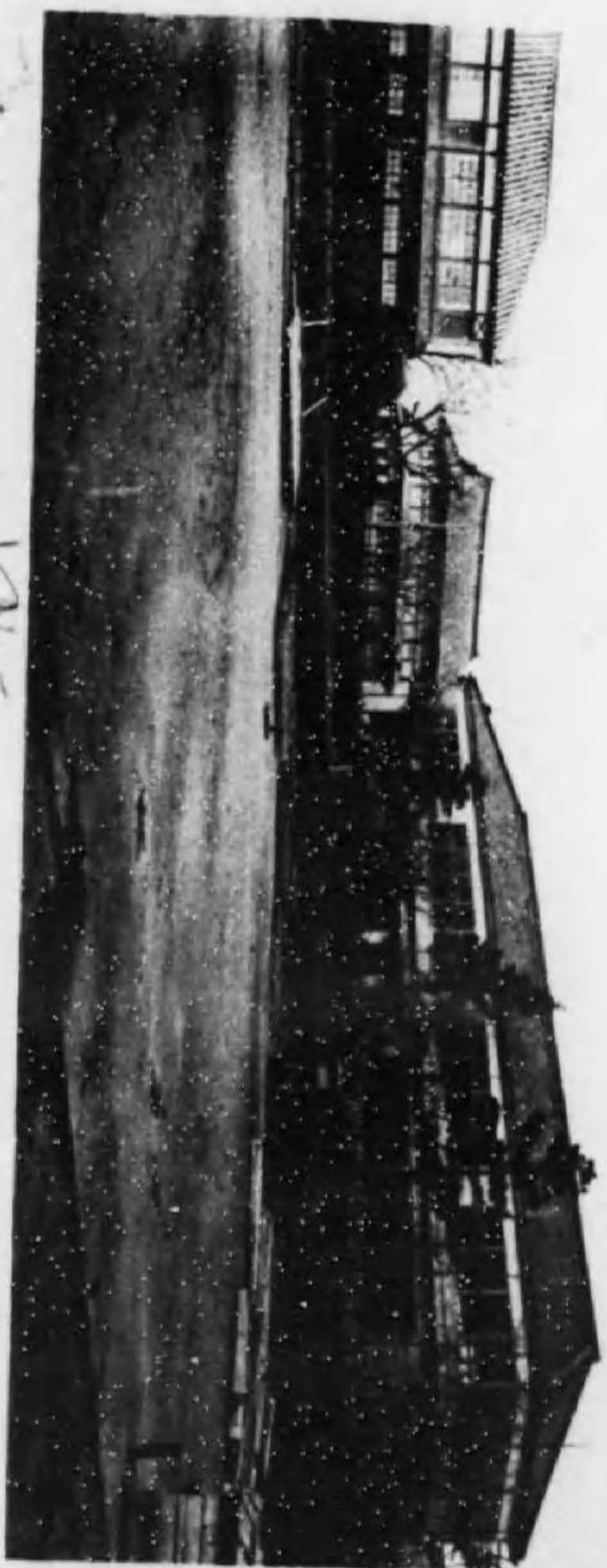
(尾宮村木賢) 線木賢下坂道郡



(原ッ四村富米) 線木賢下坂道郡



聖會公念記治明



玉名郡立玉名高等女學校



館書圖名玉念記治明

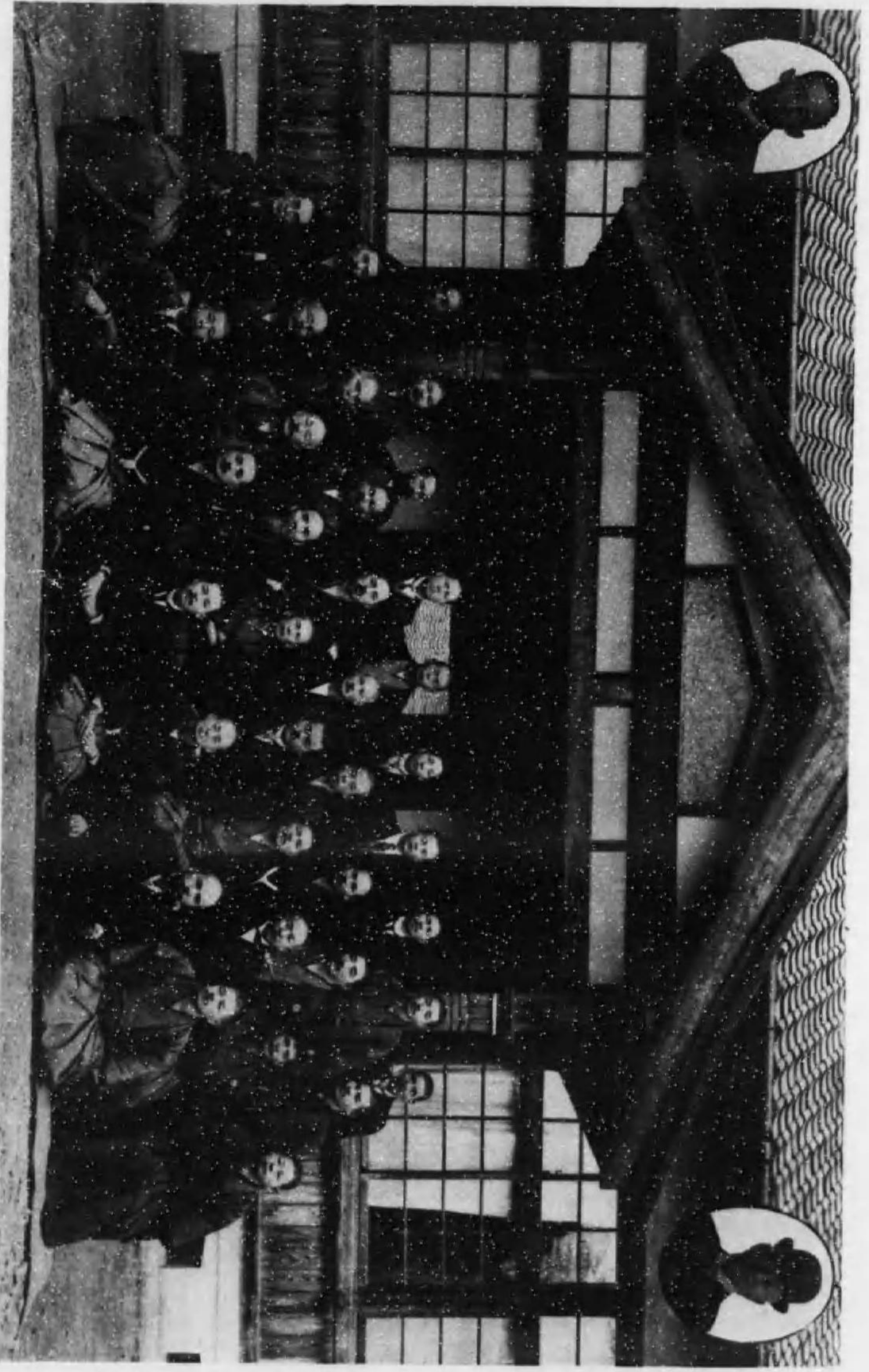
列外右 余田末人 左中島照寛

前列右ヨリ 小山萬藏 上土井字太 松岡三九郎 木原市次 谷口元喜

中島善吉

第二列右ヨリ 松隈龜太郎 吉富孝次郎 立山哲壯 大磯準藏 桐野桑吉

高木勝太郎 津留健次郎 關應藏 中島重太郎 平川千島



第三列右ヨリ 濱村喜代太 三津家貞次 福島二 前原健太郎

中島大肥 福島文藏 庄山寅彦 富田敏登 今村司鹿太

第四列右ヨリ 杉村彦藏 原口忠雄 岡本二 田尻善三郎 大保三人

川本末八 福山直人 猿渡伊之藏 中山勇 林平太郎

郡議會及參與員 (大正二十一年一月)

熊本縣玉名郡誌目次

0 第一編 自然界……………	一
1 第一章 地界……………	一
第一節位置……………	一
第二節地勢……………	一
第三節面積人口……………	三
第二章 水界……………	五
第一節河川……………	五
第二節湖沼……………	一一
第三節港灣……………	一三
第四節沿海……………	一四
第五節水利の梗概……………	一五
第三章 氣界……………	一六
第一節氣節……………	一六
第二節雨量……………	一六
第三節常風……………	一七
第四節天氣……………	一八
第四章 地質……………	二二
第一節總說……………	二二
第二節細說……………	二五
第三節應用地質……………	二九
第五章 交通運輸……………	三一
第一節道路……………	三一
第二節鐵道……………	三三
第三節航路……………	三五

第一編 博物 三六

第一章 動物(脊椎動物) 三六

ア行 三六 カ行 四五 サ行 五三 タ行 五八 ナ行 六二 ハ行 六四

マ行 七〇 ヲ行 七四 ヲ行 七六 ヲ行 七七 無脊椎動物 七七

ア行 七七 カ行 八七 サ行 七九 タ行 一〇二 ナ行 一〇六 ハ行 一〇九

マ行 一一五 ヲ行 一一九 ヲ行 一二〇 ヲ行 一二二

第二章 植物 一二二

ア行 一二二 カ行 一三一 サ行 一四〇 タ行 一四五 ナ行 一五〇

ハ行 一五三 マ行 一六〇 ヲ行 一六五 ヲ行 一六八 ヲ行 一六八

第三章 岩石鑛物 一七〇

岩石 一七〇 アウ部 一七〇 カキタコ部 一七〇 シセネ部 一七二

ハヘ部 一七三 ヨレロ部 一七四

鑛物 一七五 カ行 一七五 サ行 一七六 テハフ部 一七七 クツ部 一七八

第三編 處誌

第一章 神社 一

第一節 舊坂下郷 一 第二節 舊小田郷 二二 第三節 舊内田郷 三七

第四節 舊南關郷 八二 第五節 舊荒尾郷 一〇〇

第二章 佛閣 一四六

第一節 舊坂下郷 一四六 第二節 舊小田郷 二〇五 第三節 舊内田郷 二二二

第四節 舊南關郷 二七三 第五節 舊荒尾郷 二九九

第三章 古城趾 三四〇

第一節 舊坂下郷 三四〇 第二節 舊小田郷 三五二

第四節 舊南關郷 三五八 第五節 舊荒尾郷 四一七

第四章 名勝舊蹟 四四七

第一節 舊坂下郷 四四七 第二節 舊小田郷 四六一

第四節 舊南關郷 四八九 第五節 舊荒尾郷 五一〇

第五章 人物 五一六

第一節 學者 五一六 第二節 志士 六六七 第三節 事業家 七四九

第四節 僧侶 八二六 第五節 力士 八三五 第六節 善行者 八三八

第六章 口碑傳說遺物 八四四

第一節 舊坂下郷 八四四 第二節 舊小田郷 八五三

第四節 舊南關郷 八六二 第五節 舊荒尾郷 八六六

第四編 通史

第一章 豪會時代及國造縣主時代 一

四

第一節古代の筑紫島乃至玉杵名……………一
 第二節考古學上石器時代の玉名人……………二
 第三節我古書に散見する九州乃至玉名の古代民……………四
 第四節支那史上の倭人偉史上の玉名人……………七
 第五節阿蘇氏の南向と玉名……………一一
 第六節景行天皇の西巡と玉名……………一二
 第七節古墳と玉名……………一三
 第八節古代の地方制度と玉名……………二〇

第二章 國司郡司時代……………二一

第一節大化の改新……………二一
 第二節國郡制……………二二
 第三節鞠智城と烽火臺……………二二
 第四節道君首名の治績……………二三
 第五節腹赤の贊……………二五
 第六節玉名の倉倉……………二五
 第七節日置氏の治績……………二七
 第八節神佛調和繁盛……………三二
 第九節藤原則隆の菊池の南向……………三六
 第一節平家鎮西平定……………三七

第三章 守護地頭時代……………三九

第一節武家政治……………三九
 第二節蒙古の襲來……………四〇
 第三節小代氏の玉名南向……………四八
 第四節大野氏の玉名南向……………五二
 第五節建武中興……………六〇
 第六節西征將軍の九州南向……………六二
 第七節玉名郡諸城主の去就……………六六
 第八節海外發展……………七三
 第九節守護地頭時代の文化……………八四
 第一節神社の普及……………八四
 第二節佛教……………八六
 第三節文學……………一一一
 第三節支丹宗……………一二一

第四章 戰國時代……………一二二

第一節九州の形勢……………一二二
 第二節菊池氏の衰亡……………一二四
 第三節大友氏の肥後侵入……………一三〇
 第四節龍造寺の肥後侵入……………一三四
 第五節島津氏の肥後侵入……………一四三

第五章 佐々成政時代……………一五三

第一節豊臣秀吉の征西……………一五三
 第二節佐々成政の政治……………一四五
 第三節玉名諸城主の反……………一五七
 第四節成政の切腹……………一六五

第六章 加藤氏時代……………一六六

第一節加藤清正の入國……………一六六
 第二節朝鮮の役……………一六八
 第三節高瀨經營……………一七一
 第四節軍備的施設……………一七六
 第五節神社佛閣の保護……………一七九
 第六節治水工事及新地の開墾……………一八二
 第七節文學及工藝……………二〇九
 第八節加藤忠廣の改易……………二一一

第七章 細川氏時代……………二二二

第一節細川忠利の入國……………二二二
 第二節細川藩の制度……………二二四
 第三節島原の亂と切支丹宗嚴禁……………二二三
 第四節正野神社の再興……………二三〇
 第五節熊本文學と大塚退野の隱退……………二三六
 第六節寶曆の改革……………二四〇
 第七節藩府の高瀨經營……………二五四
 第八節寛政の大海嘯……………二六一
 第九節公益家の輩出……………二六二
 第十節勤王運動……………二六七

第八章 明治大正時代……………二七六

第一節明治維新……………二七六
 第二節高瀨藩の設置……………二七九
 第三節神風連の變……………二八八
 第四節西南の役……………二九一
 第五節伊倉の教育……………二九七
 第六節市町村制實施後の玉名郡……………三〇〇

第五編 玉名郡制史……………三〇四

熊本縣玉名郡誌

第一編 自然界

第一章 地界

第一節 位置

我が玉名郡は熊本縣の西北隅に位し六町三十七箇村を有し極東は東經百三十度三十九分十二秒(花簇村)にして極西は東經百二十度五十分(荒尾町)なり。又極南は北緯三十二度五十一分二十七秒(小天村)にして極北は北緯三十三度七分(春富村)なり。

本郡は地形略々三角形をなし東は鹿本郡、北は福岡縣八女郡及山門郡に接し北西は福岡縣三池郡と境し西及南は有明海を隔て、温泉岳及び三角半島を望み東南は飽託郡と境す。

第二節 地勢

一、地勢概況

郡の中央より稍西南に偏して小代山聳む其の脈東北の臼間山に連り久重山は西北隅にありて筑後の境

に跨る。轟、和仁、十丁の諸山北方に屹立し其の脈東北に走りて筑後の境をなす。

是等の諸山は福岡縣より南走し來れる筑紫山脈の支脈にして縦横に蟠屈して丘陵高原をなし北方は地勢一般に高峻なり。東方は花簇、木葉の山々連亘して郡境をなし、木葉谷を隔て、東南隅の三の岳と相對峙す。

西南は弧狀をなして有明海に面し小岱山麓より漸次下降して一大平原を開き伊倉臺地の下に連る。高瀬川畔の窪地は一帶の沃野數里に亘るも山間には所々狭小の平野あるのみ。

菊池川は源を菊池郡水源村深葉山中に發し西流して隈府町の南を過ぎ鹿本郡に入り合志川を合して山鹿町を過ぎ水流漸く大となり玉名郡に入り和仁、坂下其他の諸流を合して高瀬町を南に過ぎ滑石村と大濱町との間を流れ有明海に入る。流域六十四方里灌漑反別一萬五百廿町余にして灌漑力の大なること實に縣下第一とす。

二、山誌

1、小岱山

玉名郡の中央より稍西南に偏せる山麓にして全部花崗岩より成る。小峰は筒ヶ嶽(五百一米)前嶽、觀音嶽(四百六十米)日嶽(二百五米)天狗嶽に分れ海岸に近く峙立するを以て遠くより之を望むことを得べし。本山はもと墨摺山と稱せしが寶治二年小代氏居城せしより今は小岱山と稱し又小岱とも

書す、又山形七面一様の觀あるの故を以て俗に七面山とも云ふ。

2、久重嶽

玉名郡の西北境福岡縣三池郡界に聳ゆる通常三池山と稱し海拔三百八十米にして此の山の西方及び西南一帶の三池郡より有明海岸に沿ひて玉名郡に亘る丘陵地には石炭を藏すること多く、有名なる三池炭田即ち是れなり。

3、木葉山

玉名郡の東南方に峙ち海拔三百八十三米、靈雨山の別稱あり、山体は片麻岩と稱する最も古き地質より成り山中には石灰岩を産す、此山には小森田將監の城跡あり。山嶺透麗して北々東に走り北端を(花簇山、日平山と)稱す。

4、三ノ嶽

阿蘇火山脈に屬し玉名、飽託、鹿本の三郡に跨り聖德寺山の別名あり、海拔六百八十四米にして熊野嶽(二ノ岳)、小萩山、平山嶽等と共に金峰山の外輪をなす。

第三節 面積、人口

一、郡廣袤面積及人口(人口ハ大正九年十月一日第一回國勢調査ノ分、戶數モ全年度)

方位地名		里程	方位地名	里程	戸数	人口	面積	一方里ノ人口	
極東	花簇村	二、二六	極南	小天村	三、一〇	二四、二五三	一三二、五九三	二六、五〇	四、九六五、八
極西	荒尾村	五、〇七	極北	綠村	五、一〇				

二、町村別戸數及人口(人口戸數右全)

町村名	戸數	人口	町村名	戸數	人口
町村名	六五〇	三、六〇〇	町村名	六六六	三、七八三
高瀬町	七〇〇	四、一一九	伊倉町	九〇二	五、三六八
彌富村	四一〇	二、二五六	横島村	四九八	三、〇三一
大野村	三三三	一、八三三	玉水村	六六九	三、七九〇
築山村	四七八	一、八五一	小天村	五六四	三、一一四
睦合村	四一八	二、八〇八	山北村	四六五	二、五三九
鍋道村	五一一	二、四七二	木葉村	四八八	二、五三三
高石村	四〇〇	二、二五九	梅林村	二七六	一、三六八
滑石村	二八五	一、六八八	小田村	三二一	一、六九三
大濱町	四七一	二、五六五	花簇村	四九一	三、〇四〇
豊水村			江田村		二、六二七
八嘉村			東郷村		

川沿村	戸數	人口	賢木村	戸數	人口
川沿村	三九七	二、〇二〇	賢木村	七三五	三、八六九
月瀬村	二六七	一、四一六	平井村	七八〇	四、〇六七
玉名村	三四五	一、八七七	府本村	三六九	二、一七二
石貫村	二九四	一、五〇三	八幡村	三一六	一、七二六
米富村	三五三	一、九三三	六榮村	三六九	二、一七四
坂下村	四五三	二、三五七	腹赤村	四九一	三、〇七一
大原村	五三二	二、七四一	長洲町	一、二七三	六、〇四五
神尾村	六〇三	三、二八〇	清里村	四九五	三、〇七二
絲尾村	四四二	二、三九〇	有明村	四五六	二、七九〇
春富村	四五九	二、四八八	荒尾町	三、〇三九	一五、一一一
南關町	八四八	四、二五五	合計	二四、二五三	一三一、五九三

第二章 水界

第一節 河川

本郡の河川は前記地勢上より大河を形成するに至らず。唯、菊池、鹿本の兩郡より流れ來れる菊池川のみは洋々本郡の東南部を貫流せるを以て西南部の二三の川を除く外は皆此の河に注けり諸流概ね水利灌漑に富む、左に其の主要なる川を列記すべし。

1、菊池川(高瀬川)

菊池川は阿蘇の外輪山西北麓なる菊池郡深葉山に發し有名なる菊池米の産地たる菊池盆地を流れ合志川を合せて山鹿町と米田村との境界を過ぎ本郡東郷村に來り本郡の東北隅より流れ來れる岩村川、平野川、内田川を入れ川沿村より南流して江田川、三藏川を合せ小田、玉名の境界を流れ一旦西南流して彌富村、高瀬町の東部を洗ひ蜿蜒として砂洲の間を縫ひて靜流し大濱町滑石村の境界に至り有明海に注ぐ、水頗る清らかにして流路十八里十八町、本郡の流程凡そ七里、舟揖灌溉の便大にして本郡の水庫と稱するも過言にあらざり川口は廣茫たる砂洲を形成し幅員約一千米に達す。本川の下流は天正年代以前には高瀬の東方より舊小田郷の平原を貫流し玉水村久島山と横島丘陵との間を過ぎ現今の所謂唐人川筋を流れて有明海に注ぎしが、天正十七年加藤公の土工により高瀬町より滑石村及び大濱町間の堤防を築きて現河流を形成す。豊水村北牟田、小島及横島村大園等は當時の河床上に建設せられたる各部落なり。

2、岩村川

岩村川は源を鹿本郡平小城村の平山峠の麓に發し岩村を貫通し東郷村菰田に至りて菊池川入る流程二里。

3、十丁川

十丁川は水源二あり一は緑村上十丁より一は坂本より發し中十丁にて合す板楠を経て神尾緑の境界山隘を穿ち和仁川と合し平野に至り菊池川に注ぐ全長約三里水量稍々豊かにして流勢急なり灌溉にも亦便なり。

4、和仁川

和仁川は源を春富村の北境なる矢部谷、山口の山岳に發し山間を迂回して神尾村野田に入り大田黒に至りて十丁川と合し平野川となりて菊池川に注ぐ、流程三里流域は森林繁茂し下流に至るに従ひ水量愈々増加し灌溉水利の便を與ふること大なり、水車數ヶ所あり。

5、燒米川

燒米川は全長凡そ一里水源は米野岳に發し榎原に於て前野川と相合し北流して鹿本郡米田村坂田と燒米の境界をなし燒米川となり菊池川に注ぐ流域稍々廣く數ヶの水車あり。

6、久井原川

久井原川は二城山麓相谷横脇の山中に源を發し南流して肥猪原、向原の丘陵の間を縫ふ久井原に出で菊池川に合す水量豊富ならざれども附近の水田は皆此の川によりて灌溉す。

7、坂下川(内田川)

坂下川の二水源一は小代山麓米富村に發し北流して坂下村に入り一は大原村二城山麓に發し坂下村に

來りて相合し東流川沿村に至り内田川となりて菊池川に流ぐ流程約二里半。

8、江田川

江田川は源を鹿本郡山内村に發し上流は北谷川、霜野川の名あり花簇村に入り蜻浦川、萩原川、日平川を合せて西流し其の流域山谷相交はる間に幾多の小平野を形成し灌溉の便稍々大にして江田村に來り米渡尾川を加へて菊池川に入る流程約二里半。

9、三藏川

源を月瀬村箱谷に發し小流を合して菊池川に注ぐ、流程約二十餘町灌溉に便なり。

10、木葉川

木葉川は源を鹿本郡田原村に發し諸溪流を合せて稍々大となり山北村方面より來れる諸流を合せて木葉村に入り梅林村の南端を貫流して八嘉村大字寺田の北端梅林村大字津留との間より菊池川に注ぐ、木葉、梅林、八嘉の諸水田の灌溉に及ぼすこと至大にして數個の堰と水車とあり。

11、尾田川

源を玉水村尾田池に發し玉水平野を蜿蜒迂曲(俗に九十九曲)して横島村石塘にて唐人川と合し海に入る其の長さ約一里、川巾廣き所六七間餘、狭きところ二間餘、水量多く灌溉に便に速力又極めて緩なり鯉鮒等の淡水魚類多くして全部養魚場たり。

12、唐人川

この川は石塘口より有明海に至る水路に屬し天正年間以前は菊池川の本流たりしが加藤公の石塘工事竣成後は河床の一部となれり満潮の際は海路との連絡上和船の往來今尙ほ絶えず、されど干潮時は流れ頗る小なり、河中上流は十間河口數十間ありて流程約一里。

13、繁根本川(錦川)

水源を米富村小代山の溪谷より發し小支流を集めて稍々大となり石貫村に入り小代山の東部を流れ玉名村の一部を過ぎ彌富村に至り高瀬町の南端にて菊池川に入る流程二里水量多からずと雖も灌溉の利便至大にして米富、石貫、玉名の諸村の給水の大部分は此の川の恩恵に浴しつゝあり水車の便あり降雨の際は特に増水急にして濁水を漲すことあり。

14、新川

本川は十左工門堀と稱し滑石村の十左工門の開堀せるものにして水源は玉名村迫間に水門を有し所謂菊池川を分水して彌富大野高道滑石の數村の豊田に注げる唯一の用水路にして流程凡そ二里幅は二間半餘、速力緩かにして鮒、鰻黒目等の漁利あり。

15、境川

上流を山田川と稱し小代山南麓より發し西谷川、一の瀬川等の小流を合せて築地村山田の田地全部を

灌漑し大野村に出で滑石村晒川口に至りて菊池川に注ぐ水量甚だ少なく速力緩なり。
16、行末川(幾末川)

源を陸合村宇開田浮田か池及び小代山南麓の天狗岳の溪谷より發する友田川と一支流は府本村より發する金山川を合せて鍋、六榮、腹赤の村境を通して海に注ぐ水量豊富ならざれども大野陸合六榮の平野を作り鍋、腹赤の田地を灌漑して沿岸數百町歩の耕地を養ふ。この川の下流は始め元腹赤上沖洲境より東に折れ鍋村の磯に至りて海に注ぎしが今より五十余年前關忠之丞氏の防水的開鑿事業により現流域を存することなれり。

17、宮崎川

水源を八幡村字野原の赤田か池に發し、六榮村の中央を流れて腹赤、六榮村境を流れ田圃の間を迂回して新塘に至りて海に注ぐ。

18、菜切川

小代山麓の平井府本の兩村に源を發し八幡を過ぎ六榮、清里の兩村境に流れ腹赤の西境に來り南に流るゝこと十四丁余下流の川巾十七八間にも及ぶどころにあり新塘に至りて海に注ぐ、水量少なり水勢甚だ緩漫なれども夏期大降雨の時節には青田漫々たる一湖水と變することあり川口新塘井樋は魚漁地として有名なり、流域は小平野をなし稲作の灌漑に便なるところ少なからず。

19、浦川

荒尾町大谷山附近の池(池黒堤)河原より流るる川にして町を南北に流れて一小平野をなし灌漑の便を與へ更に有明村に入り清里を経て長洲町に至り腹赤の西部を貫流して有明海に注ぐ河巾廣き處にても三間に及ばず平時水量多からざれども六月前後の梅雨期に入るや著しく増水し初秋より次第に水を減し僅かの水流を見るのみ。

20、關川

關川は上流瀧瀬川の名あり其の源を南關町關東に發し西に流れ北より來る墨摺川之に注ぎ賢木村に至り久重川、中山川の諸溪流を合せて平井村と福岡三池郡との間を流れ三池郡に入り海に注ぐ此の川は溪谷の間を流ると雖も水量に比し灌漑の便を興ふること大にして水車多く魚類も亦少なからず。

第二節 湖 沼

本郡は湖沼の見るべきもの殆んどなく灌漑用に供する爲め人工的に溪谷の一小流又は貫流を利用して築造せる所謂「つゝみ」なるもの所々に存在するに過ぎず今其の重なるもの二三を擧げん。
1、浮田池(陸合、築山)

郡内小代山南麓中陸合村築山村に至り互に上中(陸合)下(築山)の三の池より成る水深約九尺池力大にして灌漑用として數ヶ村の田を養ひ水質は淡水にして總面積約六町歩なり開堀は關忠之丞に係るもの

にして嘉永五年春秋兩期に涉りて起工したるものなりと。

2、鶴の口池(小田村)

上小田大字堂の平にあり上小田の區有にして神宮山と城山との谷間に堰を築き貯水せるものにして面積九反四畝一步、水源は神宮山の北麓岩間より湧出せる一清泉なりその水置により一水車を營ましむるに足る堤防の長さ四十五間三尺厚さ下層約十五間上層三間高さ約五間なり、其の灌漑反別廣くして十數町歩に及びり鑿堀の年代等は定かをらす。

3、赤田の池(八幡村)

水質鐵分を含有せる硬水にして舊郷(荒尾郷)中の夫役によりて掘りたるものなりと言ひ傳ふ反別四町七反八畝九步、其の灌漑流域大にして八幡、六榮の二村に及びり。

4、狐谷池(六榮村)

六榮村大字宮崎區中鷺谷の平野に接する處一百間の堤防を以て築きたる溜池なり昔時六榮、腹赤附近の田圃は水不足の爲め荒蕪すること甚しかりしが、天保五年關忠之丞氏此の地の救済として企畫するところあり巾員五町餘(溜り廣さ八町八反八畝六歩と傳ふ)水深三間餘の大溜池を開穿したり爾來當地の灌漑田園一百餘町は如何なる大早魃と雖も枯水する憂なきに至れり。

5、池黒堤(荒尾町)

荒尾町大字荒尾字池黒にあり加藤清正公の時掘られたるものにして廣二町七反餘あり浦川の水源となり荒尾、有明、清里等の田地を潤し灌漑の功大なり。

6、井彌原池(南關町)

南關町大字關町字南北井彌原にあり廣さ一町五反八畝十一歩及七反二畝二十六歩なる二つの池よりなる。灌漑力實に十九町七反八畝餘を有す。

第三節 港 灣

本郡は港灣乏しく良港とすべきものなしと雖も長洲港及呑崎港は其の著しきものならん今左に之を記す

1、呑崎港(小天村)

灣口を唐人川口に有し櫓方開、受免開、小白開の三角點にあり東北に向つて入ること凡そ五町此の間小河流の觀を呈し先端は稍擴張されて直徑凡そ三十餘間の圓形をなし満潮時に於て最深一丈なれども干潮の際は海水皆無となる物貨集積の際は小形帆船、漁舟荷足の出入ありて小天特産の蜜柑の取引多く其の他肥料米等の物貨の輸出入に便なり。

2、長洲港

本港は今を去る一百年前の築造に係り深さ約三間にして防波堤を設けて満潮時には商船、漁船幾十艘となく碇泊し海上險惡ならんか避難の船舶港内に幅湊し殆んの立錐の餘地なし島原港との間に日々數

回の定期汽船往來し船客多し殊に近年島原鐵道の貫通せるを以て長崎行の旅客著しく増加したり、積出貨物は米穀を主とし輸入品は薪、瓦、石材等にして天草柳川地方を取引先とす。本港に設置ある燈臺は規模尙大ならざれども附近航海の船舶の燈明臺として多大の便益を與ふ、本港附近は引謂遠淺なり、故に干潮の際は海陸路の連絡上旅客は港外數十町の干潟を人力車の便によりて往來し滿潮も亦小舟を浮べて往復す、之れ未だ人爲的に自然を征服する能はざる憾はあれど端舟にて漕ぎ出す船夫の雄々しき姿と腕車上にある優しき旅客の俛とは兩々相俟つて之が温泉岳の山容を彩り且つ又有明の鏡に影するを見るときは詩的と云ふべきか將た美的といふべきか。

3、酒 港

酒港は菊池川口に在り滑石村を経て附近町村への薪炭を供給し菊池川上流地方の木材の積替等のために利用せらる。

第四節 沿 海

本郡西南の一帶有明海に瀕して弧狀をなし海岸の出入殆んどなく且つ潮汐の干満甚しく沿岸の遠淺一里餘に達し海底泥土水清からずして良好の碇泊場に乏しく僅かに長洲港の外呑崎港(小天村)晒港(滑石村)新川港(腹赤村)等の一小港を存するに過ぎず以上の内長洲港を除きては蒸氣船の碇泊をだに見ること能はざるなり、されど近海には牡蠣、姥貝、蛤、その他の雜魚等の繁殖著しく漁利亦少なからず。海上は

不知火海を以て名高し。

第五節 水利の梗概

本郡の幹流たる菊池川以外の諸川は郡の各所に於て水田に灌漑し水車に運送に製酒に漁利等に便を與ふること至大なり殊に灌水用として各川の各所に設けられたる人爲的堰多し其最も主なる二三を擧げん。

1、白石堰(江田村、月瀬村)

白石堰は長さ二百三十餘間の石堰を築き江田、月瀬の間を流る、菊池川に堰を設け水門は江田村、瀬川より小田村の大部と梅林村の一部を灌漑せしめん爲めに計畫せしものにして其の年代は詳かならざれども内田郷總庄屋小森田七右左工門氏の設立なりと云ひ傳ふ、水量を増減する爲めには要所に水門を設けたり。

2、小田堰(梅林村津留)

水門は梅林村津留にあり八嘉、豊水、大濱、伊倉、玉水、横島の各村の水田に灌漑す。

3、坂下堰

玉名村迫間に水門を設け彌富、大野、高道、滑石、鍋の水田に灌漑す。

第三章 氣界

第一節 氣節

1、氣温

本郡の氣温は地勢上より山間地と海岸地によりて多少の相違あれども概して温和なり。即ち室内の温度に於て夏季と雖華氏九十五度を越ゆること極めて少く、冬季にても氷點下二、三度を下ること甚だ稀なり。最高温度を示すは通例七、八月頃にして冬は一、二月の頃最も寒氣強し。

2、結霜、結氷、降雪

結霜日数は通例一ヶ年間に七、八十日を算し、初霜は十一月十日前後にして晩霜は三月三十日前後なり。年によりては十月下旬に初霜を見或は四月中旬に終霜を見ることなきにあらざれども、是等は最も稀なり。結氷は十二月上旬初氷にして翌年三月下旬を解氷の時季とす。降雪は一ヶ年平均十日位にして初雪は十二月下旬終雪は翌年三月上旬とす。所謂「三月の忘れ雪」とは是なり。

第二節 雨量

本郡の雨量は縣下に於て中位に屬し即ち千九百九十二耗あり。(一耗は一坪の地面に深さ三厘三毛枳を以て量れば一升八合三勺なり)一年中雨量の最も寡きは十二月にして是より漸時増加して六、七月

頃に於て最も多量なり。又夏の夕立は地形及風向の關係より其の量に多少あり。概して多きは山間地にして低平地は比較的少きを通例とす。

第三節 常風

- 一、原由 我郡常風の原由は本邦一般の原由と等しく夏は太陽の直射により滿蒙方面の温度大に揚る、(滿洲の夏は我郡より遙に暑し)を以て太平洋方面の高氣壓太平洋方面に至らんとして九州を横ざる即東南風多し冬は此に反し鮮滿蒙方面大に寒氣強きを以て此方面の高氣壓九州を横ざる即北西風多し。
- 二、風向 本郡中有明海に面せる南方一帯の沿海地と幾多の山岳重疊せる北部山地とは多少其の趣を異すとの前説の理によりて概して九月より三月までは北西風の時期となす。是より漸時北西より西南に推移し野邊に若草青む頃は所謂朝東風ウチカゼ南風ナムカゼの候をなすことあり。四、五月及九、十月の交氣候風の變換期に至れば風向一定する事なし、但四月迄は西北風多く五月は西南風より南風に轉ず。又九月までは南風多きも十月より西北風に轉ず。六七八の三ヶ月は東南風時期にして沿海地に於ては海洋の影響を負ふ事特に大なりとす。

- 三、強軟 常風は概して軟和にして比較的強風の時期たる二三四の三ヶ月間と雖強風と云ふべきもの少なし。彼の暴れ月の稱を齎らす風は大抵楊子江方面低氣壓の作用によるものにして常風とは區別して考ふるを要す、此の期に於ても沿海一帯の地は北部山地に比して一般に風強けれども寒氣を含まざる

第一編 自然界 第三章氣界
を常とす。

第一編 自然界 第三章氣界

一八

第四節 天氣

一、春の部

- 1、彼岸曇 春分を中心として前後旬日に及び風風き空に雲薄く遠山淡く霞む時あり。あだかも百花満開の候なるを以て一名花曇とも稱す。而して是冬季の西北風と變期の東南風と轉換期に於て兩風相押し其の中間に風を生じたる結果地方的の低氣壓頻繁に起り易き爲なり。
- 2、春雨 四月上旬里も野も新緑に飾られたる時微雨天地をこめ糸の如く終日を通じて數日しめやかに降る雨を云ふ。理由は彼岸曇と同様なり。
- 3、豆作及び桑害 降霜は三月末を以て止むを常とすれども北部地方の如きは四月中旬に至りて往々晩霜を見ることあり故に農家は一般に豆作を遅作すれども尙桑芽に大害を見ることあり。是滿蒙方面高氣壓の名残なり。
- 4、春南風 春雨の期は風向一定せざるも時に南風吹き續きて快晴なる春日和を見ることあり稱して春南風と云ふ是夏の季節風の常態なり。
- 5、苗代寒 五月下旬田圃に群蛙の鳴きしきる快晴の朝まだき心地よき冷氣を覺ゆることあり是滿蒙方面高氣壓の影響なり。

二、夏の部

- 1、梅雨 毎年六月下旬より七月上旬に至る降雨にして本郡にても氣象上の著しき季節なり。古來一般に雨七日風七日と云へども多くは陰雨連日に亘るを常とす、此期中往々夕暮に至りて雨やはらぎ夕陽赤く西空をこがす事あり。人之を呼んでながしの夕焼と稱し「ながしの夕焼着て待ツトレ」として翌日は又雨の徴とす。
- 2、地方夕立 南方平坦地は宇土夕立と呼び北部地方は白間山夕立と呼ぶ雷鳴大に烈風と共に猛雨沛然として來り暫時にして去るを常とす。全く地方熱氣の産物にて熱雷雨といふ。
- 3、温泉夕立 又は島原夕立と稱す有明海の對岸に屹立する温泉岳上の入道雲を前兆として起り時に五日乃至七日を通じて來るなり。是楊子江沿岸低氣壓の渡來より起る夕立にて渦雷雨といふ。其數日に亘るは低氣壓の續來するによる。
- 4、盆東風 陰曆宇蘭盆前後に熱氣を帯びて吹く東風なり。連日吹き續くを常とし一度此の風吹き出すや水田灌溉水の蒸發驚くばかりにして葉はかれ萎む如くに衰へ人畜は爲に元氣を失し器物の乾燥又甚だしく夏蠶に大害を及ぼす事大なり。此れ前の島原夕立即楊子江低氣壓の襲來又は赤道方面より來る颱風の前兆にして後者の時は格別戒心すべき風なり。

三、秋の部

第一編 自然界 第三章氣界

一九

- 1、八月たゞれ 陰曆八月頃おだやかなる降雨の數日に亘る事あり、農家は「八月たゞれは倉たつる」として秋の實入を喜ぶなり。此春雨と同じく季節風轉換季の産物なり。
- 2、姥威し 九月下旬より十月上旬の朝夕突然冷氣を覺ゆるを云ふ、是滿蒙冬季高氣壓の前驅なり。
- 3、秋の夕焼 秋の日の暮方西山に春さし夕陽の爲滿天薄雲赤く黄く焼け榮ゆることあり、然る時は翌日の天氣の快晴なるしなりと云ふ。
- 4、秋の稻妻 晩秋のたそがれより南西又は北方の空に電光の懐く且つ繁く閃くを見ることあり、農家は實入のよき前兆なりと云ふ。
- 5、西わけ 十月末より十一月中旬頃にかけて空俄にかき曇り西風と共に雨極めて烈しく降り來り一過又一過數過にして忽に霽れ日光雲間に現れては又忽に降るの氣合をなすことあり之を「西わけ」と云ふ。楊子江沿岸低氣壓の斷續して襲來する影響なり。
- 6、小春日和 十一月下旬に於て温和なる天氣の續くことありて櫻の花の如き點々開花を見（所謂返り咲き）恰も春の如きよりいふ。

四、冬の部

- 1、觀音荒し 一月中旬に三四日に亘り風荒く吹き荒ふことあり一月十八日は觀音の命日なるよりかくは云ふなるべし。滿蒙方面烈風の餘波なり。

- 2、ドンコ日和 一二月の交にして北風なく夜に曇天を見て降霜なく温暖なる日の打ち續くことあり稱してドンコ日和と云ふ。是小春日和と同じく北太平洋方面（房總半島沖合）高氣壓の此地方に擴充せる時の現象なり。

- 3、塵巻き風 二三月の頃往々起る事あり砂塵を巻き上げ所謂龍卷の状態をなすことあり。

五、暴風雨

- 1、烈風雨 此は大抵楊子江を中心とする中南支那に起れる低氣壓の襲來より起るものにして偶北方及北太平洋（房總半島沖合）方面高氣壓の爲に走去を阻まれ九州地方に數日間滯る爲に此地に烈風雨を生ずるなり初夏の梅雨及往々ある十月末稻收納時の長雨は是なり。此の低氣壓は九州の中心、北朝鮮海峽、南薩摩の南端が三路の一を取りて進むを以て其進路により我郡の風の強さ雨量、風向きに相違あり。尙常風以外の烈風は四季大抵此の楊子江方面低氣の影響なり。
- 2、暴風雨 彼の厄日と唱ふる二百十日前後の暴風雨は赤道方面に起れる颱風といふもの南洋及比群島等に打當り北上するものにして臺灣琉球に來る頃より我地方に例の盆東風を起す。此風の中心低氣壓は亦進路の前方に在る高氣壓排置の都合によりて或は九州の中心、朝鮮海峽薩摩等を通過するものにして中心通過の時被害最大に他は南又は北に進路の遠ざかるに従ひ被害の度を減す而して盆東風の後に遂に此暴風雨來らざる時は遠く滿洲方面又は薩南沖上を走去せるものと知るべし。而し

て此颱風は八月初に端を發し、所謂二百十日比最襲來する常習あるも十月初旬迄往々襲來することあり

第四章 地質

第一節 總說

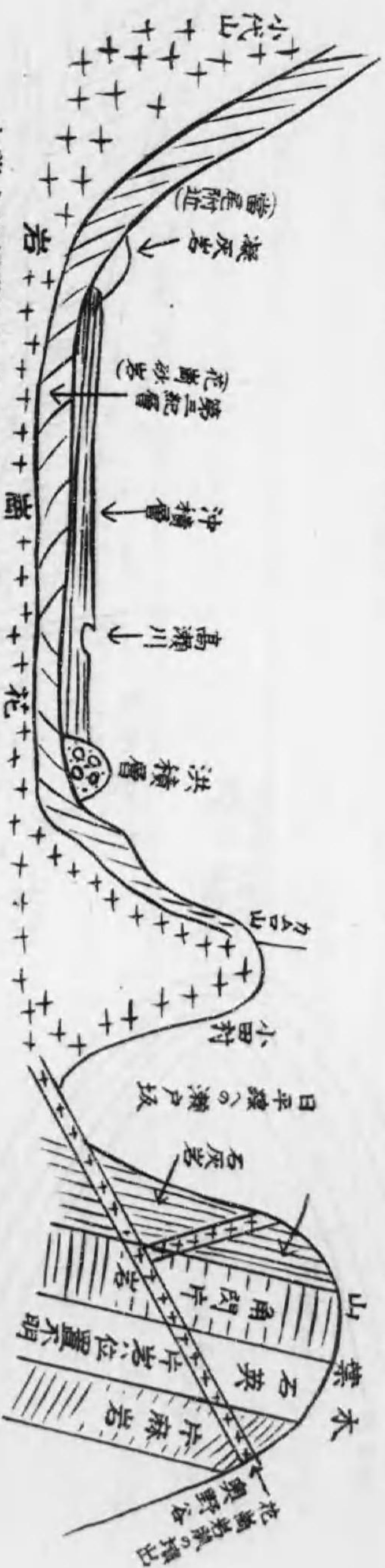
我郡地質の概要は左の二大別九目に分説するを便とす。

一、所謂地質構成の骨子といふべきは、

- (1) 木葉山系 太古層 片麻岩系 〔郡の東境大部を占め米野岳を含む〕
 - (2) 小代山系 深成岩 花崗岩系 〔郡の中央部及西南部全縁に互り東は小田村カムロ山、江田村牧野山、東郷村の高地に及び中央は玉名山、白間山西は久重山、北は相谷山に及ぶ〕
 - (3) 大津山系 古生層 輝岩及角閃岩系 〔神尾村の岩村岳、中岳より相谷山の北邊を經て大津山に至る線、以北筑後の諸山に連る〕
 - (4) 三ノ岳山系 火山脈 安山岩系 〔金峯山麓にして舊小田郷全部此に屬す又北方は田原城を越へ木葉山系に接觸す〕
- 二、地質上の肉又は皮とも云はるべきは、
- (1) 第三紀層 花崗砂岩 〔花崗岩系諸山の産物には小代白間の山腹及山脚並に郡内高瀬川の峽部、石貫川、坂下川、十丁川〔神尾村内〕の谷間並に小代山久重山の南西麓一帯有明海底に及ぶ〕
 - (2) 洪積層 礫多し 〔白間、相谷兩山の間に在る高原全部の基底並に木葉、梅林、小田、江田方面に散在せる臺地並に彌富大野兩村より小代山麓と海岸低地の間荒尾町に至る臺地是なり〕
 - (3) 沖積層 高瀬川流域及有明海岸低地
 - (4) 火山灰土 前記洪積及山北、八嘉、伊倉等の原部の表土全部是なり。

(5) 灰石安山岩部 俗灰岩 小代山の西南麓を除き殆全部の谷間の崖は是なり。
三、想像的圖說。

(1) 木葉山及小代山間の斷面的説明圖



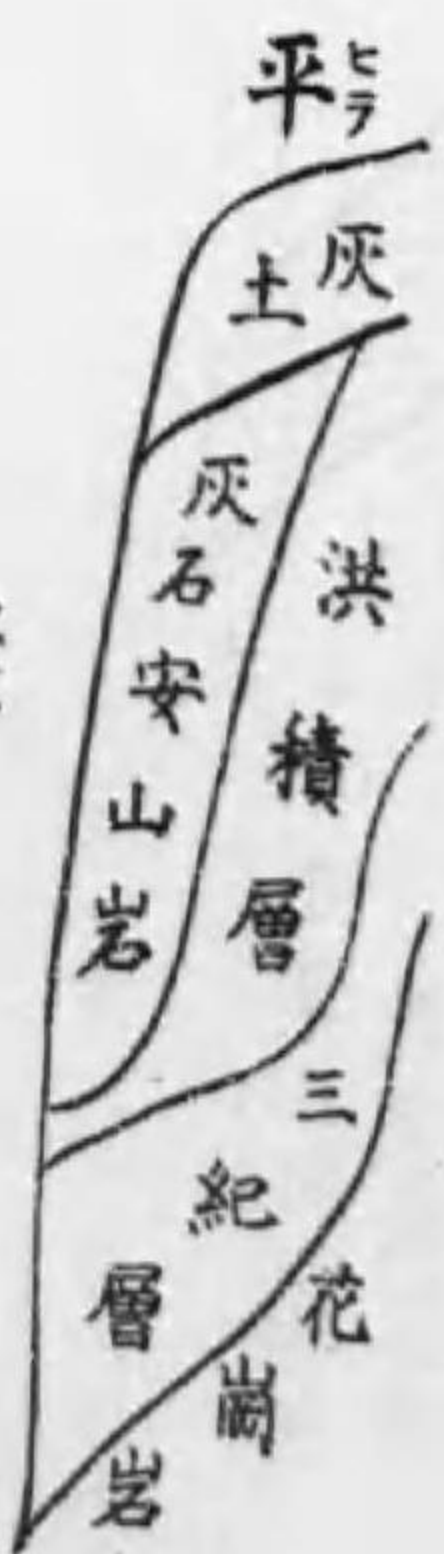
木葉山は横断面・故に西の面なり他は南面なり従つてカムロ山方面より花崗岩脈の木葉山に噴き出せる實際は此の圖の方向に非ざして・西北より東南の方面に噴き出せるものと知るべし。

(2) 小代山カムロ山以北相谷岳迄の中間斷面的説明圖

甲、臺地部想像圖

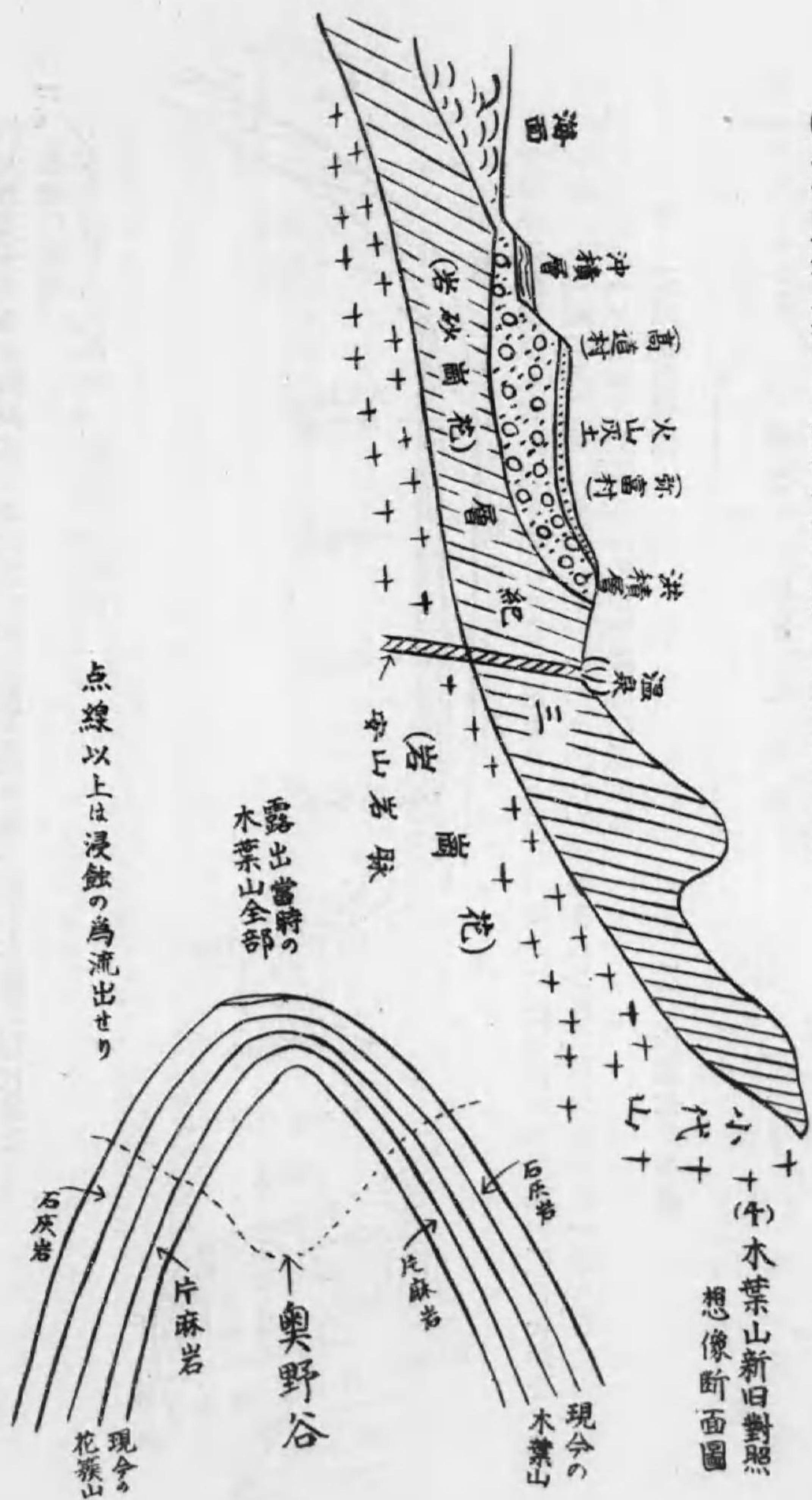


第一編 自然界 第四章地質



二二三

(3) 小代山東南方面より西南方面に於ける断面的説明圖。



第二節 細説

一、木葉山系。此の山系は東走して、舊山本、合志兩郡の中部諸山となり大津町北方の群山に及ぶ。其成因は難曲山岳として地殻の地變の爲に山形へに衝き立ちたる後遂に地上に露出せるものにて大体四ヶの岩層の屏風を重ね立てたる姿となれり。今山上に露出せる側西小口の部を検すれば木葉方面より次第に奥野方面へ順次石灰層(平面なりし時は最上位)角閃片岩、片麻岩(最下層なる如し)の序列をなすを見る。此の中石英片岩の一層ある筈なれども其序次不明なり。奥野谷より北日平山國見山列は前と反對に即花簇方面に石灰岩ありて奥野の方に逆に角閃岩片麻岩等の序列をなす筈にして奥野谷は地質學上の縦谷なるべしといふ其故は柴葉山の露出したる當時は木葉方面を其南麓とし花簇方面を北麓として雲表に聳へたる大山なりしが長年月の間に絶頂折れ目の弱點より縦に風雨に侵蝕され遂に溝を生じ川となり次第に現今の奥野谷を造り南北兩山脈に分離したるものなるべしと。

附、花崗岩脈。木葉山西部に小代山系なる、カムロの支脚部あり花崗岩脈を噴出し石灰岩片麻岩等に變質の影響を與へ居れり。

二、小代山系。此山系は源成岩として地殻の極めて深き所に於て地熱の爲に噴起したる者の地變の爲に地上に露出せるものなり而して木葉山との關係を考ふるに固より其成分を異にすれども小代山は舊間山よりカムロ山を接續點として舊期大木葉山の股下に頭を擽けたる如き形勢をなせり即木葉山の西部に

カムロ山の花崗岩脈が石灰岩層等を噴き通して變質の影響を與へたるを見る(石灰岩の變質物は一層硬くして碎くれば角霰形の細粒をなせり)他面小代山は久重山、相谷山、東郷村の高地江田村の牧野(米野山岳は木葉山系)等と圓周的に連絡するを以て見れば其圓内の深き地底は亦相連續して同様の深成花崗岩には非ざるやと疑はる。大原、賢木等の臺地の谷々に砂田とて花崗岩又は花崗砂岩の崩壊せる土質を見るは此の的證には非る乎、此山系中にある岩石は白雲母花崗岩、黑雲母花崗岩、石英岩等なり。

三、大津山及中岳系。此山系は秩父古生層の上部及下部に屬し輝岩及角閃岩より成り滑石千枚岩等を含まむ東は山鹿郡北境の諸山に連互して共に北方筑後の諸山即筑紫山脈に連り瀬戸内海の續きたる阿蘇水道の北邊をなす因に云ふ木葉山は此山系の分脈の古きものにして阿蘇水道中の出島と見るべきか。後日學者の判定を待つ、又云ふ阿蘇水道の南邊は宇土半島より西は天草島彼杵半島等に至り東は木原山小山戸島等に至る。

四、三の岳山系。此の山系は即金峰山麓にして阿蘇水道中に噴出せる阿蘇、温泉、多良(肥前)等と同一の火山脈なり其山脚は舊小田郷一圓を占め尙西は高瀬河底を通じて繁根木八幡臺高瀬町東北端の保多木臺に及び北は山北村吉次越横平山より田原坂を越へ木葉山系に接觸す、全山角閃安山岩なり。

附安山岩脈。立願寺列温泉の湧出は此の火山脈と因由ある安山岩脈噴出の産物にして現今地上に顯はれたる者につきて云へば高瀬集議所町の洗湯を起點とし岩崎橋の北端に開掘中の新湯を経て立願寺温

泉に至り此より北轉して富尾温泉に至れり更に石貫の山腹にも及べりといふ、此の岩脈の安山岩の露出は立願寺温泉附近の小川の底邊、新に開きたる屋敷の斷崖等に明かに見るべく又高津原丘上の花崗砂岩に作用して紫色、赤豆色等に變色せしめ居るを見るべし。

五、第三紀層。本郡の三紀層は總て花崗砂岩層を本体とし礫岩、頁岩等を交ゆるを以て小代久重列諸山に關係あること勿論なるも前述諸山の圓周内にては小代、舊間、カムロ、牧野諸山の腹脚部東郷村の高地にあらはれ其他高瀬川(郡内)十丁川(神尾村の内)坂下川、石貫川、南關川下流等の谷に狹長の者を露出するのみなり、蓋露出を見ざる部にては地底深く潜在するものなるべし、但小岱の南腹脚部面より久重山の西腹脚部西にかけ有明海方面一帯は遠く其海底迄凡五度の傾斜を以て展入せるを見る我郡の石灰は此の層中の産物にして三池諸炭坑の此方面より發展しつゝある所以なり。

六、洪積層。沖積層と共に第四紀に屬するものにして人類の始期は此洪積期の末期比なるべしといふ又其成因は第三紀の末大氷河地球上に起り其激流により成生せるものなるべしといふ此層の特長は礫を多く含有する事にして礫の種類は其經過地を語るものなり、表面に顯はるゝ事尠きも深く土地を掘る時又は崖の新断面等に見る事を得べし、我郡の洪積層は東方舊合志郡山本郡鹿本郡方面より來り其郡内に入るに山鹿口、用本口、田原口の三ヶ所の溝口を取れるが如し、即山鹿口よりせるものは神尾、大原、賢木等の臺地をなし用本口(國道筋)よりせるものは舊間山に突き當り、江田、川沿、及月瀬村

箱谷に侵入し田原口よりせるものは木葉、梅林、八嘉の北邊にあらはれ中にも後の二者は相合して彌富大野以西に展開して小代山の南麓と有明海との間を通り荒尾町に及べり。

七、沖積層。水流の力により今日も成生しつゝある最新層にして高瀬川流域及び有明海岸の低地は即是なり。

八、火山灰土。大阿蘇舊期の噴出物にして本郡の臺地の表面は殆どならざるはなし、其特長は臺地において上面頗る平坦にして廣々たる原をなし、斜面地にありては其畑を遠見すれば段々棧敷を架けたる如く畦畔一直線をなして重りて見ゆ(他の斜面地の畑は畦畔に凸凹ありて直線をなさず)尙土中には黒曜石(俗鳥の枕)及輕石の小片火山砂を含有し崖の新断面等を見れば深き表土の下に黒土の厚層あり更に其下部に厚き白土の層あることあり。小代山の南方臺地に限り東部方面は廣く西部に至るに従ひ次第に海岸に偏し荒尾町に到りて三角形の尖端をなせり。

九、灰石安山岩部。此部は彌富大野以西の火山灰土に伴在せる外他の地方にては必隨伴存在せるものなり即大阿蘇舊期の熔岩泥流が殺到せるものなりといふ、此凝灰岩も洪積層と等しく我郡に入るには山鹿口、用木口、田原口の三溝路を経たりと見る時は分布の系統頗明瞭なりとす。即山鹿により來りしものは緑、春富、神尾、大原、賢木、南關、坂下の各町村に擴がりて谷々の崖、川底等を形成し尙西は久重山に阻まれて其麓の谷に止まれども余派の北せるものは關口を突破して北の關に及び南西に向

へるものは南關川の谷を通過して其河口平井村の下に及べり。用木口(田道筋)より流入せるものは江田、川沿、月瀬村に侵入し更に箱谷を突破して石貫川の上流に出で此川傳ひに小代、舊間、兩山の間の谷間に充填せり。田原口より來りしものは京町臺下の上熊本驛より鐵道の左右に沿ひて系統明に山北、田原の谷間に於て特に著しく顯はれ山北、木葉、八嘉、梅林より富尾立願寺方面にて石貫川上流より下れるもの相合し其末尾は高瀬川の浸蝕によりて消滅せるもの、如し、又八嘉村田崎より分岐せるものは阪門田の西谷を傳ふて伊倉町に出で此より東は玉水村野邊田に及び西は古伊倉より八嘉村立山の谷に到れり此方面も末尾は有明海波に洗はれ消滅せるものなるべし。

第三節 應用地質

一、木葉山石灰岩は殆大理石に近き良質の者なるを以て廣く利用せらる即細粉としてセメント硝子の材料精米粉に使用し石灰としては漆喰、肥料、漂白粉、苛性曹達、砂糖等の製造染色術等に用ゐらる、其他石灰岩は糝製紙、冶金術等用途頗廣し。

二、小代山列の花崗岩は石材に供する良質のものなきも其長石の土化せるものは良質の粘土にして瓦、煉瓦、陶器等を焼くに用ゐられ又セメントの原料となる、彼の小代焼は近來迄名高く、太古此山麓中の築山村府本村平井村等に土器窯爐の多かりし實跡あり今も瓦は良好なるものを出す所あり又花崗岩及同砂岩の崩壊より生ずる石英砂はセメント油合、便利瓦、ガラス製造の材料として無限の需用あり

此の砂土地方は米質の良好なるを以て名高く種子粒選定地に指定さるゝ所多し、果樹亦最適の地なり我田白砂青松の名勝は又大抵花崗岩の砂地にして維新前迄は加藤公の余威に成りたる老松大濱滑石より大島迄海岸一帯に茂り居たれば千代の松原、須磨明石に比ふべき明媚の風光を呈せしといふ。

三、三の岳の安山岩は石材として良好なり就中小天村呑崎石は最良好にして長土臺石、墓標、門柱等にも使用せられて需用頗る多し。

四、第三紀層の花崗岩は利用の價なりしと雖此層中には石供層を包有するを以て我郡石炭採掘業の前途は頗多望なりといふべし。

五、洪積層中の礫は砂利として利用せらる。

六、沖積土の耕地として重要なるは云ふ迄もなし。

七、灰土は其砂と粘土と適當なる割合を得たる所は最良の壤土として耕地の價を發揮する所少からず、就中煙草陸稻の適地として利用せらる。

八、灰土安山岩は墓標龜其他の石材に利用せらるゝ事最多く郡内到る所其石採り場、工事場を見る、我郡石工の大部分は此の灰土安山岩の工事に従事するものとす。

附我郡海邊には天草石三角石等の石材大に輸入せらるゝが眞の三角石又は飛岳石は角閃安山岩にして三の岳の石材又は灰石安山岩より數等上級に位するも所謂天草石は中世層の砂岩にして剝裂し易きを

以て板石角石共頗る不良の者なり新材の内は往々目詰りて色白く見ゆるを以て之に迷ひ好んで用ゐるものあるも大理石と同じく後日は黒錆を生ずる等寧灰石安山岩の耐久性なるに如かず且灰石安山岩は使用の目的により硬軟自在に選り得るの利假あり鎌倉以後盛なりし塔碑の材は專灰石安山岩を用ゐる百年七百年の今日尙現存するものある等古人用意の淺からぬを見るべきなり。

九、本郡内に所在の礦泉左の如し。

- (1) 小天村温泉 海岸に臨みて風光宜しき地なり
- (2) 彌富村立願寺温泉 近時諸般の設備十分に調ひたれば大牟田熊本は更なり遠來の客多し
- (3) 石貫村富尾温泉 立願寺温泉の北に在り春秋農村の浴客多し
- (4) 炭酸泉には 六榮村折地、鍋村扇崎、梅林村白剣、江田村、賢木村久重及永浦八幡村、大原村等各所にあり。

第五章 交通運輸

本郡は西南部は有明海に面し一面の平野なるを以て交通至便なれども東部及び北部は山岳起伏し不便の地多し。

第一節 道路

本郡道路の幹線とも稱すべきは即ち縣、郡道にして、熊本を發し植木より本郡木葉村に入り高瀬、長洲を經、荒尾町より大牟田市に通ずる縣道。飽託郡松尾村より河内村を經本郡小天、伊倉を過ぎ高瀬に通ずる縣道。熊本を發し植木を經山内村より本郡花簇村に入り江田、坂下、南關を過ぎ筑後國に至る縣道（元佐世保國道といふ）山鹿町より平小城村を過ぎ本郡綠村に入り春富村を經、南關に至る縣道。山鹿町より米田村を過ぎ本郡東郷村に入り江田、小田、玉名村を過ぎ高瀬町に通ずる縣道。南關町より賢木、平井村を經荒尾町に至る縣道。長洲停車場より長洲港に至る縣道あり。以上の縣道並に郡道を表示すれば左の如し。

區別	道路名	經過町村
縣	熊本高瀬線	木葉、梅林、八嘉、高瀬
	松尾高瀬線	小天、玉水、伊倉、八嘉、高瀬
	山鹿高瀬線	東郷、江田、小田、玉名、彌富、高瀬
	熊本南關線	花簇、江田、川沿、坂下、大原、南關
	山鹿南關線	綠、春富、南關
	高瀬大牟田線	高瀬、彌富、大野、高道、鍋、腹赤、長洲、清里、有明、荒尾
	南關荒尾線	南關、賢木、平井、荒尾
	南關三池線	南關、賢木
	長洲停車場長洲港線	清里、長洲
	道	

郡	道
高瀬	高瀬、彌富、玉名、石貫、米富、坂下、大原、南關
坂下	坂下、米富、賢木
大原	大原、神尾
荒尾	荒尾

第二節 鐵道

九州本線は福岡縣大牟田市より本郡荒尾町に入り有明、清里、長洲の海岸を南走し六榮村の南端腹赤村の北端を掠め睦合、大野、彌富を貫通して高瀬町の南端を過ぎ八嘉、木葉、山北村を經て鹿本郡に入り熊本市に通ず。停車場は萬田驛（荒尾町）長洲驛（清里村）高瀬驛（彌富村）木葉驛（木葉村）の四ヶ所あり、（近時八嘉村の南端に伊倉停車場設置の稟請中）各驛旅客貨物の集散狀況を表示すれば左の如し。

乗客並に賃金表（大正八年度）

月	萬田		長洲		高瀬		木葉	
	乗客	賃金	乗客	賃金	乗客	賃金	乗客	賃金
四月	一四五四七	四八二二、一六〇	一一三三八	六一〇五、九四四	一九二三一	九四二九、九五五	二二二七、五七四	六八五九
五月	一四六六五	四三五四、三〇〇	一五八三四	五五五七、八五五	一九九九九	七五二七、〇二二	一九〇五、七〇〇	八〇八七
六月	一〇七三〇	三三三五、九五〇	一〇二六八	三八五七、五九九	一三七一八	五六五三、五一	五五八一	

年計	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八
貨乗 金客	一七七一、二六五	一八二七、八八九	一四〇七、三三三	一八六〇、七五〇	一四九〇、八五九	一三三〇、七五三	一七九三、五六一	一五七九、五七五	一三三三、三八八

私設輕便線東肥鐵道 東肥鐵道は本社を本郡南關町に置き九州本線矢部川驛を基點として筑後諸邑を經本郡南關町に入り、春富、緑の兩村を貫き鹿本郡山鹿町に至るを豫定線とし目下工事進捗中なり未だ本郡内の開通を見ざるも之が完成の曉には本郡北部の運輸交通上の利便大ならん。

第三節 航路

西南方一帯は海に濱すれども良港又は繁榮なる郡邑少なきを以て船舶の航行頻繁ならず唯、長洲港を中心として九州汽船、肥後汽船兩會社の小蒸汽船島原其他に通ずる航路あるのみ。其外吞崎(小天村)石塘(横島村)腹赤村新川酒(滑石村)の小港あれども主に小形帆船を以て有明沿岸の米、薪、果物(主に小天蜜柑)肥料魚類等の運搬をなすに過ぎず。菊池川の舟運は菊池鹿本の川上より木材を筏として下すを本體とし其他川舟を以て米穀薪等を運搬す。

備考 統計は年々異動あるを以て毎年發行の郡統計に譲り消略す。

第二編 博物

第一章 動物 (脊椎動物)

五十音索引

ア之部

アード・パーク
愛蘭セツター
愛蘭用水スバニエル

アイアイ
アイベツグス
アイナメ
アキサ

アイ
アキゴ

五十音順 ○印ハ玉名郡内所産

硬骨類 香魚(魚トモ)
海産(魚トモ)
中産(魚トモ)
上産(魚トモ)
地産(魚トモ)
化産(魚トモ)
出水(魚トモ)
山産(魚トモ)
上下(魚トモ)

アキプロ
アイルスベソ一驚
アウダツド
アエノエブタ
アチアチシギ
アチアチドリ
アチアチ
アチウミガメ
アチジ

無尾類 金線蛙
フ産(蛙トモ)
上旬(蛙トモ)
中旬(蛙トモ)
下旬(蛙トモ)
塊産(蛙トモ)
二六(蛙トモ)
二〇〇(蛙トモ)
二〇〇(蛙トモ)
ノ底(蛙トモ)

アチクビ
アチゲラ
アチサギ
アチザメ
アチシギ
アチシ
アチシ
アチセ

水禽類 「真鴨」冬季來遊ス

陸禽類 邦印度區域ハ本邦英國ニ比大ニ陸禽類ニ比大ニ

造ル 陸禽類 冬季渡來シ山中ノ溪流及ニ棲息ス

硬骨類

アチガヘル

無尾類

アチザメ

○アチダイシヤウ

蛇類 「ヘビ」ミドリ
鱗類 至五二三有
四六乃至二百

アチトカゲ
アチナ
○アチバカレヒ

硬骨魚 「ヒラメ」常ニツボコオコセキヌ・小島賊食フ

アチヒガラ
○アチヒキ

硬骨類 「雨蛙」曇天若クハ驟雨ノ際ニ少クハシノ刻ニ指間ノ膜僅ニ止マル

○アチバツク
アチバト

鳥類 「山鳩」性恬懦ニシテ野食ノ鳴聲ヲ食スルガ如クシ

アチヒガラ
○アチヒキ

無尾類 「雨蛙」曇天若クハ驟雨ノ際ニ少クハシノ刻ニ指間ノ膜僅ニ止マル

事ニ依リアチガヘルト異ナルノミ

アカギツネ
アカキジ
アカクサイコンコ
アカクビ・ワラビイ
アカアマ

○アカア
○アカア
○アカア
○アカア
○アカア

硬骨類 「クツソコ」

硬骨類

硬骨類 「道川魚」溪流ニ多シ

無尾類 小代山ニ多シ食用トス

アカハタ

○アカハラ
アカヒゲ
アカボウシン
○アカマツガラ
○アカマツバエ
アカムツ
○アカメ
アカメフグ
○アカメボラ
アカメダヒ
アカモズ
アカヤマドリ
アカンボラ
アガリ
アキアゲ
アクマザル
アコウ
アゴウ
アゴウチ
アゴ
○アサギホーシ
○アサゲ

有尾類「キモリ」
硬骨類「追川魚」淡水産
硬骨類「追川魚」淡水産
硬骨類「ハナチレダヒ」
硬骨類 荒尾ニテ「ヤスミ」横島ニテ「シクチ」
○アサチ
○アサテバエ
アザラシ
アシカ
アシナシトカゲ
亞細亞ロバ
アシガモ
アスパ
アタエヒ
○アゲ
アゲサシ
アツキハタ
○アツキハビ
アトリ
○アナグマ
アナグラツバメ
○アナゴ
ア子ハツル
○アヒル
アピ
亞弗利加海牛

硬骨類「追川魚」淡水
硬骨類「追川魚」淡水
二棲△
亞弗利加孔雀色太陽鳥
亞弗利加クロコテ
亞弗利加犀
亞弗利加ジャコウネコ
亞弗利加象
亞弗利加駝鳥
亞弗利加ニシキヘビ
亞弗利加野生羊
亞弗利加レーテル
亞弗利加驢馬
アブラウチ
アブラザメ
アブラセレバラ
○アブラバエ
○アブラバネ
コイチン
○アブラムシ
アブラメ
アベリア
アホウドリ
アホロートル
○アマガヘル
アマガク
硬骨類
鵜類 肉用
翼手類 市街村落ニ普通ナル種類
無尾類「アチヒキ」

アマゴ
アマゴヒドリ
アマサギ
アマダヒ
アマツバメ
アマドリ
アマノシヤク
亞米利加赤鹿
亞米利加アナグマ
亞米利加アリゲートル
亞米利加海牛
亞米利加クロコザル
亞米利加クロクマ
亞米利加シシ
亞米利加セツター
亞米利加駝鳥
亞米利加トナリ
亞米利加バク
亞米利加ビゾン
亞米利加ヘウ
亞米利加ラクダ
アムノウチ
アムヒ

○アユ
アユキヤヤウ
アラ
アラヒグマ
アラシウミツバメ
亞刺比亞馬
亞刺比亞駝
アリクヒ
アリゲートル
アリスヒ
アルアテ
アルガリ羊
アルチアンゲル
アルパカ
アルプス犬
アルマザロ
○アアフキ
アンコ
アンコウ
アンゴラ飼兎

硬骨類 淡水ノ砂礫地ニテ孵化セル幼魚ハ海ニ上ルリ翌年再ビ上
○暗色アラマ
アンゴラ猫
アンゴラ山羊
○アンダルシヤン
アンチヨヅイ
アンナス蜂鳥
イ・井之部
○イヘネズミ
○イヘバト
イチ
イカナゴ
イカル
イカルチドリ
イキスモイテ
イクニユーモン
イクカツチ
イクノテンムキ
イサキ
イサキ
イザリウチ
鵜類 産卵用平均百三四十個
鵜類 産卵用
齧齒類
鳩類 人家ニ飼養シ又神社佛閣ニ飼ハル
鳴禽類

イシガキダイ
○イシガメ
魚類「セニガメ」淡水産

イシガレヒ
イシサキ
イシダヒ
イシナギ
イシアシウチ
イシボテ
○イシモチ
硬骨類「グチ」
イシモチジャコ
イシモロコ
イスカ
イスラント羊
イソシギ
イソツグミ
イソヒヨ
イソフグ
イソフグトロ
○イタチ
イタチウウチ
一角
イツカクハギ

イッサイ
イツバイ
一杯鷲
イトウチ
イトシビ
イトヨリダヒ
イトマキエヒ
イトメウチ
イトヨ
イトヨリ
○イナ
イナダ
○イヌ
イヌガシラザル
イヌサハラ
○イヌヒバリ
イヌワシ
ホノシシ
イボサギ
イボザル
イボジシ
○キモラ

ウキホウジロ
○ウキンゼヨ
○ウグヒス
○ウグヒ
○ウコツケイ
ウゴロモチ
○ウサギ
ウサギウマ
ウサギ・カンガル
ウサギ・コーモリ
ウサギ・サル
ウサギ・ミミ・フクロタヌキ
ウサギ・ワラビイ
○ウシ
ウシイヌ
ウシウマ
ウシサハラ
○ウシドゾウ
ウシバト

有尾類「キモリ」播摩川ニ産ス
イルカ
イワナ
○イワシ
イワシクザラ
イハシカ
○イワシダヒ
イハスハメ
イハツグミ
イハツバメ
イワナ
イハヒバリ
イハマキツバメ
○イハミセキレイ
イハ・ワラビイ
イングリツジユ・テリイヤ
○インコ
印度狼
印度ガビアル
印度クロコザル

ウ之部

印度犀
印度ジャカウネコ
印度象
印度チエプロテイン
印度チヤツカル
印度ニシキヘビ
印度織布鳥
印度一角羊
印度バク
印度マンダース
印度野生犬
印度レーテル

ウキホウジロ
○ウキンゼヨ
○ウグヒス
○ウグヒ
○ウコツケイ
ウゴロモチ
○ウサギ
ウサギウマ
ウサギ・カンガル
ウサギ・コーモリ
ウサギ・サル
ウサギ・ミミ・フクロタヌキ
ウサギ・ワラビイ
○ウシ
ウシイヌ
ウシウマ
ウシサハラ
○ウシドゾウ
ウシバト

ウシノシタ
ウシヒバリ
ウシモロコ
ウズミシギ
○ウズミセキレイ
ウチハダヒ
ウツボ
ウツラ
ウツラシギ
ウツラバノチヒキ
ウツツ
ウツワ
○ウナギ
ウナギキモリ
ウニコール
ウバザメ
○ウマ
ウマウチ

ウマチヒドリ
ウマクザラ
ウマヅラハギ
ウミアイサ
ウミウ
ウミウナギ
ウミツマ
海類
ウミアフム
ウミガラス
ウミギス
ウミスツメ
ウミタナゴ
ウミダヌキ
ウミダル
ウミノコ
海ノ狼
ウミバト
海牝牛
ウラー・サラー
ウラマツリガツチ
ウルソ
ウルメ

ウルメイワシ
ウハバミ

エ・エ之部

英國産カツチドリ
英國純血種
英國セツター
銳吻クロコザル
エオヒツバス
エキドナ
エクス
エツプトネズミ
埃及ハゲタカ
埃及マンブリス
埃及メガネヘビ
エスキモード
エソ
エソヤマドリ
エソライテウ
エダツノモシカ
越後ワサギ
越後シロイタチ
エツサイ
エトロブ・ウミスツメ

硬骨類 有明海ニ多シ

エトビリカ
エナガ
エノウチ
エノシマウチ
エビウチ
エビシヤク
エビスミヒ
○エビナ
○エボカヘル
エミウ
エラプウナギ
エリマキシギ
エールイ
エレソトラル種
エンコウマルト
エンテルス
圓吻カイマン
○追川魚
タイロイサ

硬骨類 横島方言「ア
カメ」荒尾方
言「ヤスミ」
無尾類「ツチガヘル」

オ・ラ・ワウ・アフ之部

大アリクヒ
硬骨類 小流ノ河川ニ
多シ

オウウチ
オウンス
大蝦夷イタチ
オカヒ
チカツキ
狼
狼犬
オホカミイワシ
オカメイソ
オカヨシガモ
オホカラモズ
オホカハラヒハ
オホカンガル
大鹹水クロコザル
大形北地アヒ
オホガン
小笠原ウグヒス
小笠原島カハラヒバ
小笠原アラビテウ
小笠原蝙蝠
小笠原ヒヨドリ
小笠原マシコ
小笠原メシロ

アフギウチ
オキガシラ
オキサヨリ
オキサハラ
オキザハラ
オキスハキ
オキダラ
オキツダヒ
沖繩蝙蝠
オキノケンテウ
○オキホシ
チグロシギ
大軍艦鳥
チクシノマヘ
オクセイゴ
王極樂鳥
大極樂鳥
○オコセ
オホコノシロ
オゴロモチ
オホコノハヅク

鳴禽類 「オホム」ノ一
種

硬骨類 近海産銳利ナ
ル 鯨ニテ人チ
整ス

オホサハ
チサガメ
オホサギ
チサゲザル
大鹿
チシガモ
チシドリ
オホシビ
大狸々
王蛇
王集會鳥
チシロシギ
チシロワシ
歐洲狼
歐洲カハガラス
歐洲ムクドリ
歐洲ムグラ
歐洲リングス
オフセ
オセロツト
オホソリハシシギ
大草原狼
濠太利亞アナグマ

濠太利亞イヌ
 濠太利亞クロコザル
 濠太利亞麝香鼠
 濠太利亞ノ海鹽
 横帯響尾蛇
 オホダヒ
 オホダカ
 黄鳥
 オホデシギ
 オホデヨシ
 オツトセイ
 オホツノヒツジ
 オホトラツグミ
 オホトリ
 オホナ
 ナナガ
 ナナガエゾイタチ
 ナナガキジ
 ナナガザメ
 ナナガザル
 ナナガセンザウコウ
 ナナガドリ
 ナナガ・ミゾナギドリ

○ナナギ
 ○ナナブリ
 ○オニオコセ
 オニカサゴ
 オニツグミ
 オネーガ
 オホネツブ
 オホノガン
 オホノスリ
 大灰色モズ
 チバア
 オホバタン
 オホバナ
 オホバナインコ
 ナバシギ
 オホハシドリ
 オホハク
 大白鳥
 大白雁
 オホハム
 大兀鷹

硬骨類 「ウナギ」肉味
 佳良
 蛇類 「アナダイシ
 ヤウ」播摩地
 方名
 硬骨類 近海ニ産シ毒
 甚ダシ

王兀鷹
 大斑紋郭公
 チビスヂ・ウサギ・ソラビイ
 オホヒバリ
 オヒヨウ
 オホフクロ・ムサ、ビ
 王ペンギン

硬骨類 「ボラ」東北地
 方方言

攀禽類 飼養セラル、
 ナ見ルノミ

カ・クワ之部

オホヨシキリ
 オホヨシゴキ
 オホヨロヒネズミ
 オランウタン
 オランダ・カヒウサギ
 オランダ・シ、ガシラ
 ガリノコ・クロコザル
 オルム
 オホルリ
 オロヒツバス
 オホラシ
 オンダトラ
 オンヒキ

留齒類
 水禽類 淡水チカ、リ
 魚肉チ食フ

カイバ
 海豹
 カイマン
 カイメ
 海狸
 カウコウ
 カカボ
 カヤマウチ
 カヤマダヒ
 カマンテウ
 カキツムギ
 カキヅク
 カクアザ
 郭公
 カクマ
 カグラザメ
 カケス
 カゲヤツメ
 カケラア
 ○カザキリ
 ○カササギ
 カサゴ
 カシアロット

鳴禽類
 鳴禽類 「肥前鳥」

カヅカ
 カシカハヘル
 ○カシドリ
 カシマ・ゴキ
 カシミル山羊
 カシラダカ
 カシラクロ
 カシレン
 カシラツグミ
 ○カスヒ
 ○カスヒドリ
 カズコ
 カズコダヒ
 カスザメ
 カスヒ海豹
 カスベ
 カスベエヒ
 カスミサンセウウチ
 カセギ
 カセアカ
 ガセリ
 カゾツリ

鳴禽類 山林ニ普通ニ
 見ル鳥

猛禽類 「ヨダカ」夏ニ
 多ク見ル
 猛禽類 「ヨダカ」

カネグチ
カタニギリ
○カチガラス
カチトホシ
カチンテウ
カツチ
カツチクザラ
カツチドリ
カツコ
カツコク
カツタイザメ
カツボウ
褐色雨燕
褐色孤
褐色チナム
褐色鼠
褐色ハイエナ
カトウザメ
カド

鳴禽類

○カナガシラ
カナダ・ヤマアラシ
○カナヘビ

硬骨類 市場ニ多シ
蜥蜴類 「アチトカゲ」
「バトカゲ」

カナヤマ
○カナリ
○カナリヤ
カニクヒ・ウナギ
カニクヒ袋鼠
カニクヒ・マンアース
カネウチ
○カネタキ
カノコドリ
河馬
カバチエツア
カバラ・ゴヤ
カヒンチオ
カヒバラ
カブナ
カブリコツコ
カブカス・アイベツクス
顔黒羊
○ガマ
カマカリ

鳴禽類 飼養セラルル、
モノヲ見ルノ
ミ「カナリヤ」
鳴禽類 飼養セラルル、
モノヲ見ルノ
ミ

硬骨類 「マトダヒ」

カマシジ
○カマスカ
カマスゴ
カミスリイテ
カミナリウチ
カメレオン
カメソ
カモイモ
カモイチエツア
カモシカ
カモシシ
カモノハシ
○カモメ
カヤクグリ
カヤネズミ
カヤモグリ
カラアチシ
カラカケス
カラカラシイ
カラカル
カラシウ
カラスエヒ

硬骨類 肉味佳良

水禽類

カラスボヤ
○カラスミボラ
カラスバト
カラヘビ
樺太マムシ
カラムグドリ
ガランテウ
○カリガネ
カリガネツバメ
カルガモ
○カレヒ
カロンガ
カハアイサ
カハウ
○カハウソ
カハカケス
カハガラス
カハサバ
○カハセミ
カハセウビン

硬骨類 荒尾ノ「ヤス
ミ」横島ノ「ヨ
テ」

水禽類 秋来リ春去ル
候鳥

硬骨類 近海ニ普通ニ
流セラル

食肉類 河池ニ棲ム

鳴禽類 小川ノ流ニ望
ミテ居ル

カハスヤメ
カハチヤウ
カハツ
○カハヅ
○カハネズミ
カハハギ
○河鱈
○カハボラ
カハムツ
カハヤツメ
カハラケドリ
○カハラスバメ
○カハラバト
カンガル
カンダヒ
カンチル
カンムリウミスバメ
冠鷄
冠雉

無尾類 山間ノ溪流ニ
棲ム「カシカ
ガヘル」

齧齒類 体四寸乃至五
寸魚肉昆蟲類
ヲ食ス

硬骨類 「ナマヅ」滿洲
方言

硬骨類 「ボラ」海産幼
魚ハ河口ヨリ
上流ニ上ル

鳴禽類 「黄鶇」
鳩類 飼鳩ノ俗稱

カンムリツル
ガイアル牛
ガウル牛
ガガネ
ガシラ
ガクウナギ
鷺鳥
ガフ
ガラクンテウ
ガラゴ
ガンガネ
ガンギエヒ
○ガンゾ
ガンゾウビラメ
ガンゾウムシ
○キアシシギ
キアシフクロネズミ
キアンダ
キアンコウ
キイロオホトカゲ

ガ之部

キ之部

硬骨類 「鱒」琵琶湖方
言

水禽類 秋ト春ニ見ル

キーウイ
吸血蝙蝠
狐狨
キウセン
キウーバ・クロコゲル
○キエヒ
軟骨類「赤エヒ」肉味
良シ
鳴禽類 杉林ヲ徘徊ス
四時見ル
○キクイダバキ
翼手類「菊蝠」
翼手類 平均二寸位ノ
小形ノ蝙蝠
○菊蝠
攀禽類「アチケラ」四
時山間部ニ棲
○キゲラ
龜殼花
キコシヤ
○キジ
○キジバト
○キスゴ
○キセキレイ
キゼノイチ
北亞米利加ノエマドリ
北濠太利亞袋イダチ
キダカ

キダコ
○キダタキ
キチガヒウナギ
キツカフシヤ
○キツゴ
キツチン
○キツネ
キツネチゲル
キツネガツチ
キツネザル
キツネタラ
キツネザル
○キネズミ
キノホリトビハセ
○キバシリ
キハダマゲロ
キバタン
キビタキ
キヒバリ
キビナゴ
キアナイワシ
○キマハリ

攀禽類
硬骨類「キズコ」河口
ノ沙底又ハ海
草中ニ棲ム
○九州コゲラ
キエーナ
京女鰐
キヨガレ
響尾蛇
キラホエール
キラアイ
キレンジヤク
霧鳥
キリン
キンアンコウ
キンカザウ
キンケチヤイレス・スバニエル
錦鶏
キンクザル
○キンコダヒ

鳴禽類「五十ガラ」
鳴禽類
食肉類 山間部ニ見ル
硬骨類「シタビラメ」
ヒ

金狸々
金色オリオル
金色ゴクラクドリ
金色フクロタヌキ
○金色ペンシルド・
ハンバーク
○キンダヒ
キンタラウダヒ
キントキダヒ
キンバラ
キンバト
キンミダカ
キンメダヒ

金狸々
銀灰色手長猿
ギンザメ
ギンザンマシコ
銀色狐
○銀色碁石ハンバーク
ハンバーク
○ギンホ
クアツガ
クエヒナ
クエンド
クカル
クキ
○クサガメ
クサシギ
クサムロリ
クシダヒ
孔雀

鳥類類 荒尾海岸ニ棲
ム「ウミミハ
ズ」?
○クチナハ
クチビダヒ
クダメネウチ
クツゾコ
クツナ
クツロホウ
クビスネ・ベツカリ
○クビタマチドリ

鳥類類 横島方言「ウ
ミドゲヨウ」
硬骨類「タシギ」
洩禽類
鳥類「ヤマガメ」体
長三寸四分位
淡水産
○クマネズミ
クマビキ
クモザル
クラシシ
○クラタ、キ

鳥類類 秋季折々川邊
ノ乾燥地及湖
畔ニ見ル
食肉類 眞黒色ノ猫チ
齧齒類
鳴禽類「上編」

ギ之部

ク之部

ギ之部

ク之部

クラドリ
クリツプ・ダス
クロアシ・アホウドリ
クロアシ・ベンガイ
クロアササシ
クロアシコウ
クロウチ
クロウミツバメ
クロチ・ニシキヘビ
クロ・カイマン
クロガモ

蛇類「ヒバカリ」
○クロクチナハ
クロクマ
クロコザル
○クロシ
クロシナイ
黒狸々

鳴禽類
○クロダヒ
クロツグ
○クロツグミ
鳴禽類 山間到處ニ棲ム

クワツゴ
クワツマ
クワツモ
クワツテン
クワツラヘラサギ
クワツル
クワツウヅクカモメ
クワツキ
クワツドリ
クワツネズミ
クワツヤコドリ
クワツメバル
クワツガ
クワツマラ・クワツコザル
クワツナコ
クワツイラ
クワツエレザ
クワツタベ
○クワツチ
クワツツツン
クワツフオン瓦鷹
クワツランド海豹

ケ之部

ケ
ケアテマラ・ケアツコザル
ケアツナコ
ケイラ
ケエレザ
ケタベ
○ケチ
ケラツツツン
ケラツフオン瓦鷹
ケラツランド海豹
硬骨類 近海ノ泥底ニテ流セララル
ケリーランド鯨
ケレビー氏森驢
群生織布鳥
ケアキノスリ
軽快テナガザル
ケイトロア
ケイマフリ
毛尾猿
ケゴヤフクロ
ケター
ケハナ・ウチムベツト
ケイア水牛
ケイア跳兎
ケイア・ハートビースト
ケリ
ケンウチ
ケンゴラウダネ
源五郎鯉
ゲンノイチ

ケ・ケ之部

五〇
ケリーランド鯨 食肉類 活潑快走スルヲ以テ狩獵ニ適ス

コ・カウ・コウ・クワウ之部

コアチアシシギ
コアカゲラ
コアガリ
コアラ
○コアエ
コアリクヒ
○コヒ
コヒト
コウナギ
コウミスヤマ
コヒエル
高貴猫
コキクガシラカハホリ
コキンテウ
香魚
コークアイ
氷熊
黄嘴郭公
○コイチン

硬骨類 淡水産
硬骨類 肉味佳良香氣亦好ク香魚ノ稱アリ高瀬川ニ多シ
○カウザバエ
コウシンドリ
コフ
コフヅル
廣吻クワコザル
神戸牛
黄霧鳥
○カウチ
カウライキジ
コウラン
江灣クワコザル
コエゾイタチ
コチバシギ
コガラ
○コカリガネ
コカハラヒハ
コガツチ
コガモ

硬骨類 体長八九寸ニ達ス常ニ山間ノ溪流ニ産ス
○カウチ
カウライキジ
コウラン
江灣クワコザル
コエゾイタチ
コチバシギ
コガラ
○コカリガネ
コカハラヒハ
コガツチ
コガモ

小形シギダテウ
小形灰色モズ
小形フクロムササビ
小形ヤブチフクロネズミ
○黒雁
コクゲラ
黒犀
黒嘴郭公
黒色サラマンダー
コクバガヘシ
コクマルガラス
コケツグミ
コケラ
コケムツ
コサギ
コサメビタキ
ロシアカツバメ
ロシキセンバラ
コシギ
コシジロアササシ
コシジロウミツバメ
○コシナガ
硬骨類 「セグロイロシ」

硬骨類 淡水産
硬骨類 肉味佳良香氣亦好ク香魚ノ稱アリ高瀬川ニ多シ
○カウチ
カウライキジ
コウラン
江灣クワコザル
コエゾイタチ
コチバシギ
コガラ
○コカリガネ
コカハラヒハ
コガツチ
コガモ

硬骨類 淡水産
硬骨類 肉味佳良香氣亦好ク香魚ノ稱アリ高瀬川ニ多シ
○カウチ
カウライキジ
コウラン
江灣クワコザル
コエゾイタチ
コチバシギ
コガラ
○コカリガネ
コカハラヒハ
コガツチ
コガモ

硬骨類 淡水産
硬骨類 肉味佳良香氣亦好ク香魚ノ稱アリ高瀬川ニ多シ
○カウチ
カウライキジ
コウラン
江灣クワコザル
コエゾイタチ
コチバシギ
コガラ
○コカリガネ
コカハラヒハ
コガツチ
コガモ

硬骨類 淡水産
硬骨類 肉味佳良香氣亦好ク香魚ノ稱アリ高瀬川ニ多シ
○カウチ
カウライキジ
コウラン
江灣クワコザル
コエゾイタチ
コチバシギ
コガラ
○コカリガネ
コカハラヒハ
コガツチ
コガモ

コシヤクシギ
コセイインコ
コセイガイ
コセウダヒ
コセウロロ
コセウザメ
○ニダヒ

○コチ
○コチドリ
ニチノイカ
コチヤウゲンボウ
コチエン
鶴(車ノ雄)
コツカツウ
コツアミ
コツバメ
コツナ
コトマリ
コトニ
○コノシロ
コノハヅリ

硬骨類 「ハナチレタヒ」
硬骨類 汚岸ニ近ク流セララル
洩禽類

○コノハガレヒ
コノハドリ
○コノリ
コハク
コハダ
コバステドリ
コバタン
コバンイタヅキ
コバンザメ
コビル
コブウシ
コブダヒ
コブラ
コブラ・テユー・カペロ
コホリガモ
コマドリ
コマネズミ
○コミミヅク
○コムグドリ
コムシクヒ
コモモジロ

硬骨類 「メイタガレ」
近海到ル
處ニ棲ス
猛禽類

○サヨリ
サヨリ
サウスダウソウ
サカタザメ
サカタアカ
サカトラガン
サカホコ
サカマタ
サキ
サギタカ
サクラインコ
○サクラバエ
サクソニア・メリノ
サク
サゴ
サゴシ
サザイ
ササガマ
サザ
サザキ
ササゴイ

硬骨類 「サヨリ」
○サザナミ
サシバ
サツバ
○サツマウマ
砂糖インコ
砂糖リス
○サトメグリ
沙鷄
サナダ
サバ
サバチタチウテ
サバシユ
サバル
砂漠大蠍
サメクサイ
サメヒタキ
○サヨリ
サラプレツド
サル
サルシギ
サルバ
サルマシコ

○サヨリ
サラプレツド
サル
サルシギ
サルバ
サルマシコ

コモリネズミ
コモンカクレウチ
コヨシキリ
コヨト
コルゴ
コルリ
コロザメ
コロダヒ
コロビボヤ
コンカン
コンガラテウ
コンドル
コンナイ
コンモン・マゲビー

ゴ之部
○ゴイサギ
ゴクラクドリ
ゴシカ
五色インコ
五色セイガイ
○ゴシフカラ
ゴチヨ

洩禽類 夏季多ク見ル
鳴禽類 「キメグリ」
山間ニ廣ク棲息ス

ゴツコ
梧桐
ゴトウイルカ
ゴヘイ
五歩蛇
ゴマウナギ
ゴマゲラ
ゴマメ
○ゴミハセ

ゴム獸
ゴリ
ゴリカシカ
ゴリラ
ゴルトン・セツター
ゴントウクザラ
ゴンドウ

サアラ
サイ
鯨
鯨角十字蛇
サイヅチホヤ

○ゴミハセ
硬骨類 全体面黒斑アリ
有明海ニ普ク見ル

戴帽猿
○サイヨリ
サイラ
サイリ
サウスダウソウ
サカタザメ
サカタアカ
サカトラガン
サカホコ
サカマタ
サキ
サギタカ
サクラインコ
○サクラバエ
サクソニア・メリノ
サク
サゴ
サゴシ
サザイ
ササガマ
サザ
サザキ
ササゴイ

硬骨類 「アアラバエ」
淡水産

○サザナミ
サシバ
サツバ
○サツマウマ
砂糖インコ
砂糖リス
○サトメグリ
沙鷄
サナダ
サバ
サバチタチウテ
サバシユ
サバル
砂漠大蠍
サメクサイ
サメヒタキ
○サヨリ
サラプレツド
サル
サルシギ
サルバ
サルマシコ

鵝鶩類
有蹄類
蛇類 「黄領蛇」
硬骨類 肉味實セラル

サルモドキ
サハガラス
サハラ
サンカノゴキ
サンコテウ
サンコドリ
三光鳥
サンシヤク
サンセリウチ
サンシヨカヒ
産婆蛙
サンバク
三寶鳥
サンバル鹿
サンマ
サンマチ
山棲野兔
山地ノ羊犬

サ之部

材木響尾蛇
○ザコ
ザトウクダラ
ザン

ザンノイチ
シ之部
シアマ
シイラ
シウメ
シチサワイ
シカ
シギダテウ
○秋金
シゲナザル
獅子
シシクリゴチ
○シシフガラ
シシフガラガン
○シタビラメ
七絃琴鳥
シチメンテウ
○七郎鼠
シナイ
支那金魚
支那豚

硬骨類 金魚ノ一種
鳴禽類 普通ニ見ル
硬骨類 俗稱「クツゾ
齧齒類 壁家屋ノ土臺
ニ穴ヲ穿テ溝
中ニ棲ム

シノハフトウ
シノリガモ
○シバホリ
○シバホリツグミ
シバモグリ
シビ
シビコ
シビレウナギ
シビレエヒ
シビレナマツ
シフチノブス
四不像
朱文金
西比利亞アナグマ
シホサイフガ
シマアチシ
シマアジ
シマイシジ
シマウマ
シマエナガ
○シマガレイ
シマクヒナ
シマコダヒ

鳴禽類「ツグミ」冬季ニ見ル
鳴禽類「シバホリ」

シマセキレイ
シマセンニウ
シマダヒ
シマツ
シマツグミ
シマナメラ
シマネズミ
シマノゴゼン
シマハイエナ
シマフクロ
○シマヘビ
シマムクドリ
シマメグリ
シマモズ
○シメ
シヤシヤウナギ
シヤシヤウナゴ
○尺八鳩
シヤクア
○シヤケ
シヤコ
シヤチ
シヤフアン

蛇類
鳴禽類
鳩類 飼養セララル
硬骨類「追川魚」

暹羅クロコザル
暹羅ネコ
○シヤモ
シヤレ
猿
正覺坊
狸々
シヤウビシ
シヤウゲンボウ
シヤウドウツバメ
○シヤウブドリ
勝軍鳥
沼地クロコザル
シヨクドリ
食用雨燕
食用飛狐
狩獵用ヘウ
○シユクチボラ
シユモクザメ
シロガン

鷓鴣類「勝軍鳥」
鷓鴣類 シヤモ
鳴禽類「筑後鳥」
硬骨類 横島ニテ「シ
グチ」荒尾ニ
テ「ヤスミ」ト
言フ

シロサイ
○シロセキレイ
趾類
シラウチ
シラウチノウバ
シラキジ
○シラギス
○シラグチ
シラコバト
シラス
シラヒゲウミスゞメ
シラブ
シラフジ
シラフルシ
シラミダラ
シリアクマ
シリア蹄兔
○白兔
白尾熱帯鳥
シロカネウチ
シロクマ
シロクチビル・ベツカリ

鳴禽類 冬季ニ見ル
硬骨類「キス」
硬骨類 稍深キ沖合ニ
テ漁セララル
齧齒類 肉用トシテ飼
養セララル

○シロギス 硬骨類「キス」肉味賞セラル

シロサギ

シロザメ

○シロジナイ 鳴禽類「白腹」

シロチドリ

シロヅル

シロツブシヤイヤ羊

シロテテナガザル

シロナガス

シロニガアナ

シロネツタイドリ

シロハナ・コアイチ

シロハマツ

○白腹

鳴禽類 冬季山間到此 處樹木ニ静ル

白腹キマハリ

白腹トウゾクカモメ

シロハヤアサ

シロビタ・キマハリ

シロホーシン

シロホヤ

シロモズ

シロマダラ

シロマアタ・テナガザル

○真黒コーチン 鵜類 肉用トシテ多ク飼養セラル

真黒ハンパーク

シンナイ

真正シマウマ

シ・子之部

シイカレツト

シイフイラ

シウイチ

十字蛇

シフニカラ

シエルホーア

瓜哇牛

瓜哇サル

瓜哇ナマケザル

瓜哇クシヤク

ザヤツクドウ

シヤコ

シヤコビン

シヤカウシカ

シヤカウサル

シヤカウネズミ

シヤカウネコ

シヤケアー

ザヤツカル

シヤミ

○シヤノコ

シナ

シイナ

○ザネズミ

似人猿

○ナシギ

樹棲カンガルー

慈悲心鳥

儒艮

ジュズカケバト

ジュス集會鳥

○純白コーチン 鵜類

純白ハンパーク

○シヤウビタキ 鳴禽類

シーネツト

ザムグリ

助産蛙

硬骨類「タツノオトシゴ」

齧齒類

洩禽類「タシギ」十月頃最も多シ

鵜類

鳴禽類

ザヨラウアナ
ザンゴ犬

ス之部

水牛

水獺

スイフト

スインホー氏ノ鹿

スカイ・テリーヤ

スカンク

スガル

スキエヒ

スキノサキ

スキソラギス

スケソウ

スケトウダラ

スコツチ・テリーヤ

スコツトランドノコリーヤ

○スコベ

ス

○スキキ

ス

○スキメ

硬骨類「マトダヒ」近海ニ漁セラル

硬骨類 近海魚テ河流ニ入り來ル稀ニ小群ヲナス

鳴禽類

スメグヒナ

スメフケ

スタツク・ハウンド

スタイレツト

スザカツチ

スザホテリ

○スツボン

スタントル

スナヒバヤ

スナムグリツバメ

スナメリ

スナヤツメ

スパニエル

西班牙カサ、ギ

西班牙野生山羊

スホ

スマ

スミカサゴ

スミヤキタヒ

スリナム袋鼠

スル

魚類「ダンガメ」池沼河川ニ産ス

○ズブトシ

脊赤モズ

脊穴蛙

セホウチ

西印度アザラシ

セイケイ

○セイゴ

セイロン野鷄

石狐

赤色キツネザル

赤色コアイチ

赤色ハートビースト

赤色野鷄

セキセイインコ

赤藍マコウ

石龍子

セクレタリー・パールド

セグロ

セグロアザサシ

セグロイワシ

硬骨類「ウナギ」

硬骨類「ス、キ」ノ幼魚五六寸位ノ稱

硬骨類 幼魚ノ間良ク有明海ニ來ル

セグロウミヘビ
○セグロカモメ
○脊黒ゴイ
○セグロセキレイ
セグロセンバラ
セグロ・チヤツカル
セツカ
セツター
セツトウ
セトリ
セネガル・ガラコ
セミクヅラ
セラトダス
センザンコフ
仙臺馬
仙臺ムシクヒ
センバ
セントベルナルド犬

○セニゴチ
水禽類 冬季見ル
渉禽類 夏季之ヲ見ル
鳴禽類 四時到處ニテ見ル
草原マルモツト
サウダ
サウダガツラ
粗糞脊カイマン
噪林鳥
ソコベ
袖黒鷄
袖鷄
ソナ
ソマリ駄馬
ソリハシシギ

硬骨類「コチ」近海ノ泥砂中ニ棲ム
ダイマイ
太陽島
臺灣ガメ
臺灣フイリシカ
タカノハダヒ
タカアブシギ
タカベ
タカマツ
タカラガメ
タゲリ
タシギ
タスマニア・ウチムバツト
タスマニア・狼
ダスマメ
○タ、ミイワシ
硬骨類 脊黒鱈ノ幼魚ヲ乾製シタルモノ、稱

ゼ之部

○ゼニガメ
善知鳥

魚類「水龜」池沼川流ヨリ流セラ
○タヒ
タイガ
タイコノアチ
胎生トカゲ
太平島

タ之部

硬骨類 肉味佳良
○タチノウチ
鷄鳩
○タツノチトシゴ
タテガミトカゲ
タテマダラ
硬骨類 海濱間ニ棲息

リ之部

象アザラシ
象龜
○タヒ
タイガ
タイコノアチ
胎生トカゲ
太平島

硬骨類 脊黒鱈ノ幼魚ヲ乾製シタルモノ、稱

タトウアイ
○タナゴ
○タヌキ
○タネズミ
タネマキドリ
タノキヅラ
タバカ
タヒバリ
タビネズミ
タビビツト
タヒラコ
タホウシロ
タマシギ
タモリ
タ一山羊
タラ
タルシウス
タルバーガン
○タレクチ
タンカン

○タレバカ
タ一ンスビツト
短顔アントワープ
○淡黄色コーチン
淡黄色シカ
○淡色ブラマ
丹頂鶴
短尾猿
○短尾ハタネズミ
タンブラー
硬骨類「小川ニ見ル」
「アブラバエ」ト俗稱ス
食肉類
齧齒類
硬骨類「銀貨」横島ニテ海ノ下ニテ稱ス
○ダイリツバメ
ダケガラス
駝鳥
ダツ
ダツシイ
○ダボ
○ダボハセ
タルマイニコ
タルマダヒ
○ダンガメ
硬骨類「銀貨」横島ニテ海ノ下ニテ稱ス
鳴禽類「カザキリ」尾筒部白キ故容易ニ識別セラ

夕之部

硬骨類「銀貨」横島ニテ海ノ下ニテ稱ス
○ダイアナ尾長猿
ダイアモンド響尾蛇
ダイアモンド脊響尾蛇
ダイアモンド蛇
大角羊
大瓶牛
ダイギリ
ダイク・ホエール
ダイシヤクシギ
ダイセン
硬骨類「脊黒鱈」横島邊ニテ所謂「タレクチ」ハ其ノ千ナラン
鳴禽類「ムレガラス」普通ニ見ル鳥

チ之部

チイター
チエスター・ホワイト種豚
チエビオツト羊
チエプロティン
チカ
○チクゴガラス
竹林鳥
硬骨類「ダボハセ」
硬骨類 普通ニ見ル小形ノ「ハセ」
魚類 河川湖沼ニ多シ今池中ニ飼養スルモノ多シ

- チゴモズ
- チゴハヤブサ
- 千島ウガラス
- 千島ミソサハイ
- 千島ヒバリ
- チシヤダヒ
- 秩父蝙蝠
- 千鳥
- チナム
- チヌ
- 西蔵犬
- 西蔵サル
- チブマンク
- チヤジナイ
- チヤツグ
- チヤツグミ
- チヤツチヤ
- チヤドリ
- チヤビタキ
- チヤホ
- チユイ
- チン

- チンチガラ
- チンチラ
- チンパンジ
- チヤウゲンホウ
- チウザメ
- 朝鮮ウグトス
- 朝鮮ガラス
- 朝鮮ツグミ
- 朝鮮ノ虎
- チヤウチンニラ
- チヤウチンモロコ
- チヤウビン
- チヤウマ
- チヤウマツグミ
- チヤウマン
- 長毛猫
- チユアタラ
- チユウ・チウ之部
- チユウ
- チウ
- チウシバシヤク
- チユウシビ
- チユウシヤクシギ
- チユウブクラ
- ツカヒバト
- ツカヒバト
- ツカツクリドリ
- ツキノワグマ
- ツグミ
- ツグミ
- ツチウチ
- ツチガヘル
- ツチクダラ
- ツチアタ
- ツチヒバリ
- ツツドリ

- チユウヒ
- 中鷺
- チユウシバシヤク
- チユウシビ
- チユウシヤクシギ
- チユウブクラ
- ツカヒバト
- ツカヒバト
- ツカツクリドリ
- ツキノワグマ
- ツグミ
- ツグミ
- ツチウチ
- ツチガヘル
- ツチクダラ
- ツチアタ
- ツチヒバリ
- ツツドリ
- 鷓鴣類 軍隊ニ飼ハル
- スル鷓
- 鳴禽類 秋冬ノ交多ク見ラル
- 無尾類 普通ニ見ラル

- ツツンドリ
- ツツ
- ツツメ
- ツナシ
- ツバクラメ
- ツバクロウチ
- ツバクロ
- ツバメ
- ツバメウチ
- ツノザメ
- ツノシフシヘビ
- ツノホブ
- ツノメドリ
- ツミ
- ツムギ
- ツムク
- ツメナガセキレイ
- ツルシギ
- ツク
- 鳴禽類「黃鶴」
- 鳴禽類「雀」八丈島稱
- 鳴禽類「雀」
- 硬骨類「鮮食セラル
- 鳴禽類「燕」
- 鳴禽類「燕」
- 鳴禽類「燕」
- 鳴禽類「春來リ秋去ル候鳥

- 鐵砲魚
- テナガザル
- テリビタキ
- テリムツ
- テリーヤ
- テン
- テンガイ
- テンゲイルカ
- テンゲウチハ
- テンゲザル
- テンゲハギ
- テンゲクシヤコ
- テンゲクネズミ
- テンゲクバタン
- テンマル
- テカンノ赤犬
- テ之部
- 鳴禽類「魚狗」富士山
- 麗山中方言
- 鳴禽類「ツグミ」關東地方言
- 食肉類 毛長キニ依リ附ケラレシモノ?
- テメキン
- 傳書鳩
- タウカン
- トウガラシゴマ
- タウガラス
- トウソクカモメ
- トウソク
- 東天紅
- トウネン
- トウヤク
- トカゲ
- トカゲ
- トキ
- トキ
- 硬骨類「眞イルカ」珍ラシク漁セラ
- 鳴禽類 上編ノ雄ノ稱
- 食肉類 捕鼠ニ大切ナリ毛皮稱ラセ
- 齧齒類 人ノ好ミテ飼養スルモノ白テ普通トシ赤黒等アリ
- トウソクカモメ
- トウソク
- トウヤク
- トウネン
- トウヤク
- トカゲ
- トカゲ
- トキ
- トキ
- 硬骨類 金魚ノ一種
- 鳩類 軍隊ニ多ク飼養セラル
- ト・タウ之部
- 鳴禽類「勝鳥」加藤清正ニ依リ知ラル
- 鷓鴣類「シヤモ」
- 齧齒類 郡内到ル處ニ見ラル
- 齧齒類「トカゲ」

- テゴン
- テゴンドウ
- テスマダス
- テーマン
- テメキン
- 傳書鳩
- タウカン
- トウガラシゴマ
- タウガラス
- トウソクカモメ
- トウソク
- 東天紅
- トウネン
- トウヤク
- トカゲ
- トカゲ
- トキ
- トキ
- 硬骨類 金魚ノ一種
- 鳩類 軍隊ニ多ク飼養セラル
- ト・タウ之部
- 鳴禽類「勝鳥」加藤清正ニ依リ知ラル
- 鷓鴣類「シヤモ」
- 齧齒類 郡内到ル處ニ見ラル
- 齧齒類「トカゲ」

トゲアナ
トコ・タウカン
トコ
トサカ・アザラシ
屠殺鳥
トシヨクザル
トツカハ
突厥雀
徳利燕
トツバ
トド
トナカイ
トノサマガヘル
トビ
トビウチ
トビエヒ
トビキツネザル
トビザル
トビニスミ
トビハゼ

硬骨類
淡水ノ交ル海
ニ棲ミ干瀉チ
匍匐ス

トモエガモ
トモモリ
トヨマ
トヲ
トヲツグ
トヲツグ
トヲツグ
トヲフグ
トヲフネズミ
トランベタ
トリアマ
トロンビ

ト之部

ドクトカゲ
ドチザメ
ドチヨウ
ドブニスミ
ドラゴン
ドリル

猛禽類「鷹」

硬骨類
肉類ル滋養ニ
富ム
齧齒類
産力盛ニシ
テ一産平均五
六匹ニ對シ一
年間二百匹チ
産ム

ドルフィン
ドルマツス
ドロパーズ犬
ドルカス・ガゼリ
ドコ
ドウソン・サルモン

ナ之部

ナイチンゲール
ナガイワシ
ナガサキ
ナガスラザラ
ナガアラカンタ
ナキザル
ナゴアカ
ナゴヤゴマ
ナツクヒナ
ナツトラツカ
ナベケリ
ナベシユイ

硬骨類「サヨリ」肉色
白ニシテ味淡
泊
硬骨類「琉金」金魚ノ
一變種

漆禽類「緋クヒナ」稀
ニ見ル小鳥ニ
テ翼長四寸チ
越ヘス

ナベヅル
ナヌカザメ
ナマケザル
ナマケモノ
ナマダ
ナマヅ
ナマヅヘビ
ナミツグミ
ナメウチ
ナメクサウチ
ナメラ
ナメヲ
ナン
ナンキンカヒウサギ
ナンキンネズミ
南方羊犬

肉食類
飼養變種ニシ
テ体小性情惻
良ク人ニ飼ハ
ル

ナゲユ
○南部馬
南部セミククザラ
南米響尾蛇
ニ之部
○入道モズ
入内雀
ニユウフアウランド犬
ニガサ
ニガフナ
ニク
ニコバル塚造リ鳥
ニゴヒ
ニシキドリ
ニシキヘビ
ニシン
ニシマス
ニシンノ王
日本ノ狐
日本ノカキクヒ
日本熊

肉食類
飼養變種ニシ
テ体小性情惻
良ク人ニ飼ハ
ル

有蹄類
青森岩手兩縣
産ノ馬

日本狎
ニール河馬
ニール鰐魚

又之部

○沼太郎
ヌビア猫
ヌエジナイ
ヌエ
○ニハトリ
庭造リ集會鳥
人魚
○ネコ
ネコザメ
ネコザル
ネグレツチイ・メリノ
熱帯鳥
ネツプ
ネツツホ
ネブトダヒ

ネ之部

肉食類「飼」
水禽類「葵喰」嘴ハ橙
黄色ト黒色ノ
部トアリ脚橙
黄色羽毛灰褐
色冬季海岸ニ
稀ニ見ル

年魚
ネンブツザメ
ネズミイルカ
ネズミゴテ
ネズミザメ
ネズミヅル
○ネズミトトリ

ノ之部

○ノウサギ
ノガン
ノコギリザメ
ノゴドリ
ノゴマ
ノシコ
ノスリ
ノソザヨリ
ノドクチ
○ノネズミ
ノバト
ノビタキ
ノアスマ
ノベ

蛇類「黄領蛇」

齧齒類 到ル處ノ山間部ニ獵セラル

ノボリウチ
○ノラネ
ノヤマ

ハ之部

ハイ
ハイイロアザラシ
ハイイロウミツバメ
ハイイロクマ
○ハイイロネズミ
ハヒボヤ
ハイトロミヅナギドリ
ハイイロ野鷲
ハイイロトレアシシギ
○ハイイロカ
ハイイロチユウヒ
ハウンド
○ハエ
ハガツチ
ハク
白雁
白犀
○白セキレイ

齧齒類

齧齒類

猛禽類

硬骨類「追川魚」淡水産

鳴禽類 晩秋ヨリ冬季ニ多ク見ル

ハクテウ
ハクノチヒキ
ハコガメ

○ハコネサンセウウチ 有尾類 春富邊ノ谿流ニ見ル
ハコフグ
ハサハラ
ハシ
ハシコイ
ハシビ
ハシビロガモ
ハシブトガラス
ハシツクヒ
ハシツクヒ
ハシナガ
ハシボソガラス
ハシボソミヅナギドリ
○ハジロ
○ハセ
ハセコイ
ハタウチ
ハダカヘビ

硬骨類「ハナチレダ」
硬骨類 近海到ル處ニ見ル

ハタケドゾヨウ
○ハタケネズミ
ハタハタ
ハダハダ
ハチクヒ
ハチクマ
ハチシヤウツグミ
ハチミツクマ
ハチモンシ
ハツ

齧齒類

ハツカチヤウ
○ハツカネズミ
ハツキイ
ハイトビースト
○ハト
○ハトムネバト

齧齒類

ハナチコレ
○ハナチレ
○ハナチレダ
ハナシロザメ
○ハナマカリ

鳩類
鳩類
鳩類
吸塵ニ空氣ヲ
膨ミ込ム胸ヲ
膨ス

ハナチコレ
○ハナチレ
○ハナチレダ
ハナシロザメ
○ハナマカリ

硬骨類「ハナチレダ」
硬骨類
硬骨類
硬骨類「キス」

ハナミドリ
ハネコ
ハチヤウ
ハハツチヤウ
ハア
ハアカ
ハアベスト・マウス
ハマシギ
ハマネコ
ハマヒバリ
○ハミ
ハムツ
○ハメ
○ハモ

蛇類

蛇類「マムシ」川口宗昌氏博物圖
教便覽ニ見ル

蛇類「マムシ」播摩方言
硬骨類 體ニ似シ鏡
キ小齒ヲ列シ
シ他物ニ嚙ミ
付ク

ハヤ
ハヤアサ
ハラカラ
ハラヒカサ
ハラシロ

ハリウチ
ハリチ
ハリチアマツバメ
ハリチシギ
ハリセンボン
ハリネズミ
ハリフグ
ハリムカラ
ハリヤ
ハルツゲドリ
半猿
ハンザキ
ハンザケ
ハンザコ
ハンシヨ
ハンナリ
ハンパーク
ハンアシ
斑紋サラマングー
斑紋フクロイタチ
斑驢
○ハ之部
バイカル・アザラシ

パー
 パカ
 パカツチヨ
 パカドリ
 パカヒタキ
 パカビタキ
 パクトリア駱駝
 パークシャー補(豚)
 ○パシロ
 パセウカギキ
 パーチエル氏犀
 パーチエル氏斑驢
 パーチニアン・オボツサム
 パーバリー猿
 パツフアロー
 パーネット・サルモン
 パビルサ
 パーア
 パーア馬
 パブーン
 パラムンダ
 パルチユーア

硬骨類 「ハナナレダ」

パン
 パンクヒナ
 ○パンシロ
 パンゲクート
 番匠鳥
 パンゲンガ牛
 パンツル
 パンパイア・パツト
 パウター
 パカ
 パコー
 パコ
 パサンダ
 パタゴニア・アシカ
 パタゴニア飼兎
 パタゴニア駱駝
 パーラキツト
 パラス・チャツフカドウ
 パンゴリン
 パンサー

パ之部

硬骨類 「ハナナレダ」

ヒインコ
 ○ヒウナ
 ヒウチダヒ
 ヒガイ
 ヒカリボヤ
 ヒガンゾチ
 ○ヒキガヘル
 ヒキヤクドリ
 ヒクヒドリ
 ヒクヒナ
 ヒゲマ
 ヒゲサキ
 ヒゲハゲタカ
 ヒサキ
 ヒシクヒ
 ヒシコ
 ヒスコ
 ○ヒセンガラス
 ○ヒタキ
 硬骨類 「點」琵琶湖方言
 無尾類 体肥大形貌 皮膚ニ顆粒多シ
 鳴禽類 加藤清正公ノ 勝鳥ノ稱呼ニ 依リ知ラル
 鳴禽類 夏山地ニ棲 息シ冬季暖ニ 多ク見ル

ヒダリマキ
 ○ヒヂハリ
 ヒツカタ
 ヒツコケダラ
 ○ヒツジ
 ヒツジ・イヌ
 ヒツジ・サクダ
 ヒツメウサギ
 人喰ヒ
 ヒトコブラクダ
 ヒトシヨ
 ヒノマル
 ○ヒバカリ
 ○ヒバリ
 ヒバリシギ
 ヒヒ
 ヒヒコ
 ヒミズ
 ヒミズモダラ
 ヒメウ
 ヒメクヒナ

有尾類 「ハコネサン」ニウウチナ「日」ニ見ル

有蹄類 稀ニ飼養セラ

蛇類 鳴禽類

ヒメクチナハ
 ヒメダ
 ヒメヒミズ・モグラ
 百歩蛇
 ヒヤクロク
 ヒユアナゴ
 水魚
 ○ヒヨドリ
 ○ヒヨ
 豹
 豹アザラシ
 ヘウダヒ
 ヘウネコ
 ○ヒラ
 ヒラアザ
 ヒラガシラ
 ○ヒラコノシロ
 ヒラサバ
 ○ヒラダネ
 硬骨類 「ヒヨ」夏李山地ニ蕃殖シ平原村落ニ近ク出
 鳴禽類 「ヒヨドリ」
 硬骨類 「ヒラコノシロ」稀ニ漁セラル
 硬骨類 ヒラ沖合ニテ 稀ニ漁セラル
 硬骨類 「鮎」埼玉方言

鳴禽類 「ヒヨ」夏李山地ニ蕃殖シ平原村落ニ近ク出

硬骨類 「ヒラコノシロ」稀ニ漁セラル

硬骨類 ヒラ沖合ニテ 稀ニ漁セラル

ヒラアナ
 ○ヒラメ
 ヒラメザカ
 ヒーラ・モンスター
 飛龍
 ヒルシギ
 ヒレナガ
 ヒレンシヤク
 ヒロチビ・ヨコイネズミ
 ヒロクチ
 ヒンニイ
 ビクナ
 ビーガル
 ビーコンア油羽コーチン
 ビスカツチア
 ビゾン
 ビーバー
 ビラウドキンクロ
 ビハウチ
 ビンクシ
 ビンクシ
 ビンクシ
 硬骨類 肉味佳良近海ニ泥沙中ニ潜ム
 ビ之部

硬骨類 肉味佳良近海ニ泥沙中ニ潜ム

ビ之部

ビンズイ
ビンナガ

ビ之部

ビチアゴ
ビユーマ

フ之部

フアスコロゲール
フアラシ
フアンテイル

風鳥

フエフキダヒ

フエレット

フエンネツク

フナツクス・ハウンド

フカ

フクガヘル

○フクロ

フクロホンセイ

袋アナグマ

袋アリクヒ

袋イタチ

猛禽類
似ミミツクニ極
モノ

袋オホカミ

袋タヌキ

袋ネズミ

袋リス

フタアシナマケモノ

フタアジミミズトカゲ

フタコブラクダ

フタツノ大角鳥

普通ウラムバツト

普通オホカミ

○普通キツネ

普通響尾蛇

普通スカンク

普通スパニエル

普通ジャカウネコ

普通マンゲース

○フナ

フナシトキ

フナトメウチ

フユウヒナ

フル・アラウド

食肉類
郡内稀ニ棲息

硬骨魚
淡水ニ棲ミ肉
味佳良

フレイミンゴ

フ之部

○フタ

フダヒ

フタノクチ

フチキツネ

フチキツネザル

フチサンセウウチ

○フチネコ

佛法僧

フナ紹

ブラウン・ラツト

ブラジル・キノホリヤマ

ブラツシユ・カンガル

アラウド・ハウンド

○アラマ

アリ

ブリーク

ブル・テリヤ

ブレンハイム・スパニエル

鵝鶩類
卵肉共用セラ
ク飼養セラル

有蹄類
到ル處ニ飼養
セラル

文鳥

ブ之部

ブリオヒツバス

ブリアウス・ロツク

ブレイリ・ドツク

プロテウス

プロトヒツバス

プロトアテルス

ヘ之部

ハイテ

ヘソウチ

○ヘソガヘル

ヘダヒ

ヘツタカ

○ヘバリ

ヘラザキ

ヘチシギ

ヘンクダクダ

ベコザコ

ベ之部

第二編 博物 第一章動物

無尾類「ツチガヘル」
播摩方言

鳴禽類「雲雀」播摩方
言

鳴禽類「雲雀」播摩方
言

鳴禽類「雲雀」播摩方
言

ベト

ベニアササシ

○ベニコダヒ

ベニサシ

ベニスズメ

ベニヒハ

ベニマシコ

ベニマス

ベニメバル

ベラ

ベルガ

ベルギー飼兎

ペロ

ペロシヤ

ベ之部

ベキン・アヒル

ベツカリ

ベリカン

波斯馬

波斯猫

ベロザクナクス

硬骨類

「ハナチレダ
ヒ」肉美味又
鹽ニシテ食

ホ之部

ホウシロセキレイ

ホウナマン

ホウボウ

ホウロクシキ

ホエザル

北極熊

北極狐

ホシガラス

○ホシガレヒ

ホシゴイ

ホシザカ

ホシザメ

ホシツグミ

ホシノウソ

ホソクチウチ

ホソタラ

ホタ

ホツケ

ホテ

ホテイサハラ

ホトケセイ

硬骨類
淺海ノ泥沙中
ニ潜棲ス

- ホトケノコウタキ
- ホトゲン
- ホト、ギス
- ホ、アカ
- ホホジロ
- ホホジロカモ
- ホホジロセキレイ
- ホホタレ
- ホヤ
- ホヤル
- ホラキモリ
- ホーリツミ
- ホルンビル
- ホロホロテウ
- ホントウアカヒゲ
- ホンゲラ
- ホンセイインコ
- ホンチヤウマ

ホ之部

- ホー
- ホインター
- ボウター

- ホーリル・キヤツト
- ホツボクドリ
- ホトルー
- ホルキユバイン
- ホンボンドリ
- ポーランド・チヤイナ種(豚)
- ホウズイルカ
- ボウズアザラシ
- ボウシカブリ
- ボクシユ
- ボス
- ボタ
- ボタガハラ
- ボトシギ
- ボラ
- ホリー
- ホントク
- ホンノウサギ
- ホンビナ

ホ之部

- ボラ
- ボトシギ
- ボタ
- ボタガハラ
- ボス
- ボクシユ
- ボウシカブリ
- ボウズアザラシ
- ボウズイルカ
- ホウズアザラシ
- ホーリル
- ホントク
- ホンノウサギ
- ホンビナ

マ之部

- マアアテ
- マアナゴ
- マアモセツト
- マイルカ
- マイワシ
- マエヒ
- マカザキ
- マカツナ
- マカマス
- マガモ
- マガン
- マギス
- マクホル
- マクソダカ
- マクビ
- マフガ
- マミシロアサシ
- マミシロシナイ
- マミシナイ
- マミタスキ
- マミチヤシナイ
- マムシ
- マメタキ
- マメドリ
- マメマハシ
- マメワリ
- マル
- マルサバ
- マルタ
- マルチリス犬
- マルノウチ
- マルアナ
- マルメヂカ
- マルモツト
- マレイ・アナグマ
- マアアテ
- マアナゴ
- マイルカ
- マイワシ
- マエヒ
- マカザキ
- マカツナ
- マカマス
- マガモ
- マガン
- マギス
- マクホル
- マクソダカ
- マクビ
- マフガ
- マミシロアサシ
- マミシロシナイ
- マミシナイ
- マミタスキ
- マミチヤシナイ
- マムシ
- マメタキ
- マメドリ
- マメマハシ
- マメワリ
- マル
- マルサバ
- マルタ
- マルチリス犬
- マルノウチ
- マルアナ
- マルメヂカ
- マルモツト
- マレイ・アナグマ

硬骨類
「穴子」泥底ニ棲ミ夜間出テ他ノ動物ヲ食ス

硬骨類
「鱒」近海ニ群生ス
硬骨類
「赤鯉」肉ハ美味魚屬中ニテ胎生スル好例

水禽類
「アチガビ」冬季飛來スルノ水禽類
秋季ヨリ冬季ニ巨リ飛來ス

硬骨類
毒分ハ卵丸ニ最モ多ク肝臓耶巢之ニ次ギ内臓器官ニモ多少毒分ヲ有ス

蛇類

- マゲロ
- マコウ
- マコガレイ
- マコダヒ
- マゴツト
- マサムネ
- マシギ
- マス
- マスチツフ犬
- マタチ野鷄
- マダヒ
- マタカ
- マダガスカル・クロコゲル
- マダガスカル織布鳥
- マダラウミスヅメ
- マダラ・ジーンツト
- マダラ・ハイエナ
- マチヌ
- マツカフクゲラ

- マツサガリ
- マツテン
- マツバガレイ
- マツヒ
- マツマヘヅル
- マツムシ
- マトダヒ
- マトウダヒ
- マナガツチ
- マナカタ
- マナタス
- マナドリ
- マナチイ
- マナヅル
- マノウソ
- マハギ
- マヒハ
- マブナ
- マヤヤリ
- マミシロ
- マツサガリ
- マツテン
- マツバガレイ
- マツヒ
- マツマヘヅル
- マツムシ
- マトダヒ
- マトウダヒ
- マナガツチ
- マナカタ
- マナタス
- マナドリ
- マナチイ
- マナヅル
- マノウソ
- マハギ
- マヒハ
- マブナ
- マヤヤリ
- マミシロ

- マフガ
- マミシロアサシ
- マミシロシナイ
- マミシナイ
- マミタスキ
- マミチヤシナイ
- マムシ
- マメタキ
- マメドリ
- マメマハシ
- マメワリ
- マル
- マルサバ
- マルタ
- マルチリス犬
- マルノウチ
- マルアナ
- マルメヂカ
- マルモツト
- マレイ・アナグマ
- マフガ
- マミシロアサシ
- マミシロシナイ
- マミシナイ
- マミタスキ
- マミチヤシナイ
- マムシ
- マメタキ
- マメドリ
- マメマハシ
- マメワリ
- マル
- マルサバ
- マルタ
- マルチリス犬
- マルノウチ
- マルアナ
- マルメヂカ
- マルモツト
- マレイ・アナグマ

- マレイ・ガビアル
- マレイ・クマ
- マレイ・チエプロテン
- マユツグミ
- マンダース
- マンザイダヒ
- 満州ノ虎
- マンダラ
- マンドリル
- マンビキ
- マンボウ

ミ之部

- ミオヒツバス
- ミカヅキイノコ
- ミクネコ
- ミコアイサ
- ミゴヒ
- ミサゴ
- ミスググリ
- ミソクググリ

食肉類

- 猛禽類 山間谿流ニ棲
ミ魚ヲ捕ヘ食フ
- 鳴禽類 「鷓鴣」米澤方
言
- 鳴禽類 「鷓鴣」掃磨方
言

- ミソサワイ
- ミソサンダイ
- ミソツク
- ミソツチ
- ミソツドリ
- ミソツチヨ
- ミソヌスミ
- ミゾゴキ
- ミツクヒ
- ミツアロインコ
- ミヅアッコウ
- ミゾオホトカゲ
- ミヅコヒドリ
- ミヅシカ
- ミヅチノコ
- ミヅトカゲ
- ミヅナギドリ
- ミヅノメス
- ミヅヒヨロヒヨロ
- ミヅフクロネズミ
- ミズアタ

- 鳴禽類 「鷓鴣」
- 鳴禽類 「鷓鴣」
- 鳴禽類 「鷓鴣」
- 鳴禽類 「鷓鴣」
- 鳴禽類 「鷓鴣」米澤方
言
- 鳴禽類 「鷓鴣」夏李ハ
山地ニ冬季ハ
低地ニ降ル

- ミヅユビカモメ
- ミヅユビナマケモノ
- ミトサギ
- 南亞米利加駱駝
- ミノカサゴ
- ミノゴキ
- ミノルカ
- 三原コッコ
- 三春鳥
- ミミツク
- ミミツク
- ミヅムグラネズミ
- ミヤコシギ
- ミヤコドリ
- ミヤマ
- ミヤマカケス
- ミヤマガラス
- ミヤマシヤウビン
- ミヤマセキレイ
- ミヤマツグミ

- 猛禽類 各地ニ見ル
- 猛禽類 夏季多ク見ル
鶉鴣類 賞玩用卵用ト
シテ飼ハル
- 鳴禽類 大群ナシテ食
物ヲ搜索ス
- 鳴禽類 四時棲息
ケレイ
- 鳴禽類 「ヨコフリセ
ケレイ」
- 鳴禽類 「黒鷓」冬季各
地ニ見ル

ム之部

- ミヤマホシロ
- ミヨウナイスツメ
- ミヨウアタ
- ミユール
- ミツラ・ヨロイネズミ
- ミンク
- ムカシトカゲ
- ムギツキ
- ムギマキ
- ムギメ
- ムクドリ
- ムグラ
- △サ、ビ
- △シナ
- △スクチツシユ
- △スク・ラツト
- 霧島
- △ツ

鳴禽類 夏季稀ニ見ル

- 硬骨類 「コナ」淺海ノ
泥砂中ニ棲ム
- 鳴禽類 冬季群棲シ夏
季分離シテ杉
ノ洞ニ巢
ヲ營ム
- 食蟲類 土中穴居

ムツオビヨロヒネズミ

- ムツゴラウ
- △ツモツ
- △ナギ
- △ナグロ
- 胸赤タヒバリ
- 胸赤蜂鳥
- △フロン羊
- △ラサキシギ
- 紫太陽鳥
- ムロアゲ
- ムロアゲ
- メイダガレヒ
- メイチダヒ
- メカサキ
- メカサチ
- メカネ・カイマン
- メカネ・クマ
- メカネ・バト

硬骨類 有明海名産肉味佳良

- 硬骨類 「ムロアゲ」
- 硬骨魚 體長ハ五六寸
許
- 硬骨類 「コノハガレ
イ」淺海ノ砂
中ニ棲ム

メ之部

- メカネ・ザル
- メカネ・ヘビ
- メキシコイノコ
- メキシコ毒蠍
- メク
- メクラウナギ
- メクラ
- メクラハブ
- メシノウチ
- メシ
- メジロ
- メジロウナギ
- メソヒツバス
- メダイチドリ
- メダイヒタキ
- メダカ
- メナカ
- メツカハブ
- メツケ
- メヒコキモリ

鳴禽類 冬季遊間ヲ群
レ飼ハル、モ
ノ多シ

- 硬骨類 淡水ニ群居ス
ル小魚
- 硬骨類 「マツバガレ
イ」近海ノ砂
中ニ潛ム
- 硬骨類 「鼻折鯛」

○メナダ 硬骨類 横島邊ニテシ
 ○メバチ 硬骨類 「麥魚」近江方
 ○メバル 硬骨類 近海ノ岳礁中
 ○メボリ 硬骨類 「麥魚」淡水ニ
 ○メ、ザツコ 硬骨類 群居スル小魚
 ○メンジロ 鳴禽類 「繡眼兒」
 ○メンシメ 鳴禽類 「繡眼兒」到
 ○メンシロ 鳴禽類 「繡眼兒」到
 ○モウチ 硬骨類 「黒目張魚」近
 ○モウカ 硬骨類 海ノ岩礁間ニ
 ○モウセンボヤ 硬骨類 棲息ス
 毛尾猿 毛腿鷄

最上馬
 ○モアラ 食蟲類
 ○モアラネズミ 食蟲類
 ○モグリ 食蟲類
 ○モグリツチヨ 食蟲類
 ○モズ 鳴禽類
 ○モダマ 鳴禽類
 ○モチガレイ 鳴禽類
 ○モチユイコ 鳴禽類
 ○モチ尾長猿 鳴禽類
 ○モミザドリ 鳴禽類
 ○モイロインコ 鳴禽類
 ○モシロ 鳴禽類
 ○モンガ 鳴禽類
 ○モヨ 鳴禽類
 ○モルモツト 留齒類
 ○モロコ 留齒類
 ○モロコザメ 留齒類
 ○モンツキ 留齒類

ヤーク 有蹄類
 ヤイジ 有蹄類
 ヤイト 有蹄類
 ヤイロツグミ 有蹄類
 ヤイロトリ 有蹄類
 ヤエン 有蹄類
 八重山ガメ 有蹄類
 八重山蝙蝠 有蹄類
 ヤガラ 有蹄類
 ○ヤギ 有蹄類
 ヤギ吸ヒ 有蹄類
 ヤサバ 有蹄類
 ヤシラメ 有蹄類
 野生猫 有蹄類
 ヤセガタナマケモノ 有蹄類
 ヤセザル 有蹄類
 ヤセザルモドキ 有蹄類
 野猪 有蹄類
 ヤツガシラ 有蹄類
 ヤツコダヒ 有蹄類
 谷頭種(豚) 有蹄類
 ヤツトウ 有蹄類
 ヤドモリ 有蹄類

モ之部

ヤ之部

ヤツメ
 ヤツメウナギ
 ヤナギ
 ヤノウチ
 ヤブチ・ガラコ
 ヤブジ
 ○ヤブチヤウマ
 ○ヤブツグミ
 ヤブネコ
 ヤマアラシ
 ヤマイヌ
 ヤマイホ
 ○ヤマウグヒス
 ヤマオロシ
 ヤマカシ
 ヤマガメ
 ○ヤマガラ
 ヤマガラス
 ヤマゲラ
 ○ヤマコウモリ

○ヤマシギ 涉禽類
 ヤマシマウマ
 ヤマセキレイ
 ヤマセミ
 ○ヤマドリ 鷓鴣類
 ヤマホ
 ヤマホズミ
 ヤマノカセギ
 ヤマノカミ
 ヤマハエ
 ○ヤマバト 鳩類
 ヤマアチバエ
 ヤマアト
 ヤマバ
 ヤマメ
 ヤマモグラ
 ヤマモ
 ○ヤモリ 蜥蜴類
 ○ヤリタナゴ 硬骨類

ユキツバメ 鳴禽類 日中ハ閑静ナ
 ○ユキビタキ 鳴禽類 林地ニ隠レ、
 ナ夜沼澤池河畔
 ユダ 有蹄類
 有帶カイマン 有蹄類
 ユビザル 有蹄類
 ユビナシザル 有蹄類
 ユラスズキ 有蹄類
 ユリカモメ 有蹄類
 ○ヤウジウチ 硬骨類 海草中ニ見ル
 ○ヨコオビ響尾蛇 有蹄類
 ○ヨコサエヒ 有蹄類
 ○ヨコフリセキレイ 鳴禽類 流ニ多シ
 ○ヨコヤ 有蹄類
 ○洋犬 有蹄類
 ○ヨシキリ 有蹄類
 ○ヨシツ・キ 有蹄類
 葦原ス・キ 有蹄類
 ○ヨサウジバト 有蹄類

ユ・イウ之部

ユ・イウ之部

翼手類 樹木ノ空洞若
 樹ハ岩窟等ニ
 棲息ス

鳴禽類 單獨若クハ一
 對テ山地ノ松
 樹間テ往來ス

鳴禽類 「目細」

鳴禽類 「白腹」冬季ノ
 ミ見ル

涉禽類

日中ハ閑静ナ
 林地ニ隠レ、
 夜沼澤池河畔
 ナ徘徊ス

鳴禽類 山地ニ産卵シ
 冬季平原ニ下

涉禽類

食肉類

○ヨメカ 揚子江アリゲートル
猛禽類 夏季ニ山間部ニ來遊ス

ヨツワノカモジカ
ヨブコドリ
與平次
ヨロヒダヒ
ヨラリ

ヨロイ・モガラ
ヨロリ

歐羅巴産アザシ
歐羅巴駒鳥

歐羅巴ミソサバ
歐羅巴ビゾン

歐羅巴ミ・ズトカゲ
歐羅巴ヨタカ

ラ之部

雷鳥
ライフリ
ライヤール・パールド
ラターン
ラー手長猿

ループン鷲
類人猿

ルリカケス
ルリカシドリ
ルリヒタキ

レ之部

レオレ
レオバード
レオホ

鵝鷄類 卵用種トシテ賞セラル

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

レオレ
レオバード
レオホ

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

ロ之部

狼魚
ロー鹿

○ヨメカ 揚子江アリゲートル
猛禽類 夏季ニ山間部ニ來遊ス

ヨツワノカモジカ
ヨブコドリ
與平次
ヨロヒダヒ
ヨラリ

ヨロイ・モガラ
ヨロリ

歐羅巴産アザシ
歐羅巴駒鳥

歐羅巴ミソサバ
歐羅巴ビゾン

歐羅巴ミ・ズトカゲ
歐羅巴ヨタカ

ラ之部

雷鳥
ライフリ
ライヤール・パールド
ラターン
ラー手長猿

ループン鷲
類人猿

ルリカケス
ルリカシドリ
ルリヒタキ

レ之部

レオレ
レオバード
レオホ

鵝鷄類 卵用種トシテ賞セラル

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

レオレ
レオバード
レオホ

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

ロ之部

狼魚
ロー鹿

ロツキー山・野羊
ロツキー山・山羊
露西亞セツター
ロビン
ロツプ・イーヤド飼兎
ロセラ
ローリ
ローリス
ロリース

ワ之部

矮小河馬
ワチキツネザル
ワカケ・ホンセイインコ
ワカサギ
ワカナ
ワキン
ワシミ、ツク
ワタナベ
ワタリガラス
ワツトル・パールド
ワヅリツグミ
ワニザメ
ワビチ

硬骨類

ワラビイ
ワラヒ・カハセミ
ワラヒ・ハイエナ
ワラサ
ワリーガル

無脊椎動物

○印玉名郡内所産

ア之部

アイゾウムシ
アウトリダズ・プロリフェル
アウトリダス
アフヒガヒ
アチサムシ
アチガヒ
アチカメムシ

有吻類

大豆 小豆 其他植物ノ害チナ

アチゴミムシ
アチスザウナカ
アチスザヒメハナバチ
アチゾウムシ
アチバトシラミバイ

○ヨメカ 揚子江アリゲートル
猛禽類 夏季ニ山間部ニ來遊ス

ヨツワノカモジカ
ヨブコドリ
與平次
ヨロヒダヒ
ヨラリ

ヨロイ・モガラ
ヨロリ

歐羅巴産アザシ
歐羅巴駒鳥

歐羅巴ミソサバ
歐羅巴ビゾン

歐羅巴ミ・ズトカゲ
歐羅巴ヨタカ

ラ之部

雷鳥
ライフリ
ライヤール・パールド
ラターン
ラー手長猿

ループン鷲
類人猿

ルリカケス
ルリカシドリ
ルリヒタキ

レ之部

レオレ
レオバード
レオホ

鵝鷄類 卵用種トシテ賞セラル

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

レオレ
レオバード
レオホ

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

ロ之部

狼魚
ロー鹿

ロツキー山・野羊
ロツキー山・山羊
露西亞セツター
ロビン
ロツプ・イーヤド飼兎
ロセラ
ローリ
ローリス
ロリース

ワ之部

矮小河馬
ワチキツネザル
ワカケ・ホンセイインコ
ワカサギ
ワカナ
ワキン
ワシミ、ツク
ワタナベ
ワタリガラス
ワツトル・パールド
ワヅリツグミ
ワニザメ
ワビチ

硬骨類

ワラビイ
ワラヒ・カハセミ
ワラヒ・ハイエナ
ワラサ
ワリーガル

無脊椎動物

○印玉名郡内所産

ア之部

アイゾウムシ
アウトリダズ・プロリフェル
アウトリダス
アフヒガヒ
アチサムシ
アチガヒ
アチカメムシ

有吻類

大豆 小豆 其他植物ノ害チナ

アチゴミムシ
アチスザウナカ
アチスザヒメハナバチ
アチゾウムシ
アチバトシラミバイ

○ヨメカ 揚子江アリゲートル
猛禽類 夏季ニ山間部ニ來遊ス

ヨツワノカモジカ
ヨブコドリ
與平次
ヨロヒダヒ
ヨラリ

ヨロイ・モガラ
ヨロリ

歐羅巴産アザシ
歐羅巴駒鳥

歐羅巴ミソサバ
歐羅巴ビゾン

歐羅巴ミ・ズトカゲ
歐羅巴ヨタカ

ラ之部

雷鳥
ライフリ
ライヤール・パールド
ラターン
ラー手長猿

ループン鷲
類人猿

ルリカケス
ルリカシドリ
ルリヒタキ

レ之部

レオレ
レオバード
レオホ

鵝鷄類 卵用種トシテ賞セラル

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

レオレ
レオバード
レオホ

レツド・プレスト
レテル
レトリーパー
レビドシレン
レীগン
レミンガ
レストー羊
レンコダヒ
レンコン
レンドテウ

ロ之部

狼魚
ロー鹿

ロツキー山・野羊
ロツキー山・山羊
露西亞セツター
ロビン
ロツプ・イーヤド飼兎
ロセラ
ローリ
ローリス
ロリース

ワ之部

矮小河馬
ワチキツネザル
ワカケ・ホンセイインコ
ワカサギ
ワカナ
ワキン
ワシミ、ツク
ワタナベ
ワタリガラス
ワツトル・パールド
ワヅリツグミ
ワニザメ
ワビチ

硬骨類

ワラビイ
ワラヒ・カハセミ
ワラヒ・ハイエナ
ワラサ
ワリーガル

無脊椎動物

○印玉名郡内所産

ア之部

アイゾウムシ
アウトリダズ・プロリフェル
アウトリダス
アフヒガヒ
アチサムシ
アチガヒ
アチカメムシ

有吻類

大豆 小豆 其他植物ノ害チナ

アチゴミムシ
アチスザウナカ
アチスザヒメハナバチ
アチゾウムシ
アチバトシラミバイ

アカガネサルハムシ
 ◎アカガヒ 辨鰓類 浅海ノ泥底ニ棲息ス
 ○アカコ 環蟲類 金魚ノ餌等トナス
 アカサシガメ
 アカサソリ
 アカザエビ
 アカザノジンガサムシ
 アカザラ
 アカザラガヒ
 アカサンゴ
 ◎アカシアシ(クマエビ、アシアカ、クロエビ、シヨロウエビ、クロコ) 胸甲類 海産食用
 アカシクロホシ
 アカシヤウ
 ○アカシシミ(ウラギンシヤミ) 鱗翅類
 アカシタバ
 アカシヤウ
 アカシマサシガメ
 ◎アカセミ(アブラセミ、サトセミ、アキセミ、ヤマセミ) 有叻類

◎アカタテバ 鱗翅類 全国至ル所ニ分布ス
 アカツマキリエダシヤク
 アカトンボ(ナツアカ、カネ、マユ、タテアカ、カネ、ノ、總稱)
 ◎アカニシ(卵囊、長刀、腹足類 海産ホーヅキ)
 アカバ
 ○アカバハネカクシ 鞘翅類
 アカハネナガウシカ
 アカヒゲ
 ◎アカフゲツボ 切甲類 海産紅紫色ニシテ一寸位ノ大形
 アカボシテントウ
 アカマイマイ
 アカマダラメイガ
 アカマダガヒ
 アカマルバチ
 赤蟲
 アカモンドクガ
 ◎アカヤマアヲ 膜翅類 奴隷ヲ使役ス
 アカントキテス
 アカントメトラ

◎アキセミ(アブラセミ、ヤマセミ、サトセミ) 有叻類
 秋蟲
 アキネタ
 秋蟻
 アキキガヒ
 悪性熱寄生體
 アクチノトロカ
 アクチノスフエーリアム
 アクチノフリス
 アクチノメトラ
 アクテレーオン
 アクテレス
 アクランタ
 アケラ
 ◎アゲハ 鱗翅類 全国ニ普通
 アゲハヒメバチ
 アゲハヤドリコバチ
 アゲハヤドリバチ
 ◎アゲマキ 辨鰓類 海産雜詰
 アコヤガヒ
 アサガヒ
 アサガホガヒ

◎アサギマダラ 鱗翅類
 アサヒガニ
 ◎アサリ(アサリガヒ、コソテガヒ) 辨鰓類 海産食用
 ◎アサリガヒ(アサリ、コソテガヒ) 辨鰓類 海産食用
 ◎アシアカ(クマエビ、アカンアシ、クロエビ、クロコ、シヨロウエビ) 胸甲類 海産食用
 アシアカヒゲアトハネカクシ
 アシガヒ
 アシナガアモ
 アシナガコガネ
 ◎アシナガダコ(テナガダコ、ヤナギダコ) 頭足類 海産食用 冬季ハ泥中水流ノ急ナル所ニ棲ム
 ◎アシナガバチ 膜翅類 益虫
 アシナガゾウムシ
 アシブトハナバチ
 アシベニイナゴ
 ◎アシマトヒ(ハリガ、ネムシオバコ) 圓蟲類 幼虫ハカマキリノ体内ニ寄生ス
 アシロイモ
 アスコモルファ

アステノソマ
 アシヒドガステル
 アスプランクナ
 アセルス
 ◎アタマシラミ 有叻類 頭髪ニ寄生シテアシナガバチヲ傳染ス
 アタマアト
 アダムシア
 アダムスタマガヒ
 アツガヒ
 アヅキガヒ
 アツアタガヒ
 アツボチカイメン
 アツムシロ
 アトキハマキ
 ◎アトズサリ 蜘蛛類 疊ノ目及縁間ニテ多ク見ル
 ○アトヒザリ 蜘蛛類
 アトボシアチゴミムシ
 アトボシハムシ
 アトマルゴミムシ
 アトランタ
 アナナシマイマイ

◎アナグモ(ザグモ、ハラキリグモ、フクログモ、サムライグモ、ゾボ、ツチグモ) 眞正蛛 枯木ノ根元垣等
 ◎アナジャコ 胸甲類 淡水ト海水ト混合フ所ノ魚ノ餌
 ○アナバチ 雙翅類 普通ニ産ス 成虫ハ人蓋ノ血液ヲ吸收ス
 アニロクラ
 アヒアヒ
 ◎アブ 有叻類
 ○アブラセミ(サトセミ、カナカナセミ、ヤマセミ、アキセミ) 有叻類
 油蜜クラゲ
 ◎アブラムシ(蚜虫) 有叻類 植物ノ液汁ヲ吸フ
 アブス
 アブチアネ
 アマガヒ
 ◎アミ 胸甲類 海産食用又ハ肥料
 ○網貝 苔蟲類 介殼 岩石海藻等ニ附着ス
 アミガサガヒ

- アミガサハゴロモ
- アミメアリ
- ◎アメーバ(流虫)
- アメフラシ
- ◎アメンバウ(アメンチヨ)
- 有叻類 淡水産乾屍ヲ熱サマシトシテ使用ス
- アラヌノメ
- アラムシロ
- アラレイモ
- アラレオトメ
- アラシガヒ
- アラレカニモリ
- アラレタマキビ
- アラレホラ
- アリチン
- ◎アリ
- アリガタハネカクシ
- アリソガヒ
- アリグモ
- ◎アリノチヤヤ
- アルキチバ
- アルキゲテス

原始動物 池沼中ノ藻類ニ附着ス

有叻類 淡水産乾屍ヲ熱サマシトシテ使用ス

膜翅類 普通ニ産ス

膜翅類 蠶豆ノ害虫

- アルキツベ
- アルケラ
- アルテミア
- アレニコラ
- アロナ
- 阿波クロイハマイマイ
- アハザキセル
- 淡路蜆
- アハザタケ
- アハビ
- アハフキムシ
- アハアネ
- ◎アワホウヅキ(バイノ明)
- アハムシオヒ
- アハムシロ
- ◎アンキルス
- アンキロケラス
- アンガイルラ
- アンコレラ
- アンチバテス
- アントブレウラ
- アンドングラゲ

有肺類 淡水ノ藻ノ裏ニ附着ス

有肺類 淡水ノ藻ノ裏ニ附着ス

水母類

- アンフイウラ
- アンフイウラ・スグアマタ
- アンフイボルス
- アンフイリナ
- アンホイナ
- アンボンクログザメ
- アンモナイト
- アンモニテス
- イアヒイタス
- ◎イヒタコ
- ◎イヘシロアリ
- イヘタナグモ
- ◎衣蛾
- ◎イガヒ
- 壹岐ウスカハマイマイ
- 衣魚
- イグチイザム
- イケテウガヒ
- イシガヒ
- ◎イシダタミ

イ之部

頭足類 海産食用

膜翅類 羅紗類中ニ産ス 害虫

前鰓類

- イシダタミアマガヒ
- イシノミ
- 石蛭
- イシマテ
- イシムカデ
- 石山蟹
- ◎衣蝨
- イシツリ
- ◎イセエビ
- イソアハモチ
- ◎磯海綿
- イソガニ
- ◎イソギンチャク
- イソゴカヒ
- イソシジミ
- イソニナ
- イソバセウ
- イソバナ
- イソメ
- 板百合
- イタボガキ

無翅類 衣類害虫 人血ヲ吸收ス

胸甲類 海産 食用殻ハ破傷藥トナル

珊瑚類 海産 一種ヲ食用ニ供ス

- イタヤガヒ
- イタラガヒ
- イテウガニ
- ◎イテウシラトリ
- ◎イチモンジセセリ
- 一寸蟹(源氏蟹、大葉山吹蟹、虛無僧蟹、宇治蟹、石山蟹)
- イツテンオホソイガ
- イツボンセスズズメ
- イツモヒトスザマイマイ
- イトカケキセル
- イトカケノミキセル
- イトカケヘナタリ
- イトカハグモ
- イドテア
- ◎イトトンボ
- ◎イトマキヒトア(コボシ)
- イトマキボラ
- イトマンマイマイ
- イトメ
- ◎イナゴ(ギメ)
- イナミガヒ

辨鰓類 海産食用

辨鰓類 害虫 稻ノ邊リニ住ム益虫

擬膜翅類 池沼ホトリニ産ス

直翅類 害虫

- イヌケシラミ
- ◎イヌジラミ
- イヌジラミバイ
- 犬ノ糞蟲
- ◎イヌノダニ
- ◎犬蚤
- イネウスギ
- ◎イネカメムシ
- イネコアチムシ
- イネゾウムシ
- イネノアザミウマ
- イネノハカシ
- イネノハカシミヅメイガ
- イネノムクゲムシ
- イネムシモドキ
- イネヨトウ
- イノガヒ
- イブキギス
- イブキゴマガヒ
- イブラ
- イボアナゴウ
- イボアナカハニナ
- イボウミニナ

無翅類 犬の害虫

壁虫類 犬ノ害虫

雙翅類 犬ノ害虫

有叻類 稻ノ害虫

イボキサゴ
イボシマイモ
イボソデガヒ
イボタマキビ
イボダカラ
イボニシ
イボヒメトクサ
イボヤギ
イボヨフバ
イボタロウムシ

有吻類 イボタノ樹枝
益虫類 ハ根掛
ニ用フ

◎イムシ(オシゴ、ムシ、タヒノエ、ユムシ)

◎イモムシ(幼虫)

◎醫用蛭

環蟲類 淡水血液ヲ吸
收スルヲ以テ
醫用ニ供ス

◎イラガ(イラムシガ)

◎イラムシ(イラガノ幼虫)

◎イラムシガ(イラガ)イラヨロイ
色ウミウシ
イロサザエ

◎イロキサゴ
(イロビナ)

イハイソメ

◎イハガキ(アジツホ
シメキ、セイガキ)

イハムシ

イハメ

インタラガヒ

インダラケイ

印度蚕

ウ之部

ウエズ

◎ウチシラミ(テフ)

魚蛭

◎ウシアア
ウシエセ
ウシジラミ
ウシノツメ

◎ウシバ
◎ウシバ

◎宇治茶(一寸袋、源
氏茶、石山茶)

ウシムシ
ウスイロヨツモンゴミムシ

辨鯨類 海産玩具ニ用
ヒラル

切甲類 海産肥料

切甲類 魚類ニ寄生ス
害虫

雙翅類 害虫

ウスエグリバ
ウスカ
ウスカハマイマイ
ウスギヌ
ウスタビカ
ウスチャイロマイマ
イ

◎ウスバカゲロフ
(アリシゴク幼虫)

ウスバカミキリ
ウスバシロテフ
ウスバシロタヘ
ウスベニキセル
ウセンヒメキセル

羽前ヤマキサゴ

◎ウチスズメ
ウチハエビ

◎ウチハトンボ

ウチムラサキ
ウズイチモンジ
ウズマキムシ
ウズミキセル
ウズラガヒ

辨鯨類 幼虫ハ害虫

擬脈翅益虫

ウヅラタマキビ

◎ウナドリエビ

◎ウニ(ウミグリ)

ウネウラシマ
ウネクダマキ
ウネボラ
ウネムシロ
ウノアシ

◎ウバガヒ(潮吹貝)

ウバタムムシ
ウバタムムシモドキ
ウマオヒムシ

馬海綿
ウマシラミ
ウマシラミバ

馬ノ螻蛄

◎ウバマイ

◎ウマビル

ウミウサギ
ウミウシ

◎ウミウチハ
ウミウドン

甲殼類

海膽類 海産食用

有管類 海産(泥沙中)
食用

雙翅類 害虫

環蟲類 淡水タニシチ
食ス

ウミエラ
ウミギク
ウミグモ
ウミケムシ
ウミサナダ
◎ウミシダ
ウミシヤホテン
ウミタウナス
ウミトサカ
ウミドングメ
ウミニナ
ウミハネウチハ
海ヒバ
海蛙
ウミビール

◎ウミヘチマ
ウミホタル
◎ウミマツ
ウミヤナギ

海百合
海林檎

◎ウメエダシヤク
(サミダレモドキ)

海綿類 海産

珊瑚類

海百合類

珊瑚類 害虫

◎ウメケムシ
ウメケムシダマゴバチ
ウメノハナガヒ
ウメボシ
ウラウツガヒ
ウラキツキガヒ
ウラキヤマカマイマイ

◎ウラギンシジミ
◎ウラギンサヘウモ

◎ウラギンヘウモン
ウラシマ
ウラスゲマイノソテ
ウラクラゲ

◎ウリハムシ
(ウリバ)

◎ウリハムシ
(ウリハムシ)

ウロコアマ
ウロコケマイマイ
ウネキウ
(カプトガニハチガニ)

ウシモンヒメカクバ

烏尾類 海産

海綿類 害虫

新緑ノ樹上
新緑ノ樹上

新緑ノ樹上

烏尾類 海産

エ・エ之部

營農蟻

- エイメリア・シユベルギ
- エイメリア・スチテエ
- エチリス
- エーガ
- エカキガヒ
- エキネイボトリアム
- エーギネタ
- エキノデレス
- エキノリンクス
- エグリトビゲラ
- エーゲノプシス
- エステリア
- エゾアカシタバ
- エゾアカヤマアリ
- エゾイガヒ
- エゾイシガケガヒ
- エゾオサムシ
- エゾカタヒロオサムシ
- エゾガキ
- エゾキンチャク
- エゾキンチャク

鱗翅類

- 蝦夷クボガヒ
- エゾケンガヒ
- エゾコキセル
- エゾシラチガヒ
- エゾセミ
- 蝦夷タマガヒ
- エゾチヂミボラ
- エゾバイ
- エゾヒメハナバチ
- エゾヒバリガヒ
- エゾフネガヒ
- エゾベニシタバ
- エゾボラモドキ
- 蝦夷マイマイ
- エゾマイマイカブリ
- エゾヤウラク
- エツチウバイ
- エダナナフシ
- エダヒダノミキセル
- エダヒゲタマゴバチ
- エノブルス
- エバニヤ
- エビガヒ

果汁ヲ吸收ス
幼虫ハヒルガ
ホ・甘藷等害

◎エビガラスズメ

- エビスガヒ
- エビスガニ
- エビスチイリス
- エフイラ
- 烏帽子貝
- エホシミザンコ
- エマーシヌラ
- エラムシ
- エンザガヒ
- 鱈脂蟲
- エントアメーバ・ヒストリチカ
- エントニクス
- エンドノキリムシ
- エンドムシオヒ
- エンドマイマイ
- エンマコホロギ

直翅類
大豆小豆粟蕎
麥等ノ嫩芽ヲ
蝕害ス

オ・ラ・ワウ・アフ・
オホ之部

オキイケフアルス

- オホアチトシホ
- オホアカバハネカクシ
- オホアトホシゴミムシ
- オホアメバチ
- オホアヤニシキ
- オホイカ
- オホイシアア
- オホイシガケガヒ
- オキノカガミ
- ◎オホイトトンボ

擬脈翅
池沼ノホトリ
類 益虫

- 奥羽クマイマイ
- 奥羽ヤウラク
- オホウスバカゲロフ
- オウウナミキセル
- オホウラウヅ
- オホウラギンズデヘウモン
- オホウラギンヘウモン
- オウリキユウラリア
- オウリクラリア
- オホチサムシ
- 大ガキ
- オホカスリウスバカゲロフ
- オホカミゴマガヒ

- オホカハトンボ
- オホキセル
- オホキバネハネカクシ
- オホキベリアチゴミムシ
- オホキトンボ
- アフギガニ
- アフギムシ
- 大金ヤギ
- オホグリムシ
- オホクロアブラムシ
- オホクゴキアリ
- オホクマイマイ
- オホゴキアリ
- オホコシタカガシ
- オホコフキコガネ
- オホコベルトゴマガヒ
- オホゴミムシ
- オホサナヘモドキ
- 歐洲産ザリガニ
- オホシマアヅキガヒ
- 大島マイマイ
- オホシママシオヒ
- オホシマモドキキセル

オホシマヤタテ
大蠟蟲蛾

鱗翅類
幼虫ハクチチナ
シノ葉ヲ蝕害

- ◎オホスカシバ
- オホスダレ
- オホスゲコガネ
- オホスチヤタテ
- オホゾウムシ
- チホゾエビ
- 大ソテガヒ
- オホダイコノミムシ
- オホタキコキセル
- オホタキマイマイ
- オホタニシ
- ◎オホチヤバネセセリ
- ◎オホテントウムシ
- ◎オホニシユウ
- オホトラバチ
- オホトカラノミキセル
- ◎オホノガヒ
- ◎オホノカヒ

鱗翅類
海産(泥砂中)
食用

◎オホニウエヤボシ 鞘翅類 害虫
(オホテンタウムシ
ダマシ)

- オホハキリバチ
- オホハサミムシ
- オホハネカクシ
- オホハラチトキセル
- オホハリアリ
- オホヒタチオビ
- オホヒラタゴミムシ
- オホヒラタシテムシ
- オホフタチビドロバチ
- オホベソマイマイ
- オホベツカフガサ
- オホヘボケムシ
- オホボサツガヒ
- 大蚕
- オホマテガヒ

膜翅類 南瓜胡麻等ノ
花ニ集ル

- ◎オホマルバチ
(クロマルバチ)
- オホミズアチ
- オホミノムシ
- アフムガヒ
- オホムシヒキバチ

- オホムシボタル
- オホムラサキ
- オホモンクロバチ
- オホヤマタニシ
- オホヤマトンボ
- オホヨコバチ
- オホリウキウタケ
- オガイトマキボラ
- チガヒ
- 小笠原ウニ
- 小笠原カハニナ
- チガサハラキビ
- チカメメタニシ
- ◎チカミミガヒ
- ◎オカメコホロギ
- チカモノアラガヒ
- オキアサリ
- オキイクアアルス
- オキキセル
- 沖クラゲ
- オキシジミ
- オキナエビス
- オキナハウスカハマイマイ

腹足類
直翅類 粟等ノ害ナ
ス

- オキナハヤマキサゴ
- オキナハヤマタカマイマイ
- オキナハヤマタニシ
- オキニシ
- オキノエラブキセル
- オキノシマキセル
- オキノテヅルモヅル
- オコセノマクラ
- チサムシ
- チサムシモドキ
- チスウスズミ
- チスグロサザナミ
- オスグロシロタヘモドキ
- オシコ
- ◎越年蝶(モンキテフ) 鱗翅類 幼虫ハ野生ノ
豆科植物ヲ食
ス
- オツネントンボ
- オトシブミ
- オトメガヒ
- オトメガサ
- オトメマイマイ
- チドリコガ
- チナガウジ

- チナガウジバチ
- チナガバチ
- オナシカハゲラ
- オナツマイマイ
- オニアサリ
- オニイソメ
- オニグモ
- オニコブシ
- オニナミマガシハ
- オニノツノガヒ
- ◎オニヤンマ
- オハグロガヒ
- オハグロシヤチク
- オバリナ
- オビカレハ
- オビクラゲ
- オビシヤム
- オビトビムシ
- オビヤステ
- オフイアカンタ
- オフイアクチス
- オフイウラ
- オフイオクテン

脈翅類 小蟲ヲ捕食ス

- オアイオクニダ
- オフイオグリフア
- オフイオコマ
- オフイオスリツグス
- オフイオゾマ
- オフイナミキサ
- オフイオムシヤム
- オフイオレビス
- オベリア
- オベリア・ゲニクラタ
- オホヘビガヒ
- オホモモノハチ
- オリイレボラ
- オリパテス
- オリンヂアス
- オルトケラス
- オルブリナ
- チンガヒ
- チンブバツタ

カ・クワ之部

- ◎カ
海鏡(月日貝)
- ◎カヒコ

鱗翅類 人血ヲ吸收ス

鱗翅類 益虫

- ◎カヒコウジ 雙翅類 害虫
- ◎蠶ノ微粒子病蟲 胞子虫 害虫
- ◎カイセンムシ 雙翅類 害虫
- ◎蠅蟲(ハラノムシ) 圓蟲類 害虫
- カヒノダニ
- カヒビル
- ◎カヒミザンコ 介形類
- 海綿蟲
- カイメンガニ
- 借老同穴(カシアミ)
- カホカクシテフ
- カセミガヒ
- ◎カキ 辨鰯類 海産食用
- カギムシ
- ◎蠅牛(カタツムリ) 腹足類 植物ノ葉等ヲ
食害ス
- ◎カクレガニ 胸甲類 蛤・淺利等ノ
体内ニ隠ル
- ◎カゲロフ 脈翅類 幼虫ハ多ク益
ヲナス
- カゴシマノミキセル
- カコボラ
- カサガヒ
- カサハラハムシ

カシミアミ(借老同穴)
カシパン
(イチモンジセ、リ、ハマクリ、ムシ、ツトムシ、コウジウ)

カシハゾウムシ
カシハノ團子浸食汚蜂
カスガコキセル
カスビダリア
カセエビ
カセガニ

腹足類 痔ノ特效薬トノ傳説アリ植ノ葉等チ食ス

カタマイマイ
カツチノエボシ
カツチノカムリ
カツシチハリア
褐色海綿
カド小笠原ヤマキサゴ
カドシタノミキセル

擬脈翅 蚊チ捕食ス

カトリトノボ
カツバムシ(カハツハサミタガメ)

有吻類 養魚ノ害チナス

カツアシガヒ
カツマキノミキセル
カツラガヒ
カナカナセミ(ヒゲラシ)
カナブン
カニノテムシロ
カニビル
カニムシ(アトスザリ、アトヒザリ)
カネグモ
カネタタキ
カノコガ
カノコガヒ
カバヒロコメツキ
カバクチカノコガヒ
カビテラ
カアトガニ(ハチガニ、ウンキウ)
カアトグラゲ
カアトムシ(サイカチムシ)
カアラバチ
カホカクシ

有吻類 幼虫ハ植物ノ根チ害ス

鞘翅類 果樹等ノ害蟲

蜘蛛類

鱗翅類 草叢等ニ多シ

有管類 海水泥沙中食用

有管類 海水泥沙中食用

扁蟲類 害蟲

肝蛭
カントカンパダス
カノノリザ
カンラクダニ

鱗翅類 幼虫ハ胡蘿蔔等チ食害ス

カマキリ(オカメ)
カマクラエビ
カミキリムシ
カミクラゲ
カミソリガヒ
カミナリゲモ
ガムシ
カメノコテントウ
カメノテ
カモドキバチ
カモドキシリアゲムシ
カモノナガハジラミ
カモメガヒ
花紋ダカラ
カヤ
カヤノミカニモリ
黄蟲
カラスイガヒ
カラスウリハムシ

直翅類 小虫チ捕食ス

鞘翅類 幼虫ハ樹木ノ幹チ食害ス(普通テツボウト云フ)

鞘翅類 稻苗數本チ結ビ其ノ中ニ産卵ス

膜翅類 枝尺蠖虫ノ寄食

辨鯿類 淡水産食用

カハラバツタ

カラスガヒ
カラス
カラスノヨド
カラスバアゲハ
カラムシノガ
カリホフイレーウス
カリガネ
カリガネガヒ
カリナリア
カリネラ
カルキノネメルテス
カルマリナ
カハアヒ
カハゲラ
皮珊瑚
カハシンジュガヒ

有吻類 養魚、蛙チ捕食ス

擬脈翅 池沼ノ邊ニ飛翔ス

腹足類 小川、河口、等ノ石間又砂泥中ニ棲ム

ガイコツテフ
ガザミ(リタリガニウミガネ)

胸甲類 海産食用

ガバ
ガムシ
ガレチアス
ガンセキボラ
ガンガセ

ガ之部

カハハラバツタ
蠟蛤(アサリカヒ)
蠟蜆(アサリガヒ)
肝臟ガストマ
カント
肝蛭
カントカンパダス
カノノリザ
カンラクダニ

有管類 海水泥沙中食用

有管類 海水泥沙中食用

扁蟲類 害蟲

キアシコケハネカクシ
キアシドクガ
キアシナガバチ
キアシヒメハナバチ
キアシメダカ
キアムス
キイオホベソマイマイ
キイストピア
紀伊ツムガタキセル
キイテレ
キイテレイス
キイトトノボ
キイドルス
キイムアリア
キイリンドロレベリス
キイロカノコガヒ
キイロスズメ(スズメテフ)
キイロスズメバチ
キイロツノマタモドキ
黄色蜜蜂

擬脈翅 池沼ノ邊ニ飛翔ス

擬脈翅 幼虫ハヤマイモチ食害ス

環虫類

キウシウゴマガヒ
 キエボラ
 キチビヒメハナバチ
 キカイイシマテ
 鬼界キセルモドキ
 キカイノミキセル
 キカイバンダナマイマイ
 寄居蟹
 寄居蟲
 キクヒムシ
 キクザル
 ◎キクスヒ
 キクスヒダマシ
 キクスブメ
 キクビアチゴミムシ
 ◎キクメイシ
 ◎キサゴ(キシヤゴ、
 ビナ)

キスゾノミムシ
 キスゾハムシ
 キセルモドキ
 キダリス
 ◎キチキチバツタ
 ◎キテフ
 キツネガヒ
 キトネルス
 キトビムシ
 ◎キトンボ
 キナレイシ
 キヌカツギ
 キヌガサガヒ
 キヌガサモヅル
 キヌザル
 キヌヂゲンゴロウ
 キヌマトヒガヒ
 キノカハエビ
 キバアマガヒ
 キバタケ
 キバチ

キバネハネカクシ
 キバネホソハネカクシ
 キバフデ
 キビガヒ
 ◎キバツトウ(セスザ
 ススメ)
 キベリアチゴミムシ
 キベリゲンゴロウ
 キホシカミキリ
 キホシトツクリバチ
 キマダラハマキ
 キマルバチ
 キマルトビムシ
 キマハリ
 鬼面蟹
 ◎蟹蛆(カイコノウジ)
 ◎キリウシカガンボ
 ◎キリサレ
 ◎キリギリス
 キロドロブス
 キロドンタ
 キロラナ

鞘翅類 幼虫ハ野生ノ
 葉科植物ノ莖
 ナ食害ス

擬脈翅類 初秋多ク飛翔
 ス

雙翅類 害虫
 成虫ハヨク燈
 火ニ集ル幼虫
 ハ稲苗ノ根ヲ
 害ス

腹足類
 直翅類 草間等ニ多シ

ク之部

キンケムシ
 キンコ(光參)
 キンサルハムシ
 キンシバイ
 ◎金鐘兒(スズムシ)
 ◎キンセンガニ(セセ
 ガニ)アサヒガニ
 キンチヤクガヒ
 ◎キンバイ
 キンブリア
 キンボシハネカクシ

クコハムシ
 クサイロイシダタミ
 ◎クサカゲロフ
 クサイロカノコガヒ
 ◎クサガメ(イネカメ
 ムシ)
 クサキリ
 クサヒバリ
 クサビライシ
 クシコケムシ
 クシヒゲタマゴバチ
 クシヒゲハネカクシ
 クシヤクガヒ
 クシヤクテフ
 クスサン

クダマキガヒ
 クダマキダマシ
 クチキレムシオヒ
 クチトガリ
 クチバズメ
 クチビロタケ
 クチアト
 クチアトカメムシ
 クチベニ
 クチベニオトメ
 クチベニマイマイ
 クチマカリマイマイ
 クチムラサキダカラ
 クヂラガヒ
 ◎クツラムシ
 クトニアス
 クニナ
 クヌギスムシテフ
 クヌギゾウムシ
 クビキリバツタ
 クビキレガヒ
 クビゲロタマゴバチ
 クボガヒ

ギ之部

ギイ
 ギイロダクチイルス
 ギユリキキセル
 ◎蟻蟲
 銀貨クラゲ
 ギンタカハマ
 銀杏蟹
 ◎ギンヤンマ(ヤンマ)

◎ギンヤンマ(ヤンマ)
 擬脈翅類 小蟲ヲ捕食ス

圓蟲類 人体内ノ大腸
 ニ寄生ス

直翅類 竹藪カヤ野ニ
 多シ

クマアリモドキ 胸甲類 海産食用

クマエビ(アカシア)

クマシロウエビ、クマシヨロウエビ、クマシロコ)

クマサカガヒ

クマセミ(シヤアゴ) 有吻類 楨ニテヨク鳴ク幼虫ハ楨ノ根ヲ害ス

クマドリオトメマイマイ

クマドリヤマタカマイマイ

クマノコガヒ

クマバチ(ススメバ) 膜翅類 尺護虫 蟻給等ヲ捕ヘテ幼虫ヲ養フ

クマムシ

クモ

クモガヒ

クモガタヘウモン 鱗翅類 山林ノ新緑上ニ多シ

クモカメムシ

クラダコ

クラスルリナ

クラツサテラ

クラニア

クラバゲラ

クランベツサ

クリイロキセルモドキ

クリイロタネガシマママイマイ

クリイロフデ

クリイロベツカフ

クリイロマルテンキセル

クリオ

クリオケラス

クリオナ

クリケムシ

クリブリナ

クリフレイシ

クリプトキトン

クリプトニスクス

クリプトフィアルス

クリムシカニモリ

クリンナ

クルマエビ

クルマガヒ

クルマズメ

クルマバツタ

クルミハムシ

クレオドラ

胸甲類 海産食用

クレセイイス

クレプイト

クロ

クローアゲハ

クローアナバチ

クローロカヒガラムシ

クローイハオホケマイマイ

クローイハマイマイ

クローウリハムシ

クローエビ(クマエビ) 胸甲類 海産 食用

クローコ

クローホアリ

クローサムシ

クローカタヒロチサムシ

クローカナアン

クローカメムシ

クローサアリ

クローチ

クロークマ(ウシエビ)

クローコ(クマエビ) 胸甲類 海産 食用

クローコガネ

クローザメモドキ

クローシマコキセル

鱗翅類 幼虫ハ柑橘ノ葉ヲ害ス

クロシユミセン
クロスザサラサ
クロスズメ
クロスズメバチ
クロスズメゲンゴロウ
クロタイマイ
(アチスチアゲム)

クロヒラタコガネ
クローモドキ
クローナタリ
クローウツヤク
クローシハムシ
クローマルバチ
(オホマルバチ)

クハトゲエダシヤク
(クハノトゲシヤクトリ、カホカクシテフトゲシヤクトリ、シモフリチダレバ)

クロタイマイ
(アチスチアゲム)
クロタイソソムキセル
クロタマキビ
クロツキセル
クロツケガヒ
クローテフ
クローツチバチ
クロートビムシ
クローナガチサムシ
クローナメクサ
クローバイ
クローハナムグシ
クローハネカクシ
クローバネドロバチ
クローヒカゲ

クローミナシ
クローメグラアア
クローメダカ
クローヤマアリ
クローイトヒキハマキ
クローエダシヤクトリ
クローハガタムシ
クローハカミキリ
クローハカミキリタマゴコバチ
クローハゴ
クローゴマダラヒトリ
クローハムシ
クローゴマダラテフ

クハノミカニモリ
クハノミムシ
クハハムシ
クハヒメハマキ
クハチヤンマイマイ

クローヒトスザマイマイ
クローヒメバチ

クロー心蟲(クハハマキ) 鱗翅類 害虫

クハハマキ
(桑ノ心蟲)

ク之部

ケロメリス
ケンダ
ケンバイウシカ

ケ之部

ケアカカツチアシムシ
ケガヒ

蠶蟻類 害虫

ケジラミ
ケシマツムシ
ケシヤウマイマイ
ケダニ
ケトキルス
ケイトガステル
ケイトデルマ
ケイトノタス
ケイトアテルス
ケハダヒザラガヒ
ケアカガニ
ケマイマイ
ケマンガヒ
ケムシ

○ケヤリムシ
○ケラ
環蟲類
直翅類 稻麥玉葱等ノ
稚根ヲ食害ス

ケラチアム
ケラチデス
ケラトソマ
ケラプス
ケリア
ケリチダフニア
ケリガヒ
ケルコモナス
ケルネス
ケルネス・ノドス
ケルメス
ケルラ
ケンブラチユラス
ケロノビア
ケンエビ
ケンサキ
ケンミゲンコ
ゲオフィルス
ゲジゲジ
ゲラルザア
ゲリオニア

ゲ之部

蝶蠶類 陰氣ナル所ニ
多シ 蠶及昆
蟲ヲ捕食ス

○ゲンゴロウ
ゲンゴロウダマシ
ゲンゴロウモドキ
◎源氏螢(宇治、
一寸螢石山登)
コ・カウ・コウ・ク
ワウ之部
コアチハナムグリ
コイカ
小衣蛾
コイボテツレイシ
コウジウ
コエゾホラモドキ
コエビガラスズメ
カウイカ
◎コオヒムシ(ヒルメ) 有吻類 淡水 雌ハ雄
シモチ、メシモチ) ノ脊ニ這ヒ上
リテ産卵ス
コオニコアシ
コオニツノガヒ
コオホベソマイマイ
コオニヤンマ
○ゴウカアブ(コウカ 雙翅類 便所ノ附近ニ
集ルコト多シ)

◎コウガヒル(斧狀) 扁蟲類 湿地ニ棲息ス
◎コウカバイ(コウカ 雙翅類 便所ノ附近ニ
アブ)

コウカコガネ
カフダカアチガヒ
カフダカタマキビ
カフダカマツムシ
カウベマイマイ
蠅ノダニ

◎行夜(ミイテラハン
メウ、ヘヒリムシ)
鞘翅類 塵屑等ニ多シ
小蟲ヲ捕食ス

◎蛤仔(アサリガヒ)
有管類 海産 食用

◎コホロギ(蠅蟬)
直翅類 陰地ニ棲息ス

コホロキス
無管類 海産 食用

◎蛤蜊(ハマグリ)
コガシラゴミムシ
コガシラハネカクシ
コガタゲンゴロウ

◎コガタコノハ(コス
デユノハ、アカエグ
リバ)
鱗翅類 桃梨葡萄等ノ
果汁ヲ吸フ

○コガタノズメバチ
コガタツチアシムシ
コガネガモ
コガネゴミムシ
鞘翅類

コガネマルバ

◎コガネムシ

◎コカマキリ

コガモガサ

コガモカヒ

コガンセキ

コキイロトラカミキリ

◎殺蟻

◎コクゾウムシ

コクヌスト

コケムシ

コクロツチバチ

コサクエビ

◎コシアキトンボ

コシホカラトンボ

コシキノマラ(ウミシヤボテン)

コシダカアマガヒ

コシタカエビス

コシダカエヒ

コシダカコベソマイマイ

コシダカサザエ

コシダカガンガラ

鞘翅類 柿 葡萄等ノ
葉ヲ食ス
直翅類 小蟲ヲ捕食ス

鞘翅類 害虫
鞘翅類 穀粒ヲ食害ス

擬翅脈類

コシダカチヤイロマイマイ
コシボソキバチ
コシボソトンボ
コシマゲンゴロウ
コシマヤタテ
コシロガヒ
コシロタヘ
コスギカミキリ
コスズメ
コスデキセル
コスデキビ
◎コスデコノハ(エガ
タコノハ、アカエグ
リバ)
コセミ
コザムキカゲロウ
コダキガヒ
コタマガヒ
コチイロリザ
コチニール
コツチハンメウ
コツメガヒ
コチヤタテ
コトラマルハナバチ

コナムシ
コナメウツアブ
コニヤキセル
コニハススメ
コニハハンメウ
コノキルス
コノハテフ
コハクダマ
コハゲキセル
コバネカハゲモ
コバネゴキブリ
コハンメウ(コニハ
ススメ)
コヒメハナバチ
コブイカ
コブウナカ
コブカメムシ
コフキゾウムシ
コアシガニ(チカラ
ガニ)
コブムシロ
コベツマイマイ
コバルトカニモリ
コバルトゴマガヒ

◎コホロギ(キナメ) 直翅類 粟等ヲ食害ス
コホシ
コマセ
コマチ
コマルハナバチ
◎コミヅムシ 有翅類 淡水ヨリ燈
火ニ來ル
コムカデ
コムソウホタル
◎コムラサキテフ 鱗翅類 幼虫ハ柳ヲ食
ス
◎コメツキムシ 鞘翅類
コモンイモ
コモンガヒ
子守リチスルナマコ
子安貝
コヤマトンボ
コヤウラグラゲ
コリケイアス
コリネ
コルナスヒラ
コレンボラ
コロゾアム
コロフイアム

◎コロモガヒ
◎コロモシラミ(衣蟲) 蟻類 害虫
コンドラカンタス
コンバイトウ
コンボウアメバチ
コンボウキセル
コンボウヤセバチ
コンボルト
◎ゴ之部
◎ゴイシウラバシジミ 鱗翅類 幼虫ハ竹ノ芽
ヲ食ス
◎ゴイシハマゲリ
◎ゴカヒ(ワミヒル) 環蟲類 釣魚ノ餌トス
◎ゴキブリ 直翅類 糞所ノ食品ヲ
(ゴツコアリ) 食ス
五色蠶蝶
ゴシキセミ
◎ゴナ(ヤドカリ) 胸甲類 海産 食用
ゴニアステス
ゴニイレブダス
ゴホウラ
ゴマガヒ
ゴマダラカミキリ

サ之部

◎ゴマダラテフ 鱗翅類 樹上ニ多ク
飛翔ス
ゴママダラノシガヒ
ゴマフイモ
ゴミアシナガサシガメ
ゴミカメムシ
ゴミグモ
◎ゴミムシ 鞘翅類 圃地ノ雜草間
ニ多シ
ゴミムシダマシ
◎サイカチムシ 鞘翅類 糞等ノ樹液ニ
(カブトムシ)
サイナガ
サガルチヤ
◎サグサン 鱗翅類 幼虫ハナラク
ヌギカシハ等
ノ葉ヲ食ス
サクラエビ
サクラコガネ
サクラヤギ
サザエ
◎ササガカメムシ 有翅類 荳科植物ヲ食
害ス
ササノハ
ササヨコスデカヒガラムシ

サソリモドキ
サツクリナ
◎サトセミ(アカセミ 有翅類 幼虫ハ樹根ヲ
食害ス)
アブラセミ
サドチカマメタニシ
サツプイリナ
札幌マイマイ
サツマツブリ
サツマビナ
サナヘトンボ
サナダユムシ
サノセカヒガラムシ
サビキコリ
サビタマムシ
サビハネカクシ
鯨石
サメザラ
サメヅラミ
サメダカラ
◎サミダレ(トンボエ 鱗翅類 櫻林檎 李等
ノ害虫)
サミダレモドキ 鱗翅類 梅アンス等ノ
(ウメエダシヤク) 害虫
サムライアリ

◎サムライアモ 真正蜘蛛類
(アダモ、ハラキリダ
モ、ツチグモ、フクロ
グモ、ジボ、アナ
グモ)
サヤガタイモ
◎サラガヒ 有管類 海産 食用
サラサバタイ
サラサヒトリ
サラサマクラ
サラサミナシ
サラサモンガ
◎サルエビ 甲殼類
サルサンザコ
ルサシエラ
サルノカシラ
◎サルノマクラ 船形海 海産
(ガコセノマクラ)
◎サルハムシ 船形海 海産
◎サルビンゲイカ 船形海 海産
◎サルボウ(モガヒ) 有管類
◎サハガニ 有管類
サンインマイマイ 胸甲類 山間ノ流溪ノ
サンシヨメダカ 石間ニ匿ル

- ◎三化螟蟲(ヒトホシ) 鱗翅類 稻ノ害虫
- ワラホソバイツテン
- カホメイガ)
- ◎三番叟蜘蛛(ヤマコ) 眞正蜘蛛
- ア)(シヨロウケモ)
- 三葉蟲

サ之部

甲殻類

シ之部

- シイカンドラ
- シイノミミミガヒ
- シイノミヨフバイ
- シイホルトキセル
- シインビオテス

- ◎シホカラトシホ 擬脈翅 小蟲ヲ捕食ス
- (シホヤトシホ)
- ◎シホフキ(サバガイ) 有管類 海産 食用
- ◎シホヤアア 雙翅類 小蟲ヲ捕ヘテ 食ス
- ◎シホヤトシホ 擬脈翅 小蟲ヲ捕食ス
- (シホカラトシホ)

- シギアアラムシ
- シギゾウムシ
- シゲドウムシ
- シコケキセル
- シコロガヒ
- シシビガヒ
- ◎シジミ
- シストケフアルス
- シメクチマイマイ
- シタカバカクバ
- シタダミ
- シタムシ
- シダ
- シダレザクラクラゲ
- シテムシ
- シドロ
- シナブタ
- シノマキ
- シバエビ
- シブングルス
- シホボラ
- ◎シホマネギ
- (カタアシガニ)

辨鰯類 淡水 食用

胸甲類 佐賀ニテハ蟹 味噌ヲ作りテ 食ス

- シボリガヒ
- シボリタカラ
- シマアザミウマ
- 志摩蝦
- シマガニ
- シマカハグモ
- シマゲンゴロウ
- シマトビケラ
- シマハムシ
- シマババ
- シマルトビムシ
- シマヤタテ
- ◎シジミ
- シミズガヒ
- シモケフアルス
- シモフリスズメ
- シモフリシジミ
- シモフリチゲレバ
- ◎シヤアシヤアセミ
- (クマセミ、ムマセミ)
- ワシワシセミ)
- シヤクシガヒ
- 尺八貝
- シユモクガヒ
- 彈尾類 衣類ヲ害ス
- 有吻類 糠ニテヨク鳴ク幼虫ハ植物ノ根ヲ害ス

- ◎シヤコ(蝸蝓) 胸甲類 海産 食用
- (アラツヤク)
- シヤコ(珠梨) 琉球小笠原産貝類)
- ◎シヤミセンガヒ 無管節(腹足類) 海産
- (メクラツヤ、オトメ貝)
- シユモクガヒ
- シユモクガキ
- 首里ケマイマイ
- 首里マイマイ
- シヤウツヤウガヒ
- ◎シヤウツヤウトシホ 擬脈翅 小蟲ヲ捕食ス
- (コチ(シホ)
- ◎シヤウリヤウバツタ 直翅類 野原 草肥ニ
- (トシヤンギメ、ハダオリギメ)
- シライトガヒ
- シライトマキ
- シラチガヒ

- ◎シラガタロウ 鱗翅類 幼虫ハクス、ハセ、ホアラ等ノ葉ヲ食害ス之ヨリテゲスヲ製ス
- シラクモガヒ
- シラクモゾウムシ
- ◎シラケエビ

- シラス
- シラタス
- シラタマツバキ
- シラトリガヒ
- ◎シラミ
- シリアカドロバチ
- シリアゲムシ
- シリエラ
- シリガレキセル
- シリス
- シリス・アロリアエラ
- シリボソキキセル
- シララチユリス
- ◎シロアリ
- シロインコ
- シロエビ
- シロガヒ
- ◎シロクラゲ
- (ミツクラゲ、ヨツメクラゲ、モチクラゲ、ユフレクラゲ)
- シロコナムシ
- 白珊瑚
- シロシタホタルガ
- 有吻類 害虫
- 擬脈翅 木材ヲ食害ス

- シロシタバ
- シロスゲアチヨトウ
- シロスゲカミキリ
- シロチフ(貝類)
- シロトビムシモドキ
- シロナミキセル
- シロネズミ
- シロホシオホハナムグリ
- シロマイマイ
- シロモンウンカ
- シンコリネ
- 眞珠貝
- シンジュサン
- シンチウ(モエビ)
- ナアプトマス
- ◎ナイガセ(ヒザラガイ)
- 住血吸蟲
- 住血絲狀蟲
- 十七年蟬
- ◎十二指蟬蟲
- 十文字水母
- ナガバチ
- 圓蟲類 害虫

チ・シ之部

翼足類 海岸ノ岩石等(腹足類)ニ吸着ス

◎ダグモ(ハラキリグ 眞正蜘蛛類
モ、フクログモ、サ
ムライグモ)

ダスキナ
ダスコルピナ
◎ダストマ
ダゲニアム
ダタロウマイマイ
ダバチ

吸虫類 害虫

ダフイエス
ダフルギア
ダボルバ
ダムキカゲロフ
ダムシ

○ジメキ(フツツホ、切甲類 肥料 食用
セイガキ、イハガキ)

◎ジヤカウアゲハ
(ヤマシヨウカウ)

鱗翅類 幼虫ハカガイ
モノ葉ヲ食ス
岩崎附近ニ
多シ

蛇ノ目質
ジヤノメテフ
ジヤムシ
ジユセイラ
ジユタンガ

ジュドウマクラ
ジヨカイボン

◎繭蟲

ジヨナシテフ

扁虫類 人体ニ寄生ス

◎ダヨロウエビ
(クマエビ、クニコ、
アシアカ)

胸甲類 海産 食用

◎ダヨロウグモ

眞正蜘蛛類

アナバチ
地籠(ダガバチ)
ジンガサハムシ
ジンガサムシ
腎蟲

ス之部

人類マリアア蟲
人血フイラリア
水字貝

◎スカシダハラ
(クササンノ蘭)

鱗翅類 幼虫チシラガ
タロウト云フ

スカシカハゲラ
スガヒ
スイシヤウガヒ
スガヒ
スカシバハゴロモ
スカフアンデル

スカフイテヌ
スカフチレグリス
スカプトアテラ
スカラア
スカルハラム
スキイレリア
スキカミキリ
スキコガネ
スキノアカカミキリ
スギノハシ
スキバホウシヤク
スクロビクラリア
スケバハゴロモ
スゲムシ
スゴカヒ
◎スズバチ

膜翅類 泥土ニテ巢ヲ
作り尺護虫類
給等ヲ捕ハル
育ス

スズメガヒ
◎スズメバチ(クマバ
チ、ヤマバチ)

膜翅類 尺護 蟻給等
ヲ捕ヘテ幼虫
ヲ養フ

◎ススムシ
スソムラサキダカラ

直翅類 草間ニ棲ム

スタトアラスト
スタレガヒ
スタレハマグリ
スチイラスター
スチイラリア
スチイロドリル
スチイロニキア
スチアチゴミムシ
◎スチアロテフ

鱗翅類 モンシロテフ
ト共ニ飛翔シ
幼虫ハ十字科
植物ノ害ヲナ
ス

スチアグロスキバホウゲヤク
スチアグロニシキニナ
スチケシガヒ
スチヂムキ
スチトビゲラ
ステノストマ
ステアアノケロス
ストロンギルス
スチウミグモ
スチノミ
スチテラ
スチオ

スヒルラ
◎スピロルピス

環蟲類 海岸ノ岩石
ニ附着ス

スフェルラリア
スフエロフリア
スベリテス
◎スミナガシ
ススムシテフ
スルガキセル
スルメイカ
スルメトンキウ
スワリガヒ

鱗翅類

頭足類 海産 食用

ズ之部
ズイムシアカタマゴバチ
ズイムシククタマゴバチ

セ之部

セアカチサムシ
セアカゴミムシ
セイガヒ
◎セイガキ(フツツホ 切甲類 海産 肥料
イハガキ、ジメキ)
セチビタマゴバチ
西施舌

◎セジロウシカ

有吻類 禾本科植物ノ
害虫

セスゲイトトンボ
◎セスアスズメ
(キベツトウ)

鱗翅類 幼虫ハ里芋ノ
葉ヲ食ス

セスゲツチイナゴ
セスゲツユムシ
セスゲトビムシ
セスゲハネカクシ
セスゲハリバイ
瀬田蜆
セツツホニグモ
セトガヒ
セホシヨウガイ
セミアサリ
セミエビ
セミヤドリガ
セルカリア
セルチエラリア
セニゲアム
◎セルブラ
センチコガネ
センネンガヒ

環蟲類 海岸ノ岩石
ニ附着ス

センブリ

ゼ之部

セイキセル

ソ・サウ之部

ソコカドエンザ

ソテカプト

ソルプガ

ソルマリス

ゾ之部

◎草履蟲 原始動物

タ之部

◎タイコウチ (ユリノハナスイ)

タイノエ

タヒノシホムシ

タヒノムシ

◎タイラガヒ (タイラ 鱗翅類 海産 食用)

ギ、タテガヒ

◎タイラギ (タイラガ 鱗翅類 海産 食用)

ヒ、タテガヒ

タイランキセル

タイランクサセミ

タカアシガニ

タカノナガハシラミ

タガヒ

◎タガメ (カツバムシ 有吻類 淡水養魚又ハ)

カハズハサミ、アシ トリガメ)

タガヤサンミナシ

タカラガヒ

タキカハオホベソマイマイ

タケケムシ

タケノコガヒ

タケノコムシ

◎タケノトラフカミキリ (ナナフシムシ) 直翅類

タケノベニカミキリ

タケノホソクロバ

◎タコ

◎タコクラゲ

◎タコノマクラ (リウウグウノカサ)

タコブネ

タシママイマイ

タテハマキ

タチイカ

タニイカ

◎タツボ (タニシ、タ 腹足類 淡水産 食用)

ツブ、タノシ、タンタ

◎タツビ (タニシ、タ 腹足類 淡水産 食用)

ツブ、タノシ、タンタ

◎タツア (タニシ、タ 腹足類 淡水産 食用)

シボ、タノシ、タンタ

◎タナグモ 眞正蜘蛛根等

◎タニシ 腹足類 淡水産 食用

タネガシマキセル

タネガシマゴマガヒ

タネガシママイマイ

タマガヒ

タマキビ

◎タマナヤガ (根切蟲 鱗翅類 幼虫ハ蔬菜ノ)

害チナス

◎タマムシ 鞘翅類 松等ノ害虫

タモトガヒ

タラシコラ

タラバガニ

タルダカラ

タルマハシ

タルリリテス

タ之部

◎ダイコムシ (サルハ 鞘翅類)

ムシ、サル)

◎ダイコンハムシ 鞘翅類

(サルハムシ、サル)

◎ダイメウガヒ 鱗翅類

◎ダイメウガセリ 鱗翅類

◎ダイメウハネカクシ 鱗翅類

◎ダイアラランクス 鱗翅類

◎ダフネラ 鱗翅類

◎ダルマウミウシ 鱗翅類

◎ダンダラテフ 鱗翅類

◎ダンゴバチ (モンク 膜翅類 林間ニ圓球狀

マバチ、モンクス、メ

バチ)

◎ダンベイキサゴ 膜翅類

◎チイサノゾーン 鞘翅類

◎チイレンクス 鞘翅類

◎チウレンジバチ 鞘翅類

◎チクサクサバ 鞘翅類

◎チシマバイ 鞘翅類

チヂミフトコト

チヂミボラ

チトセガヒ

チトセボラ

千鳥介

チドリダカラ

チヒロガヒ

チヒツヤヒメハナバチ

チビドロバチ

チビヒメハナバチ

チムシ

チヤイロゲンゴロウ

チヤイロコガネ

チヤイロシギノハシ

チヤイロノミキセル

チヤイロマイマイ

チヤドクガ

チヤノミノガ

チヤバネゴキアリ

チヤマダライトカケ

チユビコラリア

チヨツキリムシ

チリメンイリコ

チリメンダカラ

チリメンボラ

チリボタン

チロリ

チンミ

◎テフ (ウチシラミ) 切甲類 魚類ニ寄生ス

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフトンボ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

◎テフガヒ 擬脈翅類

- ◎ツクツクボウシ 有吻類
- (ツクジヨ、フエセミ)
- ◎ツチイナゴ 直翅類
- ツチスガリ
- ◎ツチバツタ 直翅類 圃地
- ツチハンメウ
- ツチムカデ
- ツツガヒ
- ツツガキ
- ◎ツツミガヒ 鱗翅類 幼虫ナシラガ
- (ハセムシ、リスサン)
- ◎ツツリノニシキ 鱗翅類 幼虫ナシラガ
- (ハセムシ、リスサン)
- ◎ツトムシ 鱗翅類 山地
- ◎ツノトンボ 脈翅類 山地
- ツノナシサザエ
- ツノハキリバチ
- ツノマタモドキ
- ツノモヅル
- ツノヤシホ
- ツノレイシ
- ツバキカドマイマイ
- ツバクロナガニシ
- ツバサクラゲ
- ツブラリア

- ツボセンボン
- ツボミ
- ツマアカコガシラハネカクシ
- ◎ツマキテフ 鱗翅類 四月頃一回ノ發生チナス
- ツマキヒメハナバチ
- ツマキンウハバ
- ◎ツマクロキテフ 鱗翅類
- ツマクロステバ
- ◎ツマクロテフ 鱗翅類
- ◎ツマクロトビゲラ 鱗翅類
- ◎ツマクロメダカラ 鱗翅類
- ◎ツマクロヨコバイ 有吻類 稻ノ害虫
- ツマガタキセル
- ツマガタノミキセル
- ◎ツメダガヒ(ツバタ) 腹足類 海産 食用
- ツヤエンザ
- ツヤキセル
- ツヤヒメハナバチ
- ツヤマイマイ
- ツリガネガヤ
- ◎ツリガネムシ 織毛蟲類

- ツルボソテブルモヅル
- テ之部
- ◎テグス(グスサン、シラガタロウ) 鱗翅類 幼虫ナシラガ
- ◎テグスガ(グスサン、シラガタロウ) 鱗翅類 幼虫ナシラガ
- ◎テグスノテフ 鱗翅類 幼虫ナシラガ
- ◎テツボウムシ(カミキリ虫ノ幼虫) 鞘翅類
- テツボラ
- テツヤタテ
- テヅルモヅル
- テツレイシ
- テトラゴネウラ
- テトラステンマ
- テトラニイグス
- テトラリンカス
- ◎テナガエビ 胸甲類 淡水 食用
- ◎テナガゲモ 頭足類 海産 食用
- ◎テナガダコ、アシナガダコ 節甲類 陰濕地 米飯ト共ニ練リテ藥物ノ膏トシテ用フ
- テレバス
- テングガヒ

- ◎テングスケバ 腹足類 海産 食用
- ◎テングニシ 腹足類 海産 食用
- ◎テントウムシ 鞘翅類 蚜虫ヲ捕食ス
- ◎テントウムシダマシ 鞘翅類 蔬菜ノ害虫
- テ之部
- テルマトコブテス
- テルマトテグテス
- テルマトフアグス
- テルマニイツサス
- テロ
- テンドロクリヌス
- テンドロケーラム
- テンドロソマ
- タウイト
- タウガタカハニナ
- タウカムリ
- トウキン
- ◎トウスミトンボ 鱗翅類 池沼ノ邊ニ飛
- (イトトンボ)
- ダウチサ録蟲

- タウナス
- トウマキ
- トガリハナバチ
- トキハガヒ
- トキメケラス
- トクサガヒ
- トクサキセル
- トクササンゴ
- トゲアメフラシ
- トゲアリ
- トゲウネガヒ
- トゲシヤクトリ
- トゲナナフシ
- トコアシ
- トシムシ
- ◎トタテゲモ 眞正蜘蛛類
- トツクリバチ
- 突進アリ
- ◎トノサマバツタ 直翅類 圃地 害虫
- ハタオリ
- トビイロウンカ
- トビイロカヒガラムシ
- トビイロケアリ

- トビイロスズメ
- トバイソニナ
- ◎トビカツチアシムシ 鞘翅類
- トビナナフシ
- ◎トビムシ(ハネムシ、ネコムシ) 節甲類 陰濕地 米飯ト共ニ練リテ藥物ノ膏トシテ用フ
- トボシクビボソハムシ
- トマヤガヒ
- トミガヒ
- ◎トモエガ(ヤマトトモエ) 鱗翅類 林間
- トモアテリス
- トモンハナバチ
- トラキア
- トラバチ
- ◎トラフカミキリ(クハトラムシ、トラムシ、ハチカミキリ) 鞘翅類 桑ノ害虫
- トラフクダマキ
- トラマルハナバチ
- ◎トラムシ(トラフカミキリ、ハチカミキリ) 鞘翅類 桑ノ害虫
- トリオバ

- トリガヒ
- トリキナ
- トリグモ
- トリコソマム
- トリストマ
- トリトニア
- トリノアシ
- トリノフンダマシ(蜘蛛)
- トリバノシリス
- トリバノゾーマ
- トリロヒタ
- トロコソフエラ
- トロンボエダシヤク(サミダレ)

トノ部

- ドワガネブンブン
- ドールキセル
- ドクガ
- ドクグモ
- ドクロガ
- ドバチ
- ドブガヒ
- ドブシジミ

鞘翅類 葡萄ノ葉ヲ食ス

- ドラベラ
- ドリライムス
- ドレイセンシア・ホリモルフア
- ドロハムシ
- ドンデルシア
- ナイス
- ナイス・プロボスキテア
- ナウシトエー
- ナガイトマキボラ
- ナガチカモノアラガヒ
- ナガガキ
- ナカクホエンザ
- ナガケシガヒ
- ナガサキアゲハ(ヤラスバアゲハ)
- ナガシヤゴ
- ナカタエンザ
- ナガタニシ
- ナガチチミボラ
- ナガトビムシ
- ナガナ
- ナガヘウタンゴミムシ

鞘翅類 幼虫ハ柑橘ノ葉ヲ食ス

ナ之部

- ナカハグロトンボ
- ナガヤウラククラゲ
- ナガラミ
- ナガレコ
- ナガレムシ
- ナキイナゴ
- ナシカヒガラムシ(ヒガラムシ)
- ナシヤダカラ
- ナゲナ
- ナツアカネ
- ナツセミ(ニイニイセミ、チツチセミ)
- ナツメモドキ
- ナデシコガヒ
- ナナホシテントウ
- ナノミハムシ
- ナマコ
- ナミマガシハ
- ナミキセル
- 腹足類 海産 食用
- 卵囊ナ「ゲンバイホウジキ」ト云フ
- 有吻類 梨等ノ害蟲
- 擬脈翅 小蟲ヲ捕食ス
- 右吻類
- 鞘翅類 蚜虫ヲ捕食シテ益ヲナス
- 沙蟻類 海産 食用
- 辨體類 海産

- ナミコキセル
- ナミノコ
- ナメウジ
- ナメクジ
- ナラシゴガタマバチ
- ナラダンゴタマバチ
- ナルトボラ
- ナリアカネ
- 那覇キビ
- ナンキンゼミ
- ナンカフ

腹足類 大樹ノ洞穴等

腹足類 植物ヲ食害ス

ニ之部

- ニヒタカアヅキガヒ
- ニイニイセミ(ナツチセミ、ナツセミ)
- ニ化蝶(メイガ、ワライロホソバ)
- ニガアハビ
- ニキビムシ
- ニクバクバ
- ニシキアマチアネ
- ニシキウツ
- ニシキガヒ

有吻類

鱗翅類 稻ノ害蟲

蠶蟲類

- ニシキミナン
- ニシキニナ
- ニシキノキバ
- ニナバク
- ニホガヒ
- ニホンマイマイ
- ニハスズメ
- ニハトコドクガ
- ニハトリナガハシラミ
- ニハトリハシラミ
- ニハハンメウ
- ニフオス

又之部

メカボタル(平家螢) 鞘翅類 汚水ノ邊ヒメボタル

ネ之部

- ヌカク
- ヌノメアサリ
- ヌノメガヒ
- ヌノカハニナ
- ヌマエビ
- ヌリツヤノミギセル
- ヌリツヤヤマキサゴ
- ネチメニア
- 根切蟲(タマナヤガ) 鱗翅類 幼虫ハ蔬菜ノヤハスミツボシ
- ネキノアザミウマ
- ネコガヒ
- 猫蠅
- ネザガヒ
- ネザマガキ
- 鼠蚤
- ネバリア
- ネバリアチアブシ
- ネフエリス
- ネロキラ
- ネンネホタル
- ノウサンゴ
- ノコギリカミキリ
- ノコギリクワガタ
- ノコギリサナグムシ
- ノシガヒ
- ノシメトンボ
- ノトデルフイス
- 鞘翅類 松杉等ノ樹幹ヲ害ス
- 鞘翅類 檜櫟等ノ害ヲナス

- ヒゲナガササキリ
- ヒゲナガトビケラ
- ヒゲナガトビムシ
- ヒゲナガバチ
- ヒゲアトアリヅカムシ
- ヒゲアトコムムシダマシ
- ヒゲアトハネカクシ
- ヒゲマハリ
- ◎ヒザラガヒ(ザイガセ)異足類
- ヒシウシカ
- ヒシガヒ
- ◎ヒシガニ(ヒウチガニ)胸甲類
- ヒシコアシガニ
- ◎ヒシバツタ
- 直翅類
- ヒシモンヨコバイ
- ヒシヤウラク
- ヒセンツクシ
- ◎ヒセンノムシ
- 常陸マイマイ
- ヒダチナ
- ヒダリマキマイマイ
- ◎ヒツジケジラミ
- 蟹類
- ヒツジシラミバイ

- 羊蠅
- ヒトスヂマイマイ
- ヒトツメヨコバイ
- ◎ヒトテ
- 海星類
- ◎人蚤
- ヒトハマキ
- ◎ヒトホシワラホソバ
- (三化蠟蟲、イツテン
- ホホメイガ)
- 鱗翅類
- ◎ヒドラ
- 水母類
- ヒドラクチニア
- ヒトリガ
- ヒナガヒ
- ヒナヅル
- ヒバリガヒ
- ヒマンタリヤム
- ヒミズガヒ
- ◎ヒメアカタテバ
- 鱗翅類
- ◎ヒメアカホシテ
- 鞘翅類
- ヒメアサリ
- ヒメイトマキホラ
- ヒメイナミガヒ
- ヒメウネムシロ

- ヒメエゾホラ
- ◎ヒメウラナミジヤノ
- 鱗翅類
- メ(ヒメジヤノメ)
- ヒメチカモノアラガヒ
- ヒメオリイレムシロ
- ヒメカサキビ
- ヒメカタマイマイ
- ヒメカドエンザ
- ヒメカニモリ
- ヒメカノコガヒ
- ヒメガムシ
- ヒメカラスガヒ
- ヒメカハグモ
- ヒメキスヂバチ
- ヒメギフテフ
- ヒメクロウハバ
- ヒメクロオトシアミ
- ヒメクロタマゴバチ
- ヒメクロハネカクシ
- ヒメクロホウシヤク
- ヒメクワガタ
- ヒメクハノミカニモリ
- ◎ヒメコガネ
- 鞘翅類
- ヒメコザラ

- ヒメコアシガニ
- ヒメコシホソトンホ
- ヒメゴマダラヒトリ
- ヒメサンインマイマイ
- ヒメシラトリガヒ
- ヒメジヤノメ
- ヒメスギカミキリ
- ヒメスズバチ
- ◎ヒメスダレ
- ヒメセトモノガヒ
- ヒメゾウムシ
- ヒメタマゴマイマイ
- ヒメタマムシ
- ヒメツキガヒ
- ヒメテツヤタテ
- ヒメトビウシカ
- ヒメドロバチ
- ヒメナガツノガヒ
- ヒメナミキセル
- ヒメニハトリナガハジラミ
- ヒメネザガヒ
- ヒメハキリバチ
- ヒメハナバチ

- ヒメハムシ
- ヒメハルセミ
- ヒメヒチドシ
- ヒメフヂツボ
- ◎ヒメベツコウバイ
- (クソバイ)
- 雙翅類 人糞上ニ集ル
- ヒメホウシヤク
- ヒメホシダカラ
- ◎姫蟹(平家蟹)
- 鞘翅類
- ヒメホネガヒ
- ヒメマツムシ
- ヒメマルカツチアシムシ
- ヒメミクリガヒ
- ヒメムシロ
- ヒメモノアラガヒ
- ヒメヤコブキセル
- ヒメヤタテ
- ヒメヤマクルマ
- ヒメヤマトンホ
- ヒメヤママイ
- ヒメヨフバイ
- ヒメヤウラク
- ◎ヒモクラゲ
- 水母類

- ◎ヒメルリハネカクシ
- 鞘翅類
- (アナバハネカクシ、
- アチバアリガタハネ
- カクシ)
- ヒモワタカヒガラムシ
- ◎ヘウタンゴミムシ
- 鞘翅類
- ヒラオホケマイマイ
- ヒラサザエ
- ヒラタクハガタ
- ◎ヒラタグモ
- 眞正蛛蟷類
- ヒラタゴミムシ
- ヒラタハナムグリ
- ヒラタハネカクシ
- ヒラタヒダヒル
- 平戸オトメマイマイ
- ヒラヒトスヂマイマイ
- ◎ヒラマキミヅマイマイ
- ヒルクチキセル
- ヒルゲンマイマイ
- ヒレガヒ
- ヒレシヤコ
- ヒロクチカノコガヒ
- ヒロクチコキセル
- ビ之部

備前クラゲ
 ビビンナリア
 ビヤウアガヒ
 ビロドコガネ
 ビロウドスズメ
 ビロウドツリアア
 ○ビロウドトモエ
 ○ビハガライシ
 ビハムシ
 鱗翅類
 珊瑚類

ビ之部

ビスキコラ
 ビルスムシオヒ
 ビレマ
 ビロフチルス
 ビントキセル
 ビンノテレス

フ之部

フアスコロソマ
 フイサ
 フイスレラ
 フイソフチラ
 フイモソマ
 フイラリア・ベルシタンス

フイラリア・メヂネンシス
 フイリローエ
 フイロザナ
 フイロメテス
 フウセンクラゲ
 フラキチリザアム
 フキアゲアサリ
 フクダメ
 ○フクダハラバチ
 ○フクラスズメ
 フクロイソメ
 ○フクログモ(ドクグモ)真正蜘蛛類
 フクロサナダムシ
 フサスグリゾウムシ
 フサビル
 フシタカエビ
 フジナマコ
 フシマダラタケ
 フシモツル
 フタチビコヤガ
 フタゴムシ
 フタテンヨコバイ
 フタホシゴミムシ

膜翅類
鱗翅類

フタホシヒラタゴミムシ
 フタホシメダカ
 フタメビル
 フタモンアシナガバチ
 ○藤壺(フセ)
 フザノハナ
 フザハムシ
 フトキセルモドキ
 フトクビサナダムシ
 フトコロガヒ
 フトコロヤタテ
 フトスザアマガヒ
 フトヘナタリ
 フナクヒムシ
 フナトアツギガヒ
 フナノコ
 ○フナムシ
 フネガヒ
 フラストラ
 フリーデルマイマイ
 フリヌス
 フロガヒダマシ
 フロスクラリア

切甲類

節甲類

フロニマ
フ之部
 フアラ
 フタジラミ
 フアラ
 ○アエ
 ○アト
 フアラ
 フラキオヌス
 フラキオラリア
 フラストフアガ
 フランキウラ
 フランコケムシ
 プレーキマイマイ
 プンブクチャガマ

雙翅類
雙翅類

ブ之部

ブセウドククミス
 ブチイコケラス
 ブテロトラケア
 ブネウモデルモン
 プラチスケルス
 プラナリア
 プラニザ

ヘ之部

◎平家蟹
 ◎平家蟹(ヒメ蟹)
 ヘキザトトラ
 ヘクロコチイルス
 ヘシオネ
 ヘスベロドリルス
 ヘソアキトミガヒ

胸甲類
鞘翅類

ベ之部

ヘソクリ
 ヘテラレバス
 ヘナタリ
 ヘニコプス
 ○ヘビガヒ(シヤガヒ)腹足類
 ヘミクリアル
 ヘラダカカンテツ
 ヘラガタフタクムシ
 ヘリコケラス
 ヘロブテラ
 ベツコウムシ
 ベツコウガヒ
 ベツカフガサ
 ベツカフキララ
 ベツカウバイ
 ○ベツカウハゴロモ
 ベツカフバチ
 ベニエガヒ
 ベニウミフテ
 ベニガヒ
 ベニカミキリ
 ベニギンチヤク

鱗翅類

- ◎ベニシジミ
- ベニシタバ
- ベニシリダカ
- ベニスズメ
- ベニタケ
- ベニハムシ
- ベニヘリテントウ
- ベニマキ
- ベニムシオヒ
- ◎ペンケイガニ

胸甲類

- ベガンタ
- ベクチヌラ
- ベダリオナ
- ベダケリナ
- ベニラ
- ベネラ
- ベリケータ
- ベリコルバ
- ベリザアム
- ベリザニアム
- ベリザフィラ
- ベルトガステル

ホ之部

- ホウジヤク
- ホウヅキガヒ
- ◎ホウヅキガメムシ
- ◎ホウヅウエビ
- 豊年魚
- ホシウスイロウコン
- ◎ホシカミキリ
- (ゴマダラカミキリ)
- ホシキヌタ
- ホシコブシガヒ
- ホシコメツキ
- ホシスゲハムシ
- ホシダカラ
- ホシタテハムシ
- ホシベニカミキリ

- 鱗翅類
- 有吻類
- 甲殻類
- 鞘翅類

- ホソスゲテツボラ
- ホソムシ
- ホソヘリカメムシ
- ホソミドリウシカ
- ◎ホタル
- ◎ホタルガ
- ホタルガヒ
- ホタルイカ
- ホタルカミキリ
- ホタルハムシ
- ホタテガヒ
- ホツキガヒ
- ホトトギス
- ホネガヒ
- ホラガヒ

- 鞘翅類
- 鱗翅類

ホ之部

- ◎ホシジヨウエビ(マエビ)甲殻類
- ホシダキセル
- 房州ホラ
- ホウガイインビレア
- ホウズニラ
- ◎ボウフラ(アカコ) 貧毛類 金魚ノ餌

ホ之部

- ホスミナ
- ホタンシヤコ
- ホネリア
- ホルボツクス
- ホルラシア
- ホテリオグリヌス
- ホドコリネ
- ホドク
- ホリアルトラ
- ホリエーカ
- ホリクモヌス
- ホリストナム
- ホリドン
- ホリゾニアム
- ホリフエムス
- ホリモルフイナ
- ホロミイア

マ之部

- マアナゴウ
- ◎マイカ
- マヒノソテ
- マイマイカブリ

頭足類

甲殻類

- マイマイガ
- マイマイツブリ
- マヒマヒムシ
- マハグロアシナガバチ
- ◎マエビ
- マガキ
- マガキガヒ
- マガリハナバチ
- マクガタテントウ
- マクカブト
- マクレガゼ
- マクソガムシ
- マクソガネ
- 枕貝
- マシジミ
- マホガヒ
- マダカ
- ◎マダコ
- マタマ
- マダライモ
- マダラマガネ
- マダラサソリ
- マダラチゴトリガヒ

鱗翅類

頭足類

- マダラミズギハゴミムシ
- マツイカ
- マツカレハ
- マツカハガヒ
- マツカハヂムキ
- マツカンガニ
- ◎マツケムシ
- マツノオホシシクヒ
- (マツノヒメシシクヒ)
- マツノキハバチ
- マツノクロハバチ
- マツノコシシクヒ
- マツノコヒメシシクヒ
- マツノヒメシシクヒ
- (マツノオホシシクヒ)
- 松ノモノフレバス
- ◎マツムシ
- ◎マツモムシ
- ◎マテ(マテガヒ、カ 直翅類
- ミソリガヒ) 有吻類
- ◎マテガヒ(マテ、カ 鱗翅類
- ミソリガヒ) 有吻類
- マドガヒ
- マドモチウミニナ

- マベ
- 淡水海綿
- マメオトメ
- マメコガネ
- マメコブシガヒ
- マメタムシ
- マメノアブラムシ
- マメハンメウ
- マメマイマイ
- マユイガヒ
- マユタテアカネ
- マユフア
- マラコブテラ
- マルオニアサリ
- マルガタカヒガラムシ
- マルガタゴミムシ
- マルキビ
- マルクビエンザ
- マルクビゴミムシ
- マルクビツチハンメウ
- マルクビハネカクシ
- マルタマバチ
- マルゲンゴロウ

鞘翅類

- マルソデガヒ
- マルタニシ
- (普通ノタニシ)
- マルツノガヒ
- マルテンオホバソマイマイ
- マルテンキセル
- マルテンマツムシ
- マルトビムシ
- マルドブガヒ
- マルハナバチ
- マルヒダビル
- マンダラエビ
- マンダウ
- マンボウガヒ
- マンボウノテフ

辨鰓類

ミ之部

鞘翅類

- ミカドヤドリバイ
- ミカンノコナムシ
- ミキシコラ
- ミキノザクチオン
- ミクリガヒ
- ミクロストマ
- ミサキアルマ
- ミスヅマキリエダシヤク
- ミスヅマイマイ
- ミスヅヨフバイ
- ミゾストマ
- ミザンコ
- ミチオシヘ
- (ミチシルベ、ハンメ)
- ミチシルベ
- ミヅアブ
- 蜜蟻
- ミツイカ
- ミツオビカタバ
- ミツカドコホロギ
- ミツカドホラ
- ミヅカマキリ
- ミヅアモ
- ミヅクラダ

腹足類

切甲類

鞘翅類

直翅類

有吻類

水母類

- ミツクリキセル
- ミヅスマシ
- ミヅグニ
- ミヅバチ
- ミヅバチモドキ
- ミドリイシ
- ミドリウシ
- ミドリカミキリ
- (ユウグレナ)
- ミドリムシ
- ミノガヒ
- ミノムシ
- ミノムシガ
- ミニエガヒ
- ミニガヒ
- ミミズ
- ミミズガヒ
- 蛭類
- ミミズク
- ミミブシムシ
- 三宅チヤイロマイマイ
- ミヤケトライオンコキセル
- ミヤコオキナハキセル

鞘翅類

膜翅類

珊瑚類

有吻類

鞭毛蟲類

環蟲類

- ミヤコボラ
- ミヤコムシオヒ
- ミヤシロガヒ
- ミヤマアカネ
- ミヤマカミキリ
- ミヤマカハトンボ
- ミヤマクハガタ
- ミヤマセミ
- (ミンミンセミ、メン)
- ミヤマハンメウ
- ミヤママルハナバチ
- メウガガヒ
- ミリアニダ
- ミリアラ
- ミルカヒ
- ミルクヒ
- ミルネトンボ
- ミレボラ
- ミンミンセミ
- (ミヤマセミ、メン)

有吻類

有吻類

ム之部

- ムカドツノガヒ
- ムカシタモト

蜈蚣類

擬脈翅類

雙翅類

- ムカデ
- ムギガヒ
- ムギカリセミ
- ムギワラトンボ
- (シホカラトンボ、コウドンボ)
- ムクゲタマゴバチ
- ムシエビ
- ムシオヒガヒ
- ムシクサゾウムシ
- ムシクソハムシ
- ムシノダニ
- ムシヒキアブ
- ムシホタル
- ムシロガヒ
- ムシロタテ
- ムネアカアリバチ
- ムネアカホアリ
- ムネアカルゴミムシ
- ムネグロサナギバチ
- ムラクモダカラ
- ムラサキイガヒ

◎ムマセミ(クマセミ) 有吻類 棟ニテ鳴ク
 シヤアシヤアセミ、ワシワシセミ) 幼虫ハ樹根ヲ害ス
 ムラサキイニコ
 ムラサキウヅ 腹足類
 ムラサキホヤムキ
 ムラサキガヒ
 ムラサキガゼ
 ムラサキシジミ
 ムラサキテフ
 ムラサキノマタモドキ
 ムラサキトビケラ
 ムラサキトビムシ
 ムラサキトビムシ

メ之部

◎メイガ(二化蝶虫) 鱗翅類
 メイチウバチ
 メガヒ
 メガラスマ
 メガロトロカ
 女冠者
 メクラアア
 メクラガヒ
 ◎メクラアモ 節腹類
 盲蚤

メクラムカデ
 ◎メシモチ(ヒルメシ) 有吻類 淡水 雌ハ雄ノ脊ニ産卵ス
 モチ、ゴオヒムシ) 鱗翅類
 ◎メスアロヘウモン
 メダカラガヒ
 メリケルダ
 メルミス
 メンガヒ
 ◎メンガタズメ 鱗翅類
 メンガタダカラ
 メンアラニボラ

モ之部

モイカ
 モイナ
 ◎モエビ(サエビ) 胸甲類
 毛頭蟲
 モガヒ
 モクガニ
 ◎モクヅガニ 甲殼類
 沐浴海綿
 モシラ
 ◎没食子蜂 膜翅類
 ◎モノアラガヒ 腹足類

◎モチクラゲ 水母類
 (ミツクラゲ、ヨツメクラゲ、ユフレイククラゲ、シロクラゲ)
 モノキスチス
 モノストナム
 ◎モミダガヒ 海星類
 モミダボラ
 モミダヤマキサゴ
 モモアカメダカ
 桃色珊瑚
 ◎モモエボラ 鱗翅類
 ◎モモズメ
 モモノハチ
 モヤシガヒ
 モリサキオホベソマイマイ
 モロハボラ
 モンカゲロウ
 モンキアメバチ
 モンキナナガバチ
 ◎モンキテフ越年テフ 鱗翅類
 モンキヒメバチ
 ◎モンクマバチ 膜翅類 林間ニ圓球狀ノ巢ヲ造ル
 (ダンゴバチ、モンスズメバチ)

◎モンシロテフ (ツマアロテフ) 鱗翅類

モンシロドクガ

◎モンスズメバチ (ダンゴバチ、モンクマバチ) 膜翅類 林間ニ圓球狀ノ巢ヲ造ル

モンズリ

モンハナバチ

ヤ之部

八重山サソリ
 ヤエヤマノミセセル
 ヤカドツノガヒ
 ヤギ
 ヤクガヒ
 屋久島ダカラ
 夜光貝
 ◎夜光蟲 原始動物
 ヤコブキセル
 ◎ヤゴ(蜻蛉ノ幼虫) 擬脈翅類
 ヤゴメ
 ◎ヤステ 馬陸類 多足類
 ヤタテガヒ
 ヤツシロガヒ
 ◎ヤドカリ 胸甲類

ヤナギウミエラ
 ヤナギウンカ
 ◎ヤナギエビ(マエビ) 甲殼類
 ヤナギシボリ
 ヤナギシボリイモ
 ◎ヤナギダコ(アシナガダコ、テナガダコ) 頭足類
 ヤナギトンボ
 ヤナギハムシ
 ヤナギルリハムシ
 ◎ヤニサシガメ 有吻類 松樹ニ多シ
 ◎ヤハヅミツボシ (根切蟲) 鱗翅類 幼虫ハ蔬菜ノ害蟲
 ◎ヤブカ 雙翅類
 ◎ヤブキリ 直翅類
 ◎ヤブキリギリス (ヤブキリギリス) 直翅類
 ◎ヤブキリギリス (ギス) 直翅類
 ◎ヤブトンボ 擬脈翅類
 ヤボシゴミムシ
 ◎ヤマカヒコ(クハゴ) 鱗翅類
 ヤマガマス
 ヤマカミキリ
 キマキサゴ
 ◎ヤマキテフ 鱗翅類

ヤマケルマ
 大和シロアリ
 ◎ヤマセミ(アアラセミ、サトセミ、アキセミ、アカセミ) 有吻類
 ヤマトカハニナ
 ◎ヤマトシジミ 鱗翅類
 ◎ヤマトモエ (トモエガ) 鱗翅類
 ◎ヤマバチ(スズメバチ、クマバチ) 膜翅類 尺蠖、蝶、蛤等ヲ捕ヘテ幼虫ヲ養フ
 ◎山蛭 環蟲類
 ヤマビシヤク
 山吹螢
 ヤマホトトギス
 ヤマイ
 ヤマメ
 ヤミノニシキ
 矢蟲
 ◎ヤリイカ 二鰓類
 ヤリンボウ
 ヤンバラマイマイ
 ◎ヤンマ(ギンヤンマ) 擬脈翅類 小蟲ヲ捕食ス

ユ・イウ之部

- ユウガホビヤウタン
- ユキノカサ
- ユークラニス
- ユウグレナ (ミドリムシ)
- 有鉤繭蟲
- ユークローバ
- ユウシホガヒ
- ユードキシア
- ユウマダラエダシヤ 鱗翅類
- ユムシ
- ユメナマコ
- ユリノハナスヒ (ダイコウチ)
- ユーリムナザア
- ユウレイクラゲ (ミツクラゲ、ヨツメクラゲ、モチクラゲ、シロクラゲ)
- イウレイグモ
- 幽霊茶(平家茶)
- イウレイモヅル
- ユーリレプダ

鞭毛蟲類

蠶虫類

鱗翅類

有叻類

淡水水底ノ木片等ニ附着ス

水母類

鞘翅類

ヨ・ヤウ・エウ之部

- ヨフガヒ
- ヨフバイモドキ
- ヤウラクガヒ
- ヤウラククラゲ
- ヨコノミ
- ヨコバイタマゴコバチ
- ヨシエビ
- ヨシトンボ
- ヨシリムシ
- ヨシハラヤマキサゴ
- ヨツモンヨコバイ
- ヨツボシクロアリ
- ヨツボシゴミムシ
- ヨツメクラゲ
- ヨツモンコクゾウ
- ヨトウガ
- ヨドスリ
- ヨメガカサ(ヨメガサラ、千鳥介)
- ヨメガサラ(ヨメガカサ、千鳥介)
- ヨモギハムシ
- ヨモギヒメハムシ
- ヨロヒヤギ

甲殼類

水母類

鞘翅類

ラ之部

- 絡緯
- ラクダガヒ
- ラクダムシ
- ラゲナ
- ラシヌラリア
- ラツバムシ
- ラアザチス
- ラアザチス・ニグロベノサ
- ラアドケラス
- ラアドネマ・ニグロベノサム
- 卵圓繭蟲
- ランケステリア
- リ之部
- リウキウウアフヒ
- リウキウアサギマダラ
- リウキウアサリ
- リウキウエガヒ
- リウキウアフギ
- リウキウクリムシ
- リウキウサルボウ
- リウキウザルガヒ
- リウキウシラトリ

織毛蟲類

- リウキウタケ
- リウキウツノマタ
- リウテン
- リウキウナデシコ
- リウキウナミノコ
- リウキウバカガヒ
- 琉球ホラ
- リウキウムシロ
- リアラ
- リスガヒ
- リソグリフス
- リネウス
- リビクブアルス
- リアキナ
- リムナザア
- リムネチス
- リムノクニダ・タンガニカ
- リムノコザアム・カワイイ
- リムノコザアム・ソウエルビイ
- リムラ
- リムラリア
- リオオベ
- リンゴウホラ

ル之部

- リンゴケムシ
- リンゴゾウムシ
- リンゴノアブラムシ
- リンゴノソタムシ
- リンボウガヒ
- ルイザア
- ルウコドア
- ルリガヒ
- ルリカミキリ (ルリヒラカミキリ)
- ルリカメムシ
- ルリシガバチ
- ルリタテハ
- ルリバチ
- ルリハネカグシ
- ルリヒラカミキリ
- ルリムシ
- ルンブアコバテラ
- レ之部
- レイオアナム
- レイシ
- レイシガヒ

鞘翅類

鱗翅類

ワ之部

- レイシボラ
- レウカンドラ
- レカニアム
- レダ
- レザア
- 裂頭繭蟲
- レプトドラ
- レヒドメニア
- レプトサスクス
- レプトフラナ
- レプトメゲユーサ
- レベツカハニナ
- レルナントロプス
- レルネア
- レルネオケラ
- ロ之部
- ラウツカドマイマイ
- ロタリア
- ロチフエラ
- ロバロネマ
- ロプスター

ワ之部

- ◎ワシワシセミ 有吻類 棘ニテヨク鳴ク幼虫ハ樹根ヲ害ス
- ◎クマセミ、ムマセミ
- ワスレガヒ
- ワタトリ
- ワタトリ
- ワモンゴキブリ

- ◎ソライロホソバ 鱗翅類
- ◎(二)化蝶蟲メイガ
- ◎ソラゲムシ 節甲類
- ソレカラ

第一章 植物

五十音順 ○印ハ玉名郡内所産

ア之部

- ◎アイアシ 禾本科
- ◎アナカヅラ 清風藤科
- アウシキナ 毛茛科
- アカウ 桑科
- ◎アカウキクサ 槐葉蕪 水田其他上水中に生ず
- ◎アカガシ 穀斗科
- ◎アカザ 藜科
- ◎アカシデ 樺木科
- ◎アカシヨウマイ (トリアシヨウマイ) 虎耳草科
- アカスグリ (フサスグリ)
- ◎アカソ 蕁麻科
- ◎アカダモ 樟科
- ◎アカツメグサ (ムラサキツメグサ) 荳科
- ◎アカヌマサウ 玄參科
- ◎アカヌマフウロ 牻牛兒科
- ◎アカネスミレ 堇菜科
- ◎アカバナ 柳葉菜 山楚の水濕中
- ◎アカバナノムシヨケギク 菊科
- ◎アカナス 茄科 栽培植物「トマト」
- ◎アカネ 茜草科 茜草 染色用
- ◎アカマツ 松科 「メマツ」
- ◎アカミヅキ (タマミヅキ) 冬青科
- ◎アカメガシハ 大戟科
- ◎アカメモチ (カナメモチ、カナメガシ) 薔薇科
- ◎アカモク 褐色藻類
- ◎アカモノ (イハハセ) 石南科
- ◎アカヤシホ 石南科
- ◎アケボノツ、ジ

第二編 博物 第二章 植物

- ◎アキカラマツサウ 毛茛科
- ◎アキギリ 唇形科
- ◎アキグミ 胡頹子科
- ◎アギスミレ 堇菜科
- ◎アキチヤウジ 唇形科
- ◎アギナシ 深淵科 水田等に生ず
- ◎アギニレ 楡科 「ニレ」
- ◎アキノウナギツカミ 蓼科
- ◎アキノウナギツル 蓼科
- (アキノウナギツカミ) 菊科
- ◎アキノキリンサウ 菊科
- ◎アキノノゲシ 菊科
- ◎アキノタムラサウ 唇形科
- ◎アキノハハコグサ 菊科
- ◎アキメヒシバ 禾本科
- ◎アケシバ 石南科
- ◎アケビ 木通科
- ◎アケボノサウ 龍膽科
- アケボノシユスラン 蘭科
- ◎アサ 桑科 大麻 纖維用
- ◎アサガホ 旋花科 觀賞用
- ◎アサギリサウ 菊科
- ◎アサクサノリ (アマノリ) 紅色藻 紫菜類
- ◎アサザ 龍膽科 苜蓿「ハナジユンサイ」水
- ◎アサツキ 百合科
- アサノハカヘテ 檉樹科 「ミヤマモミ」雌雄異株
- アサマツゲ (ツゲカラツゲ) 黃楊科 錦熟黃楊
- アザミゲシ 罌粟科
- ◎アシ(ヨシ) 禾本科 蘆
- アシカキ 禾本科
- アシタバ 繖形科
- ◎アシボソ 禾本科
- アスナロ 石松科 觀賞用
- アスヒカヅラ 石松科
- アセガヤ 禾本科
- ◎アセガヤツリ 莎草科
- ◎アセスゲ 莎草科
- アセダイコン (イヌガラシ) 十字花 蕓菜
- ◎アセタウガラシ 玄參科
- ◎アセテンツキ 玄參科
- ◎アゼナ 玄參科
- ◎アゼナルコスゲ 莎草科
- ◎アゼムシロ 桔梗科 「ミノカクシ」
- ◎アセビ 石南科 馬醉木 棧木
- ◎アゲサキ 虎耳草 觀賞用
- ◎アヅキ 荳科 栽培用
- ◎アヅキナシ 薔薇科
- ◎アヅサ(キササゲ) 紫葳科 梓
- ◎アツシ(アツニ) 楡科 山楡 纖維用
- ◎アツニ(アツシ) 楡科 山楡
- ◎アツモリサウ 蘭科
- ◎アヅマギク 菊科
- ◎アナナス 鳳梨科
- ◎アネモネ 毛茛科
- ◎アハ(ウルアハ) 禾本科 粟栽培 穀類
- ◎アハイチゴ(モミチイナゴ、キイチゴ) 薔薇科 懸鉤子
- ◎アハガヘリ 禾本科
- ◎アハゴケ 水馬齒科
- ◎アハビタケ (ヒラタケ、ムキタケ) 菌類
- ◎アフギカヅラ 唇形科
- ◎アフチ (センダンノキ) 楝科 楝
- ◎アフノメ 玄參科 夏
- ◎アフヒスミレ 堇菜科

- アブヒモドキ 錦葵科
- アブラガヤ 莎草科 水邊に生ず
- アブラギク 菊科
- アブラギリ 大戟科 「ドクエ」 罌子桐 油蠟用 (毒) 染色用
- アブラシバ 莎草科 山地に自生す
- アブラスキ 禾本科
- アブラキヤン (ムラダチ) 樟科 「ムラダチ」 油蠟用
- アブラナ 十字花 菜臺 油蠟用
- アベマキ 殼斗科
- アマ 亞麻科 「ヌメゴマ」 纖維は織物原料
- アマキ(カンザウ) 荳科 甘草 藥用
- アマタサ 荳科 甘草 藥用
- アマクサシダ 水龍骨科
- アマチャ 虎耳草科 土常山 甘茶を生子
- アマチャヅル 葫蘆科 林間叢中に自生す
- アマドコロ 百合科 莖 澱粉用
- アマナ 百合科 「ムギワラキ」 山慈 澱粉用
- アマノリ (アサクサノリ) 紅色藻 紫菜類
- アマモ 眼子菜 淺海中に生ず
- アマモドキ 茄子科 觀賞用
- アミガサダケ 菌類 有毒
- アンジヤヘル 百合科
- アンズ 石竹科 「オランダナ」 舶來の觀賞用
- アントクメ 石竹科 舶來
- アメリカカナデシコ 薔薇科
- アメリカバウフワ 薔薇科
- アヤメ 薔薇科
- アラシガサ 虎耳草科
- アラセイトウ 十字花科
- アラメ 褐藻類
- アラカシ 殼斗科
- アララギ 藜科 「ルウダサウ」
- アリタサウ 十字花科
- アリススム 十字花科
- アリドホシ 藜科
- アリドホシラン 藜科
- アリノタフアサ 藜科
- アルニカ 藜科
- アレチノギク 藜科
- アロアキ 虎耳草科
- アワモリサウ 虎耳草科
- アワモリシヨウマ 藜科
- アキ 藜科
- アキナヘ 馬錢科
- アチウキクサ 浮萍科
- アラガシ 殼斗科
- アチカヅラ 清風藤科
- アチガヤツリ 莎草科 「オホタマガヤツク」
- アチキ 山菜黄 常綠灌木科
- アチギリ 梧桐科
- アチサ 綠色藻類
- アチスダ 莎草科 原野路傍に生ず
- アチスズラン 藜科
- アチタゴ 木犀科
- アチドリ 藜科
- アチツツラフダ 藜科
- アチテンツキ 藜科
- アチネカヅラ 水龍骨科
- アキナヘ 馬錢科
- アチウキクサ 浮萍科
- アラガシ 殼斗科
- アチカヅラ 清風藤科
- アチガヤツリ 莎草科 「オホタマガヤツク」
- アチキ 山菜黄 常綠灌木科
- アチギリ 梧桐科
- アチサ 綠色藻類
- アチスダ 莎草科 原野路傍に生ず
- アチスズラン 藜科
- アチタゴ 木犀科
- アチドリ 藜科
- アチツツラフダ 藜科
- アチテンツキ 藜科
- アチネカヅラ 水龍骨科

イ之部

- アチノツガザクラ 石南科
- アチノリ 綠色藻類
- アチハコベ 石竹科
- アチハダ 冬青科
- アチミヅ 蕁麻科
- アチヤギサウ 百合科 狗尾草子 藪有毒
- アチワカメ 褐藻類
- イウレイイサウ 鹿蹄草科
- イウレイイダケ 鹿蹄草科
- イイギヨ 樟科
- イイヌママカゴ 蘭科
- イカガヤツリ 莎草科
- イカリサウ 小蘗科
- イガホホヅキ 茄科
- イケマ 蘿床科 白兔蓋 藥用
- イザヨイバラ 薔薇科
- イシゲ 褐藻類
- イシミカハ 藜科
- イシモチサウ 翠菁菜 食蟲植物科
- イセハナビ 蓴科
- イソギク 菊科
- イソノキ 石南科
- イソザンセウ 石竹科
- イソツツシ 鼠李科 「ウバキ」
- イソノキ 鼠李科
- イソモク 褐藻類
- イタチガヤ 禾本科
- イタチアサ 木犀科
- イタダササゲ 荳科 「エンダウサウ」
- イタチシダ 水龍骨科
- イタドリ 蓴科
- イタビカヅラ 桑科
- イタヤカヘテ 椴樹科 「トキハカヘ」 「ツタモミ」
- イチエフラン 蘭科
- イチゲキスミレ 薑々菜科
- イチゴツナギ 禾本科
- イチヂク 桑科 食用
- イチハツ 藜科 觀賞用
- イチビ(キリアサ) 藜科 觀賞用
- イチヤクサウ 藜科 觀賞用
- イチリンサウ 藜科
- イチロベコロン 毛茛科
- イヌノキ 殼斗科
- イヅハハコ 一位科 「アララギ」 深山に生ずる 常綠喬木
- イヅセンクヤウ 紫金牛科
- イテフ 公孫樹 種子は食用とす
- イトイヌノヒゲ 殼精草科
- イトキンスダ 莎草科
- イトキンバイサウ 毛茛科
- イトキンバウゲ 毛茛科
- イトスズメガヤ 禾本科
- イトテンツキ 莎草科
- イトナデシコ 石竹科 觀賞用
- イトハナビテンツキ 莎草科
- イトヒバ 松杉科 「ヒヨクヒバ」
- イトモ 眼子菜 水中に生ず
- イトキ 燈心草科
- イトラン 百合科
- イナモリサウ 茜草科 山間部
- イヌアハ 禾本科
- イヌエビ 禾本科
- イヌエンジュ 荳科

- ◎イヌカワウシ
- イヌガシ
- ◎イヌカンソク
- イヌガンヒ
- ◎イヌガヤ
- ◎イヌガラシ
- イヌクズ
- ◎イヌゴマ
- イヌザクラ
- ◎イヌザンセウ
- ◎イヌシダ
- イヌシダ
- ◎イヌシヨウマ
- ◎イヌスギナ
- ◎イヌタテ
- イヌチヨロギ
- ◎イヌツゲ
- ◎イヌドクサ
- イヌナシ

- 唇形科
- 樟科
- 水龍骨科
- 瑞香科
- 一位科「ヘボガヤ」
- 十字花科
- 樟科
- 唇形科「チヨロギダマシ」
- 薔薇科
- 芸香科
- 水龍骨科
- 樺木科「ソロ」
- 毛茛科
- 木賊科
- 蓼科
- 唇形科
- 冬青科
- 木賊科
- 薔薇科

- ◎イヌナヅナ
- イヌノハナヒゲ
- ◎イヌノヒゲ
- ◎イヌノフグリ
- ◎イヌハギ
- ◎イヌビエ
- ◎イヌビエ
- ◎イヌビエ
- ◎イヌビエ
- ◎イヌホソギ
- ◎イヌムラサキ
- ◎イヌヨモギ
- ◎イヌワラビ
- ◎イヌエンジュ
- ◎イネ
- イノンド
- ◎キノニヅチ
- ◎イハアカバナ
- イハイテフ
- イハウチハ
- イハウメ

- 十字花科
- 蔞草科
- 殼精草科
- 玄參科
- 荳科「シラハギ」
- 禾本科
- 桑科
- 菟耳科「ノビエ」
- 殼斗科「クロバナ」
- 茄科 龍葵 有毒
- 禾本科
- 紫草科
- 菊科
- 水龍骨科
- 荳科
- 禾本科栽培 食用
- 殼形科 薔薇 藥用
- 葛科 牛膝 藥用
- 柳葉菜 山地の湿地
- 龍膽科
- 岩梅科
- 岩梅科

- イハナヅナ
- イハナテン
- ◎イハニガナ
- ◎イハニシジ
- イハハヒ
- イハハヒ
- ◎イハヒモ
- イハフチ
- ◎イハヤナギ
- イハヤナギシダ
- ◎イハラモ
- ◎イハレンゲ
- イハラウギ
- イブキ
- イブキシヤカウサウ
- ◎イブキトラノヲ
- イブキマカホ
- イブキバウフウ
- ◎イボクサ
- ◎イボクサ
- イボクサ

- 十字花科
- 石南科
- 菊科
- 殼形科
- 石南科
- 十字花科
- 褐色藻類
- 卷柏科 深山絶壁に自生
- 石松科
- 荳科
- 楊柳科
- 水龍骨科
- 茨藻科 淡水に生ず
- 景天科
- 荳科
- 松杉科「ビヤクシン」觀賞用
- 唇形科
- 蓼科
- 禾本科
- 殼形科
- 鴨跖草科
- 木犀科 藥用

- ◎インゲンマメ
- インドゴムノキ
- イマメガシ
- ◎イモノキ
- イヨカヅラ
- イヨミヅキ
- ◎イラクサ
- イソウサウ
- ◎ウキクサ
- ウキツリボク
- ◎ウキヤガラ
- ウグヒスカグラ
- ◎ウコギ
- ウコン
- ウコンウツギ
- ウコンバナ(ハタウ)
- ウコン(シロモジ)
- ウサギギク
- ウシクグ
- ◎ウシクサ
- ◎ウシクサ
- ◎ウシクサ
- ◎ウシコロシ

- 荳科
- 桑科
- 殼斗科
- 五茄科
- 蕁麻科
- 金縷梅科
- 蕁麻科 蕁麻 纖維用
- 蕁草科
- 浮萍科 浮萍 池水沼澤に浮ぶ藥用
- 錦葵科
- 蔞草科
- 忍冬科
- 五茄科
- 蕁荷科 鬱金染色用
- 忍冬科
- 樟科 三極鳥藥 油
- 菊科
- 蔞草科
- 禾本科
- 荳科
- 薔薇科 山馬蝗 有毒

- ◎ウシタキサウ
- ウシノケグサ
- ◎ウシノサウメン
- ◎ウシノシツハイ
- ◎ウシハコベ
- ウシブダウ
- ◎ウスダケ
- ◎ウスバサイシン
- ウスイキサウ
- ウセンチク
- (ホウライイチク)
- ウダイカンバ
- ウチハゴケ
- ◎ウチムラサキ
- ◎ウツギ
- ウツコンコウ
- ウツホグサ
- ウツフアラ
- ◎ウツ
- ウツカヅラ
- ◎ウツモドキ

- 柳葉菜「オランダゴシツ」
- 禾本科
- 旋花科
- 禾本科
- 石竹科
- 木蘭科 北五味子一種 藥用
- 菌類 有毒 有毒
- 馬兜鈴 根は藥用
- 菊科
- 鳳尾竹 纖維用
- 樺木科
- 苦蕒類
- 芸香科
- 虎耳草科「ウノハナ」
- 百合科「チウリツブ」 舶來觀賞
- 唇形科
- 蘭科
- 五茄科
- 蔞草科
- 五茄科 羌活 藥用

○ウナギツカミ 蓼科(ウナギノル)

○ウノハナ 虎耳草科

○ウバガネモチ 紫金牛科

○ウバキ 鼠李科

○ウハバミサウ 蓼科「ムカゴミズ」

ウハミツヅクラ 蓼科

ウバメガシ 殼斗科「イマメガシ」

○ウバユリ 百合科「蕎麥葉貝母」
「ガハユリ」
「ハハユリ」

○ウマゴヤシ 荳科 肥料及牧草

○ウマスケ 莎草科

ウマツツジ 石南科

○ウマノアシガタ 毛茛科

○ウマノスズクサ(チハクノバナ) 馬兜鈴 馬兜鈴 藥用

○ウマノミツバ 繖形科

ウミウチハ 褐色藻類

ウミガヤ 禾本科

ウミサウメン 紅色藻類

ウミトラノチ 褐色藻類

ウミレイシ 褐色藻類

ウキキヤウ 繖形科 尚香 藥用

○ウレシエミカン 芸香科

ウレンセンツツジ

ウラン

ウメ

ウメカササウ

○ウメバチサウ

ウメバチモ

ウヤク

○ウメモドキ

○ウラシマサウ

ウラシマツツジ

○ウラシロ

ウラシロイチゴ

ウラシロカンバ

○ウラシロキンバイ

○ウラシロノキ

ウリカヘデ
(メウリノキ)

○ウリグサ

ウリノキ

ウリハダカヘデ

ウルチ(ウルシネ)

石南科

玄參科

薔薇科

鹿蹄草科

虎耳草 食蟲植物

毛茛科

冬青科

天南星 烏藥 藥用
「マヒツルテ」
「ナンシヤウ」
「虎掌有毒」

石南科

裏白科 歳首の裝飾用

薔薇科

樺木科

薔薇科

澤瀉科 水田中に生ず

楨樹科 染色

玄參科

山藥黃科

楨樹科 纖維用

禾本科 粳米 穀類

○ウルシ 漆樹科 漆樹 油蠟用

ウルシツタ 野葛 有毒

○ウキキヤウ 繖形科 園藝草本

エゴノキ

○エゴノリ

○エゴマ

エゴイチゲ

エゴオトギリサウ

エゴオホヤマハコバ

○エゾギク

エゾシヨウマ

エゾスズシロ

エゾスミレ

エゾセンノウ

エゾヌカボ

エゾノウハミツ

エゾノコスミレ

エゾノシヤニンジン

エゾノタチツボス

エゾノハンシヨウ

エゾノハシヨウ

漆樹科 漆樹 油蠟用

繖形科 園藝草本

齊墩果 齊墩果 油蠟用

紅色藻類

唇形科 花 油蠟用

毛茛科

金絲桃科

石竹科

菊科 培養

毛茛科

十字花科

堇菜科

石竹科

禾本科

薔薇科

堇々菜科

十字花科

堇々菜科

毛茛科

エ之部

エゾノミツタテ

エゾハコバ

エゾハタザナ

エゾフスマ

エゾマツ

エゾマンテマ

エゾカメ

○エドヒガン

○エニシダ

○エノキ

○エノコログサ

○エノキグサ

エビガライチゴ

○エビスグサ

○エビツル

○エビネ

○エビモ

エビラシダ

エビラハギ

エビラフヂ

エブリコ

蓼科

石竹科

十字花科

石竹科

松杉科

石竹科

褐色藻類

薔薇科

楡科

禾本科

大戟科「アメガササウ」

薔薇科

薔薇科

薔薇科「ガネビ」

蘭科

眼子菜 細流中に生ず

水龍骨科

荳科

荳科

落葉松寄生 藥用

エンコウサウ

エンコウスギ

エンゴサク

エンビセンノウ

エンビツバクシン

エンレイサウ

○オカメザサ

オガラバナ

オキツノリ

○オキノツメ

○オキナグサ

○オゴ

○オゴノリ

オサシダ

オシキサウ

オシダ

オシヤゴツテンダ

○オシロイバナ

○オチヤタチ

○オトギリサウ

オトコセリ

毛茛科

松杉科 觀賞用

薔薇科

石竹科

松杉科

百合科

禾本科「アングザサ」
器具を製作す

楨樹科

紅色藻類

薔薇科

毛茛科

紅色藻類

水龍骨科

荳科

水龍骨科

水龍骨科

紫茉莉科

蘭科

金絲桃科 藥草

毛茛科

オ之部

○オニアザミ

オニウコギ

オニク

オニクサ

○オニアルミ

オニゲシ

○オニシバ

オニシバリ

オニスゲ

オニタテ

○オニタビラコ

○オニドコロ

オニナベナ

オニナルコスゲ

○オニビシ

○オニバス

○オニミツバ

○オニヤアソテツ

○オニユリ

オホアハ

○オホアハガヘリ

○オホアアラススキ

菊科

五加科

列當科

紅色藻類

胡桃科

罌粟科 亞米利加原産
「イギリスホ
タン」觀賞用

禾本科

瑞香科 有毒

莎草科

薔薇科

薔薇科

薯蕷科

山藟科

莎草科

荳科

睡蓮科 果實食用

繖形科

水龍骨科

百合科 食用 觀賞用

禾本科 梁 穀類

禾本科

禾本科

- オホイタドリ 蓼科
- ◎オホイヌタテ 蓼科
- ◎オホイヌフグリ 芝蔴科
- オホウシノケアサ 禾本科
- オホカニツリ 禾本科
- オホガラシ 十字花科
- ◎オホナラ 穀斗科
- ◎オホカメノキ 水龍骨科
- ◎オホカメメヅル 水龍骨科
- オホキヌタソウ 水龍骨科
- オホクサソテツ 水龍骨科
- オホケタテ 蓼科
- オホコメツツ 石南科
- オホササガヤ 禾本科
- オホサルコヤナギ 揚柳科
- オホシ 大黃 藥用
- ◎オホスギゴケ 蕨類
- オホスズメノテ 禾本科
- ツボウ
- ◎オホズミ (カタナシ、スナシ) 紅棠梨 染色
- オホセシナリ 茄科
- オホツヅラフデ 防已科
- オホセリ(ドクセリ) 繖形科 芥菜鉤吻 有毒
- オホタニワタリ 水龍骨科 暖國の陰地
- オホタマガヤツリ 莎草科
- オホツメクサ 石竹科
- ◎オホテマリ 忍冬科
- オホテンツキ 莎草科
- オホトボシガラ 禾本科
- オホトリトマラズ 小蘗科
- ◎オホノキシノブ 水龍骨科
- ◎オホバアサガラ 齊墩果「クアキガラ」
- オホバイボタノキ 木犀科
- オホバウシバナ 鴨跖草科
- オホバウマノス 馬兜鈴科
- ズクサ 冬青科
- ◎オホバウメモドキ 殼斗科
- オホバガシ 薑々菜科
- オホバキスミレ 薑々菜科
- オホバクウフデ 薑々菜科
- ◎オホバコ 車前草科 車前 藥用
- オホバザヤノヒゲ 百合科
- オホバシヨウマ 毛茛科
- オホバシヨリマ 水龍骨科
- オホバセンキウ 繖形科
- ◎オホバタチツボ 薑々菜科
- ◎オホバタネツクバナ 十字花科
- ◎オホバチドメアサ 繖形科
- オホバツノマタ 紅色藻類
- オホバナノミミ 石竹科
- オホハナソラビ 瓶爾小草科
- オホバノハチジ 水龍骨科
- オホバノハチジ 水龍骨科
- ◎オホバボダイジュ 田麻科
- ◎オホバミゾホボヅキ 芝蔴科
- ◎オホバミネバリ 樺木科
- ◎オホハンゲ 天南星科
- ◎オホバメギ 小蘗科
- ◎オホバモク 褐色藻類
- ◎オホバヤナギ 揚柳科
- ◎オホハリサウ 紫草科
- ◎オホハルシヤギク 菊科 觀賞用「コスモス」
- ◎オホバキノモトサウ 水龍骨科
- ◎オホヒナノウスツボ 芝蔴科
- ◎オホマツヨヒガサ 柳葉菜 舶來 觀賞用

- オホマンテマ 石竹科
- ◎オホムギ 禾本科 大麥 穀類
- オホヤマカタバミ 酢漿草科
- オホヤマハコベ 石竹科
- オホヤマフスマ 石竹科
- オホヤマレンゲ 木蘭科 觀賞用
- オホルリサウ 紫草科
- ◎オモダカ 澤瀉科 池瀝野田等に生ず
- ◎オモト 百合科 觀賞用
- ◎オモヒガサ 列當科
- ◎オランダイチゴ 薔薇科「西洋イチゴ」
- ◎オランダカイウ 天南星「クハズイモ」科 有毒 觀賞用
- オランダガラシ 十字花科
- オランダキシカクシ 百合科
- オランダゲンゲ 苳科
- オランダゴシツ 柳葉菜科
- ◎オランダニクケイ 樟科
- オランダセンニチ 菊科
- オランダダンドク 墨華科
- オランダナデシコ 石竹科
- オランダビユ 破胡紙 藥用
- オランダフウロ 犍牛兒科
- ◎オランダミツバ 繖形科 栽培 食用
- オランダモミ 松杉科
- ◎オリヅルラン 百合科 觀賞
- ◎オランダケ 禾本科
- オランダ 蕨科
- カイズイク 菊科 培養
- ◎カイダウ 薔薇科
- カイニンサウ 紅色藻類
- カイノリ 紅色藻類
- カウエウザン 松杉科「オランダモミ」觀賞用
- ◎カウガイセキシヤウ 燈心草科「カガモウ」
- ◎カウジ 紫金牛「カラタチバナ」科
- カウシンサウ 狸藻科
- カウシンバラ 薔薇科
- ◎カウゾ 桑科 製紙原料
- カウゾリナ 莎草科
- ◎カウタケ 菊科
- カウバウ 菌類 芳香美味
- カウバウビユ 禾本科 龍爪稷 穀類
- カウマタキビ(カウマタキビ) 龍爪稷 穀類
- カウモリカヅラ 繖形科 防已科
- カウモリカヘテ 繖形科
- カウモリサウ 菊科
- ◎カウヤコケシノブ 苦蕒科
- ◎カウヤノマンネン 蕨類
- カウヤバウキ 菊科
- カウヤマキ 松杉科 觀賞用
- カウヤソラビ 水龍骨科
- ◎カガイモ 蕨類
- カガシラ 龍膽科
- カガアタ 龍膽科
- カガミアサ 龍膽科
- カガリビサウ 立參科
- ◎カキ 柿樹科
- ◎カギカヅラ 茜草科 釣藤 藥用
- ◎カキツバタ 苳尾科 觀賞用
- ◎カキドホシ 唇形科「カントリサウ」子供の疳藥
- カキノハゲサ 遠志科
- カギモロコシ(カモクビモロコシ) 穀類
- カキラン 蘭科
- カクアゲサイ 虎耳草科

○ガクウヅギ 虎耳草「コンデレキ」
 ○カクレンミノ 五加科
 ○カザアルマ 毛茛科
 ○カサスゲ 苧草科 葦 纖維用
 ○カサモチ 繖形科
 ○カシ 殼斗科
 ○カシウイモ 薯蕷科 「ケイモ」黄櫨 澱粉用
 ○カシノキラン 蘭科
 ○カシハ 殼既科 櫛 染色用
 ○カシハバハゲマ 菊科 蓬莪茂 藥用
 ○ガシユツウスグロ 毛茛科
 ○ガシヨウサウ 苧科
 ○カスマグサ 豆科
 ○カセクサ 禾本科
 ○カセンサウ 菊科
 ○カタグサ 百合科 「カタコユリ」 車前葉山慈姑 澱粉用
 ○カタシログサ 三白草「ハンゲセウ」
 ○カタバミ 酢漿草科
 ○カタバミワウレン 毛茛科
 ○カタヒバ 卷柏科

○カゲイナゴ 藜科
 ○カヤカヘテ 桑科
 ○カゲノキ カゲメ
 ○カツラ ○カテンサウ
 ○カナクキノキ ○カナビキサウ
 ○カナビキチ ○カナメケシ
 ○カナメケシ ○カナメモチ
 ○カナカウモリ ○カニグサ
 ○カニグサ ○カニサボテン
 ○カニツリグサ ○カノコサウ
 ○カノコサウ ○カノコユリ
 ○カノツメサウ ○カノニゲグサ (ニンジン)
 ○カハアルミ

薔薇科 槭樹科 桑科 製紙原料
 繖形科 雲葉科 葎麻科 樟科 檀香科 田麻科 桑科 薔薇科 薔薇科
 菊科 海金砂「ツルシノブ」 仙人掌科 觀賞用 禾本科 敗醬科 穿心排草 「ハルオミナ」藥用
 百合科 觀賞用 繖形科 人參 藥用 胡桃科

○カハズスダ ○カハタテ ○カハゲサ ○カハツルモ
 カバノリ ○カハホネ ○カハミドリ ○カハヤナギ ○カハラアカザ ○カハライチゴツナギ ○カハラケツメイ ○カハラチナ ○カハラゴマ ○カハラサイコ ○カハラスガナ ○カハラスダ ○カハラトクサ ○カハラナアシコ ○カハラニンジン ○カハラハハコ

藜草科 藜科 支參科 眼子菜科 紅色藻類 睡蓮科 水葦 繖形科 揚柳科 藥科 禾本科 豆科 茶の代用藥用 紫草科 石竹科 薔薇科 薔薇科 薔薇科 薔薇科 「タニスダ」 木賊科 石竹科 「ナアシコ」 桑科 菊科 菊科 藥科 夏李河邊の砂礫間に自生す 「アラレギク」

カハラハンノキ
 ○カハラマツバ
 ○カハラヨモギ
 ○カヒザイク
 ○カアトギク
 ○カアトゴケ
 ○カアブラ
 ○カヘテ
 ○カホチヤ
 ○ガマ
 ○カマクラサイコ
 ○ガマズミ
 ○カマツカ
 ○カミツレ
 ○カミノキ
 ○カミノヤガラ
 ○カミルレ「カミツレ」
 ○カシラ
 ○カンアフヒ
 ○カンアフヒ
 ○カンカウラン

染色用
 茜草科 蓬子菜 染色用
 菊科 茵陳蒿 藥用
 菊科 溱洲原産 觀賞用
 毛茛科 「トリカアト」 烏頭 有毒
 地衣類
 十字花科
 槭樹科 「モミヂ」 變種多し
 胡蘆科
 香蒲科
 ○ガマ
 ○カマクラサイコ
 ○ガマズミ
 ○カマツカ
 ○カミツレ
 ○カミノキ
 ○カミノヤガラ
 ○カミルレ「カミツレ」
 ○カシラ
 ○カンアフヒ
 ○カンアフヒ
 ○カンカウラン

忍冬科 薔薇科 「カミルレ」 桑科 天麻 藥用 夏李多く 發汗劑 培養 馬兜鈴 冬葵 藥用 杜衡 藥用 岩高麗科

カンガレイ
 カンキチク
 ○カンクビサウ
 ○カンコノキ
 カンザンチク
 カンラン
 カンズグ
 カンゾウ(アマキ)
 ○カンチク
 カントリサウ
 カンボク
 ○ガシビ
 ○ガシビ
 ○カンラン
 カメバヒキオコシ
 ○ガマズミ
 カメバサウ
 ○ガマ
 カモガシラ
 カモガヤ
 ○カモシグサ
 ○カモノハシ

莎草科 薔薇科 舶來 觀賞用 大戟科 禾本科 草蘭 藥用 豆科 甘草 藥用 禾本科 繖形科 忍冬科 石竹科 瑞香科 樹は製紙原料 十字花科 忍冬科 山間部 香蒲科 水田に生ずる 宿根植物 紅色藻類 禾本科 禾本科 禾本科

○カモメヅル
 カモメラン (カモメサウ)
 ○カヤ
 ○カヤツリグサ
 ○カヤモノリ
 カヤラン
 カラウメ
 カラエ
 カラコギカヘテ
 ○カラシナ
 ○カラスウリ
 ○カラスウリ
 ○カラスゲンセウ
 ○カラスノゴマ
 ○カラスノエンドウ
 ○カラスビシヤク
 ○カラスムギ
 ○カラタチ
 カラダイロウ
 カラツゲ
 ○カラタチバナ
 カラナシ

藜草科 藜科 一位科 深山に生ずる 常緑喬木 繖形科 繖形科 大戟科 槭樹科 十字花科 胡蘆科 「クソゴリー」 澱粉用 芸香科 田麻科 豆科 天南星「ハンゲ」半夏 有毒 禾本科 芸香科 薔薇科 黃楊科 紫金手科「マチバナ」

○カラナデシコ	石竹科「セキチク」	キキヤウラン	◎ギシギシ	蓼科
カラハナサウ	桑科	○キク	○キジノチ	水龍骨科
カラマツ	松杉科「フシマツ」	キクアザミ	◎キジムシロ	薔薇科
○カラムシ(コチ)	毛茛科	◎キクイモ	○キジヨラン	薔薇科「フヤウラレ」
○カリガネサウ	馬鞭草科「ホカクサウ」	キクザキイモ	○キズキセン	石蒜科「観賞用」
○カリマダガヤ	禾本科	キクザサ	○キセルサウ	列當科
カリヤス	禾本科	キクバテンザク	○キセリタ	唇形科
カリヤスモドキ	禾本科	アフヒ	○キソケイ	木犀科
カルカヤ	禾本科	キクバドコロ	○キチシヤウサウ	百合科
		キクブキ	○キツカウツク	禾本科
		○キクムグラ	○キツカウツク	冬青科
○キアカソ	蕁麻科	キクモ	○キツカフハグマ	菊科
○キイチゴ	薔薇科	○キクラゲ	○キツネアザミ	五加科
○キウリ	薔薇科	○キケンシヨウマ	◎キツネガヤ	禾本科
○キエビネ	蘭科	○キケマン	◎キツネノカミソリ	石蒜科「観賞用」
○キカシグサ	千屈菜科	○キコガンヒ	◎キツネノホタン	毛茛科「回々蒜」
○キガンヒ	瑞香科	○キヤサゲ	◎キツネノマゴ	薔薇科
○キカラスウリ	蒴藋科「クッゴリ」	○キヤラボク	○キツネノエカキフデ	蘭科
○キキヤウ	桔梗科	○ギヨボク	○キツネノナ	蟻塔科
○キキヤウカタバミ	酢漿草科	○ギヨリウ	○キツメラン	水龍骨科
○キキヤウナデシコ	花荵科「観賞用」	○ギランサウ	○キツリフネ	鳳仙花科
○キキヤウニンジン	桔梗科	○ギヤウジヤノミヅ		

キ之部

○キハチス	薔薇科	○キヤウガノコ	◎キンギヨサウ	玄參科「観賞用」
○キハチス	薔薇科	◎ギヤウギシバ	◎キンギヨモ	金魚藻科「水草」
○キハチス	薔薇科	○ギヤウジヤノミヅ	○キンケルマ	菊科「ウサギキク」
○キハチス	薔薇科	○ギヨボク	○キンケイギク	菊科「培養」
○キハチス	薔薇科	○ギヨリウ	○キンセンクワ	菊科「観賞用」
○キハチス	薔薇科	○ギランサウ	○キンセンクワ	菊科「観賞用」
○キハチス	薔薇科	○キリ	○キンセントウケ	薔薇科
○キハチス	薔薇科	○キヨシマ	○ギンナンサウ	紅色藻類
○キハチス	薔薇科	○キリシマエビネ	○ギンバイサウ	虎耳草科
○キハチス	薔薇科	○キリンサウ	○ギンバイサウ	毛茛科
○キハチス	薔薇科	○キレンゲ	◎ギンバウゲ	毛茛科「ウマノアシカタ」
○キハチス	薔薇科	○キレンゲツツジ	○ギンマメ	豆科「ヤマメ」
○キハチス	薔薇科	○キワタ(ワタ)	○ギンメイタク	禾本科
○キハチス	薔薇科	○キンエノコロ	◎ギンミヅヒキ	薔薇科
○キハチス	薔薇科	○キンカウクラ	○ギンモクセイ	木犀科「銀柱」
○キハチス	薔薇科	○ギンガサウ	○ギンラフバイ	木犀科「園養」
○キハチス	薔薇科	◎ギンカン	○ギンラン	薔薇科
○キハチス	薔薇科	○ギンボク		蘭科「キサラン」